

平戸市都市計画マスタープラン 市民アンケート報告書

【目 次】

1 . アンケートの概要	1
2 . 単純集計	2
3 . 地区別集計	18
4 . その他意見	64
5 . まとめ	106

平成 24 年 3 月

1 . アンケートの概要

調査方法

- ・ 配布、回収方法：郵送
- ・ 質問方法：記入式アンケート

サンプル数、サンプル抽出の方法について

平成 23 年 7 月 1 日現在で、住民基本台帳登録者と外国人登録者されている市民のうち、満 18 歳以上を無作為に 3,000 名抽出した。

調査工程

- ・ 配 布 日：平成 23 年 9 月 20 日（火）
- ・ 当初回収期限日：平成 23 年 10 月 3 日（月）
- ・ 回収期限確定日：平成 23 年 10 月 24 日（月）

回収状況

- ・ 配布数：3,000 部
- ・ 回収数：812 部
- ・ 回収率：27.0%

設問内容

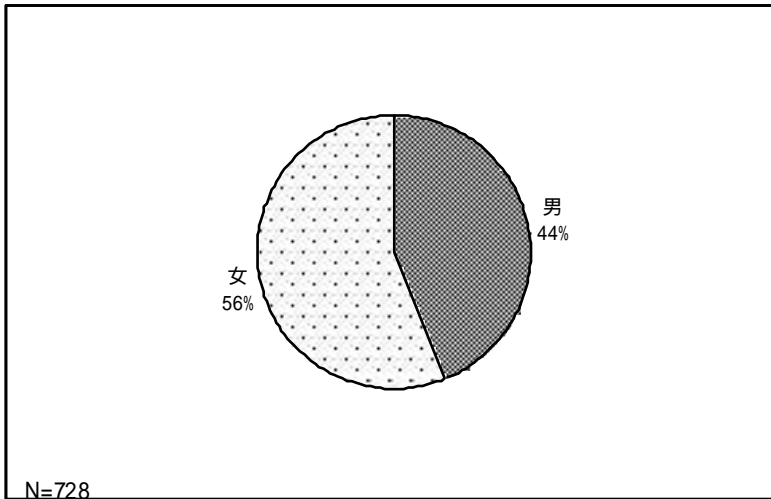
- 1 . 回答者属性
- 2 . 将来のまちのあり方（土地利用、道路、公園等）について
- 3 . 将来のまちなみ・景観・防災について
- 4 . まちづくりへの取り組み方について

2. 単純集計

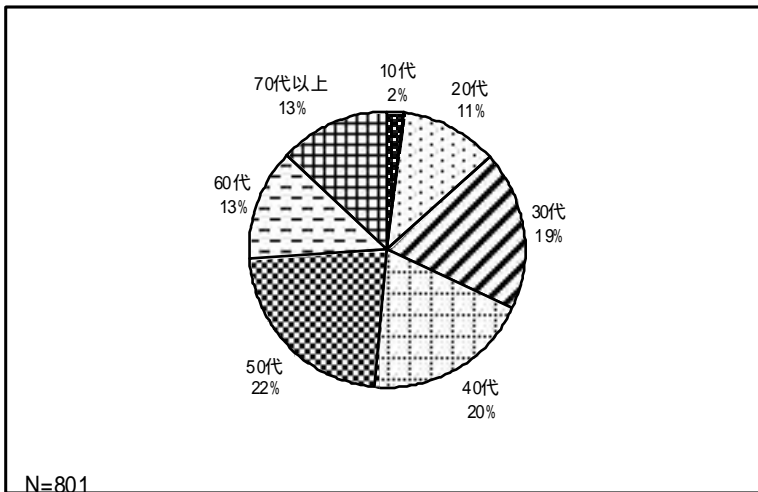
問1 次の(ア)から(コ)の各項目について、該当するものをそれぞれ1つ選んで、番号に印をつけてください。

N=有効回答数（/有効回答者数（複数回答の場合））

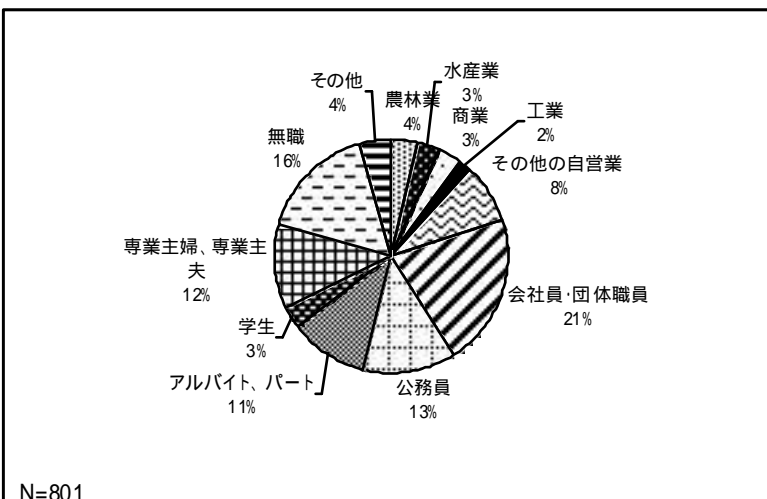
問1-(ア) 性別



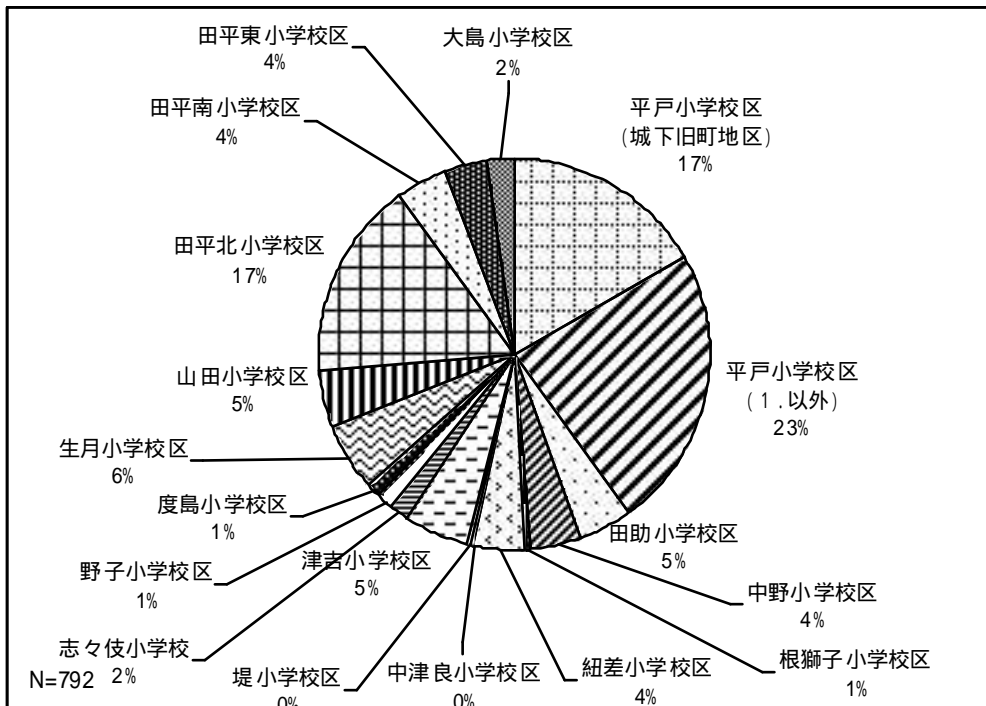
問1-(イ) 年齢



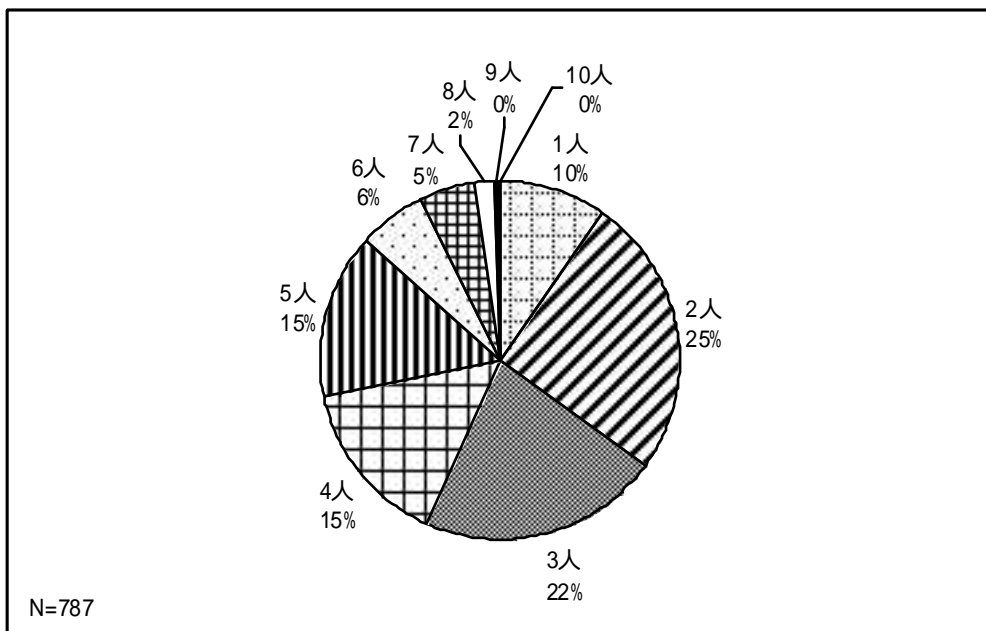
問1-(ウ) 職業



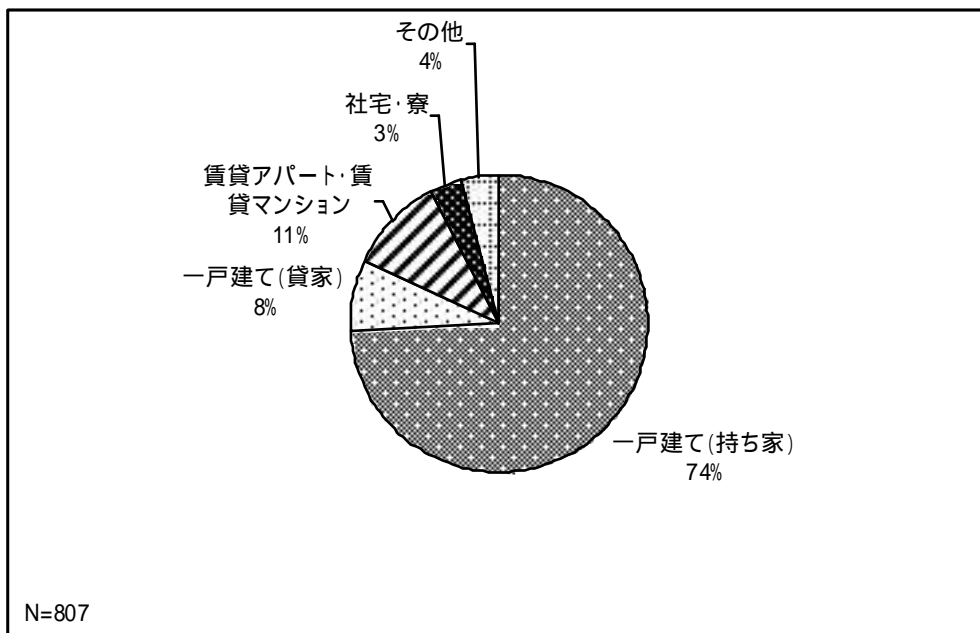
問 1-(工) お住まいの地区



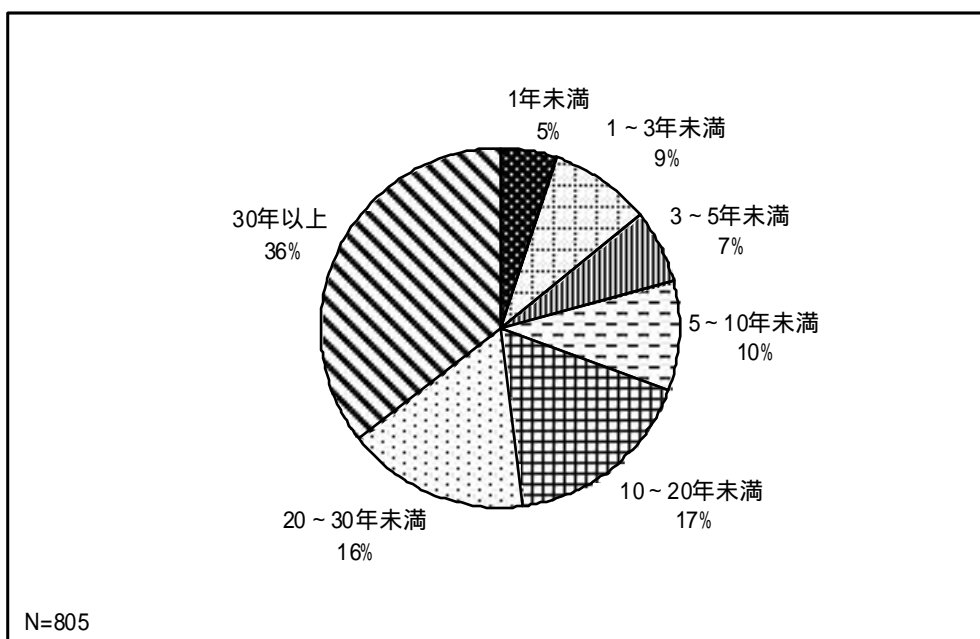
問 1-(才) 家族構成



問 1-(カ) お住まいは次のどれにあたりますか

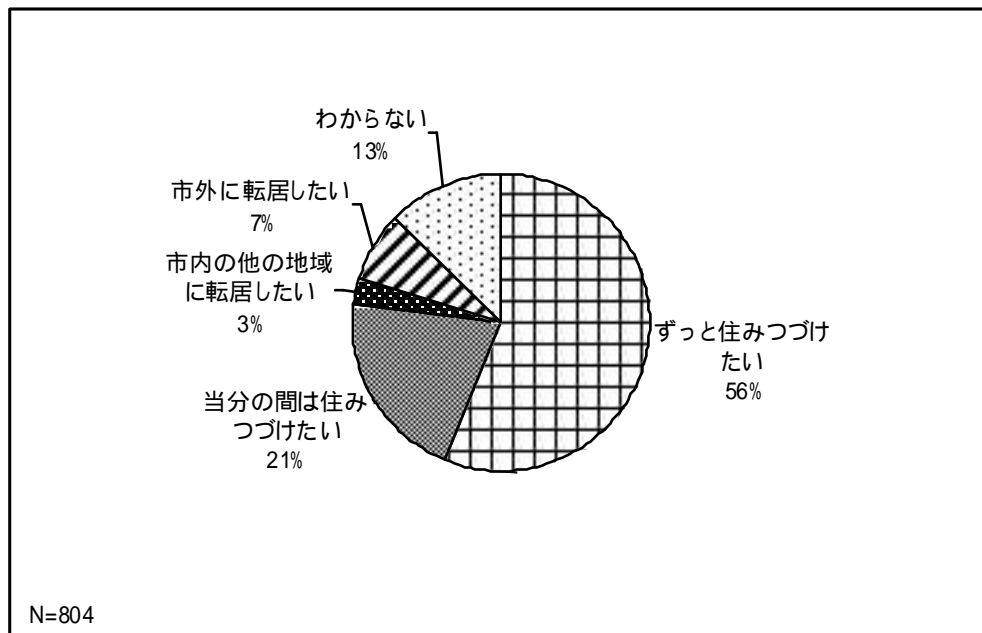


問 1-(キ) お住まいの地域に住んでどれくらいになりますか



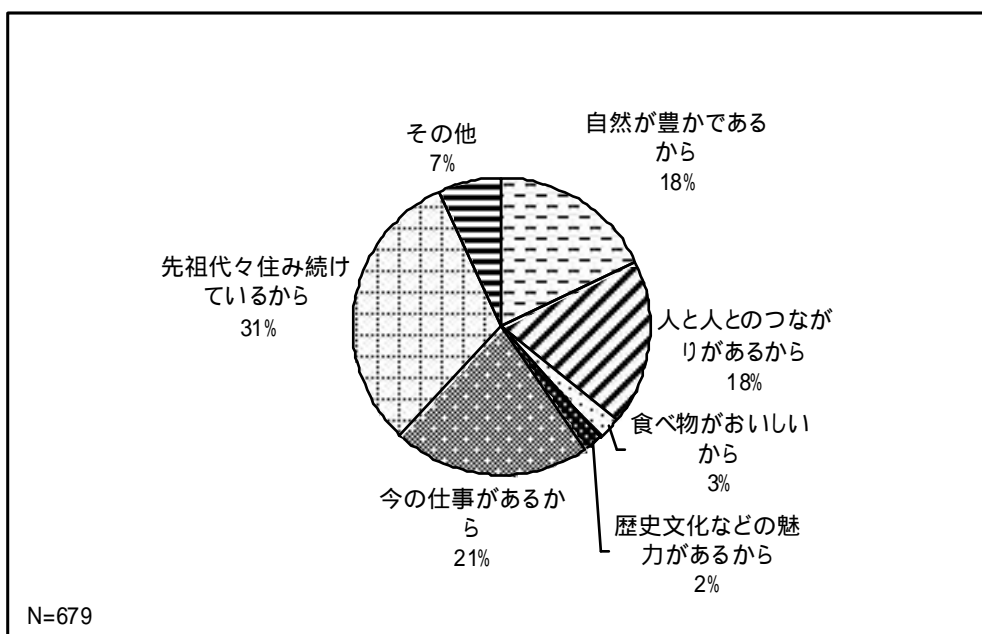
問 1-(ク) これからもお住まいの地域に住みつづけたいとお考えですか

- 7割以上の方がこのまま住みつづけたいと答えており、転居したい人を大きく上回っている。



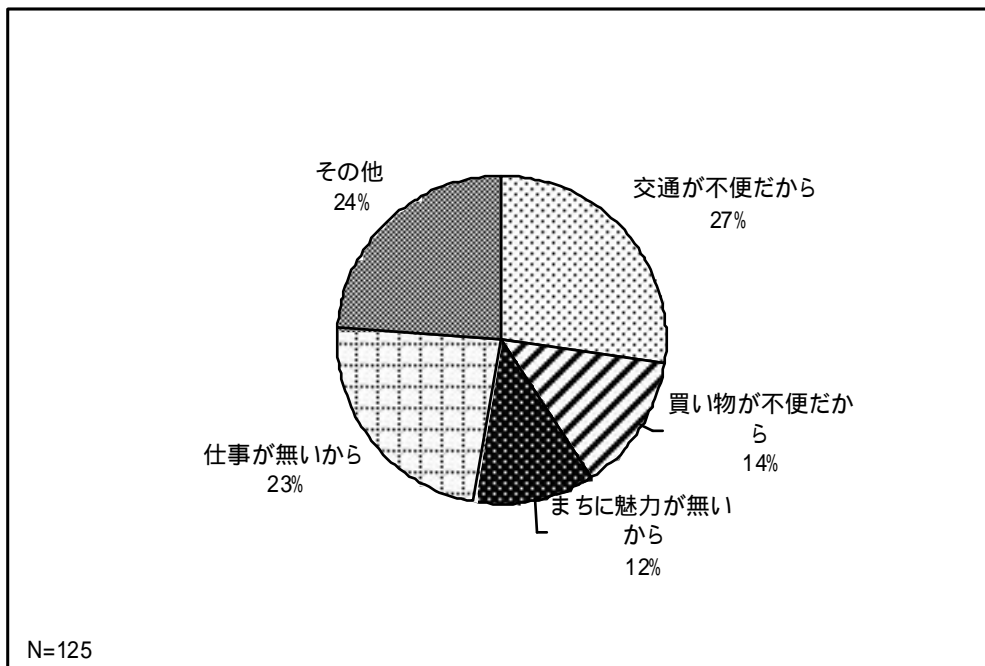
問 1-(ケ) (ク)で1もしくは2と回答された方 住みつづけたいとお考えの理由は何ですか

- 「先祖代々住み続けているから」(31%)、「今の仕事があるから」(21%)と続いている。



問 1-(コ) (ク)で3もしくは4と回答された方 転居したいとお考えの理由は何ですか

- ・ 「交通が不便だから」(27%)、「仕事が無いから」(23%)と続いている。

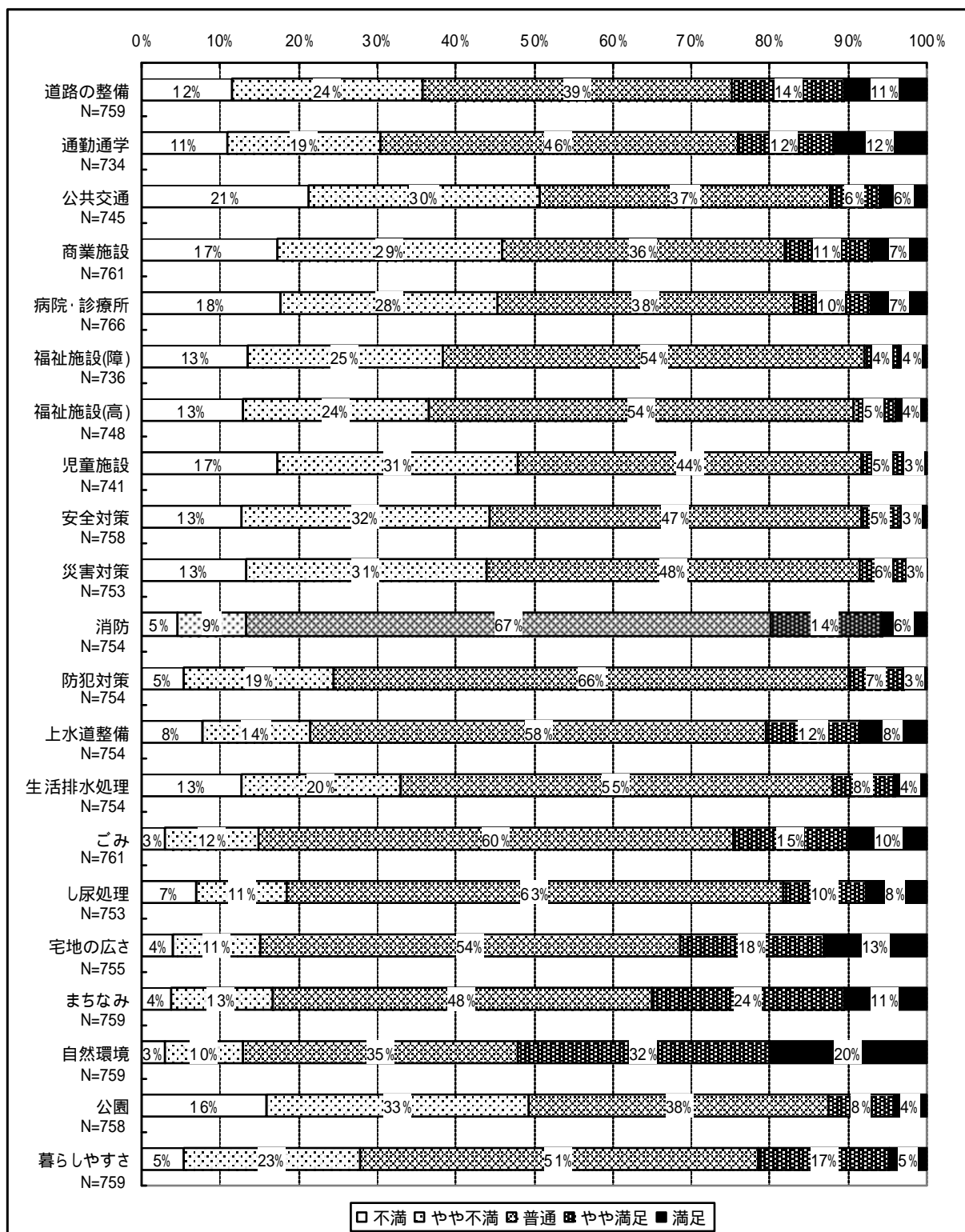


地域の暮らしやすさ

問2 身の回りや、お住まいの地域の生活環境について、日頃どのように感じていますか。

1から21までの項目ごとにそれぞれ1つ選んで、番号を で囲んでください。

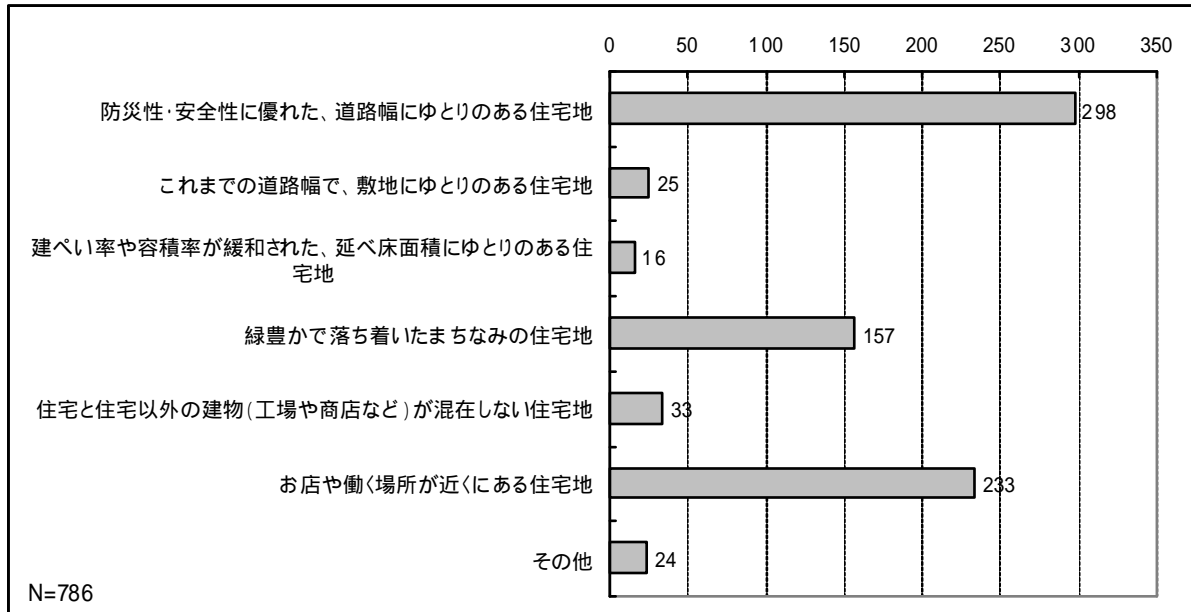
- ・ 「公共交通」、「児童施設」、「公園」を不満とする人がいずれも半数近くおり、満足と答えた人は1割程度と少ない。
- ・ 「消防」、「ごみ」、「自然環境」は満足・普通としている人が8割を超えており、不満は少ない。特に「自然環境」については半数以上が満足と答えている。



まちのあり方

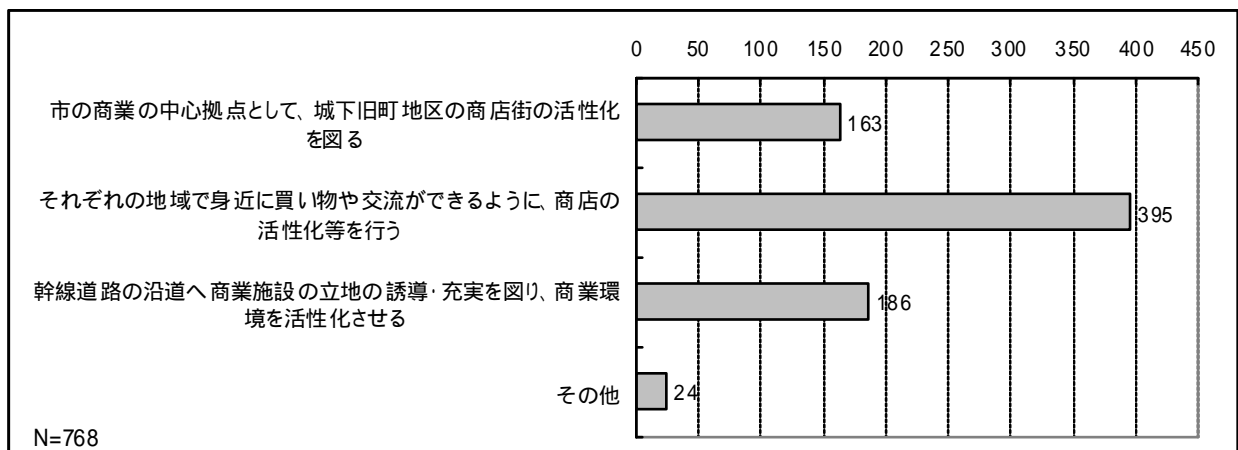
問3 今後どのような住宅地を望みますか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

- ・最も多い回答が「防災性・安全性に優れた、道路幅にゆとりのある住宅地」(38%)で、次いで「お店や働く場所が近くにある住宅地」(30%)、「緑豊かで落ち着いたまちなみの住宅地」(20%)となっている。



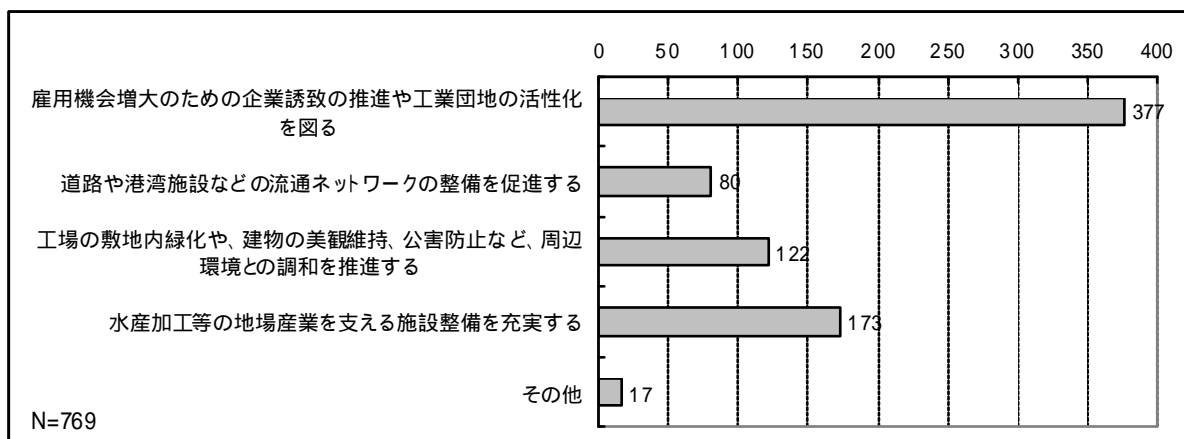
問4 今後どのような商業環境を望みますか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

- ・「それぞれの地域で身近に買い物や交流ができるように、商店の活性化等を行う」が半数以上を占めている。



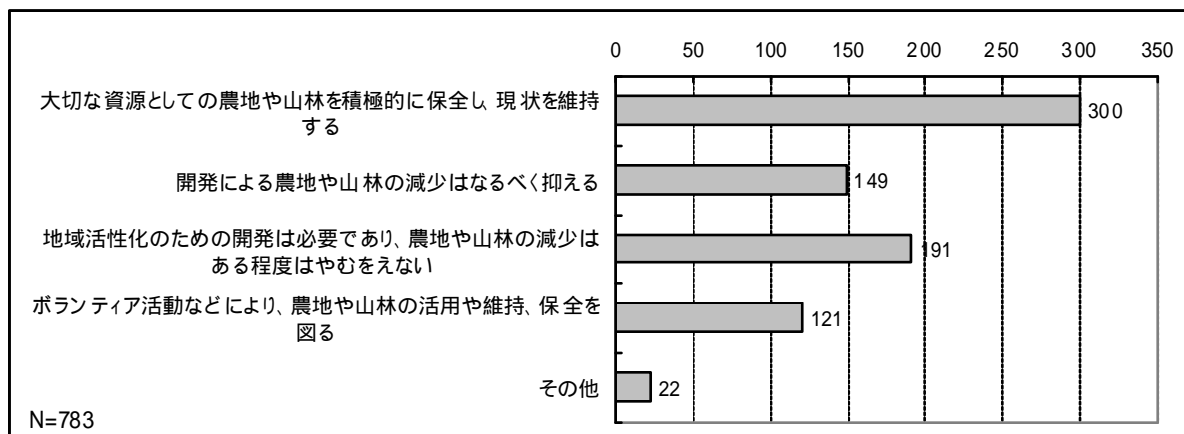
問5 今後の工業のあり方について、どのようにお考えですか。該当するものを1つ選んで番号に印をつけてください。

・「雇用機会増大のための企業誘致の推進や工業団地の活性化を図る」が約半数を占めている。



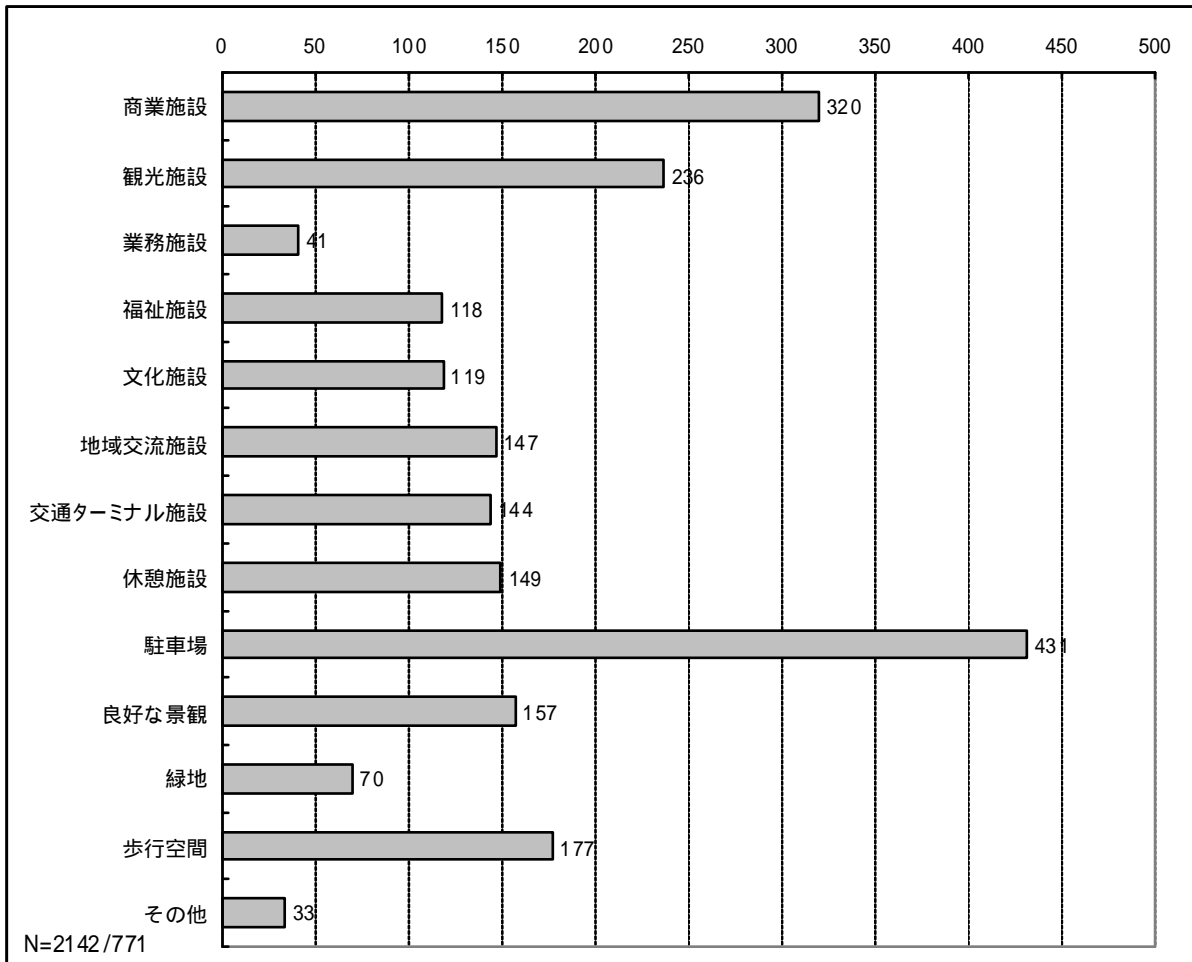
問6 今後の農地・山林のあり方について、どのようにお考えですか。該当するものを1つ選んで、番号に印をつけてください。

・最も多い回答は「大切な資源としての農地や山林を積極的に保全し、現状を維持する」(38%)で、次いで「地域活性化のための開発は必要であり、農地や山林の減少はある程度やむをえない」(24%)となっている。



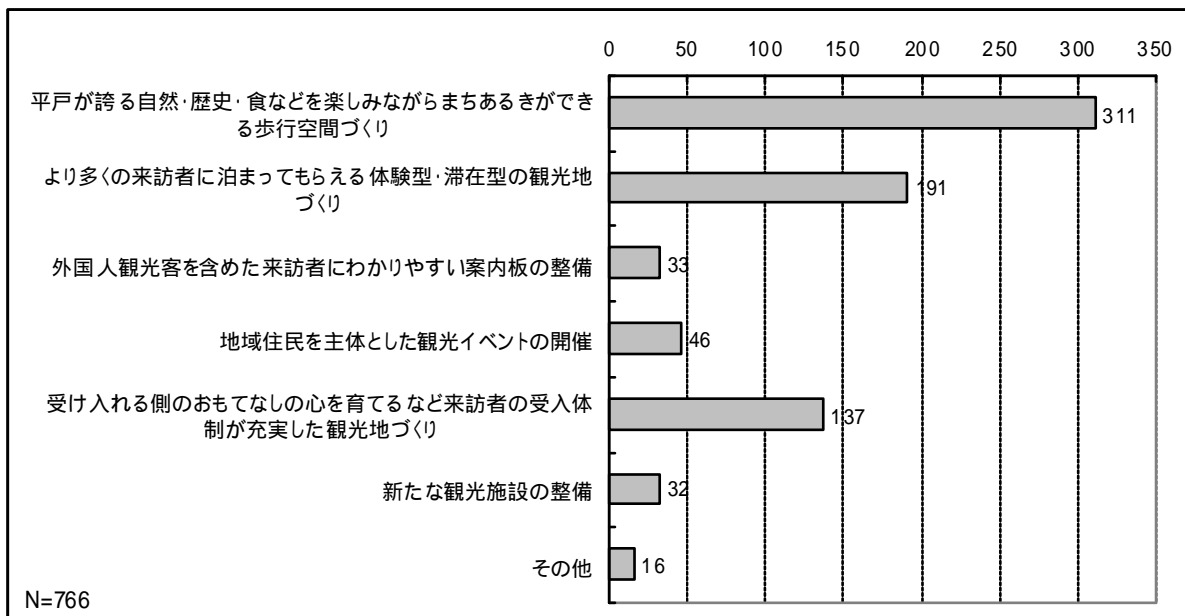
問7 今後の中心市街地(城下旧町地区)において整備が必要と考えられる施設等を3つまで選んで、番号に印をつけてください。

・「駐車場」との回答が最も多く、次いで「商業施設」、「観光施設」となっている。



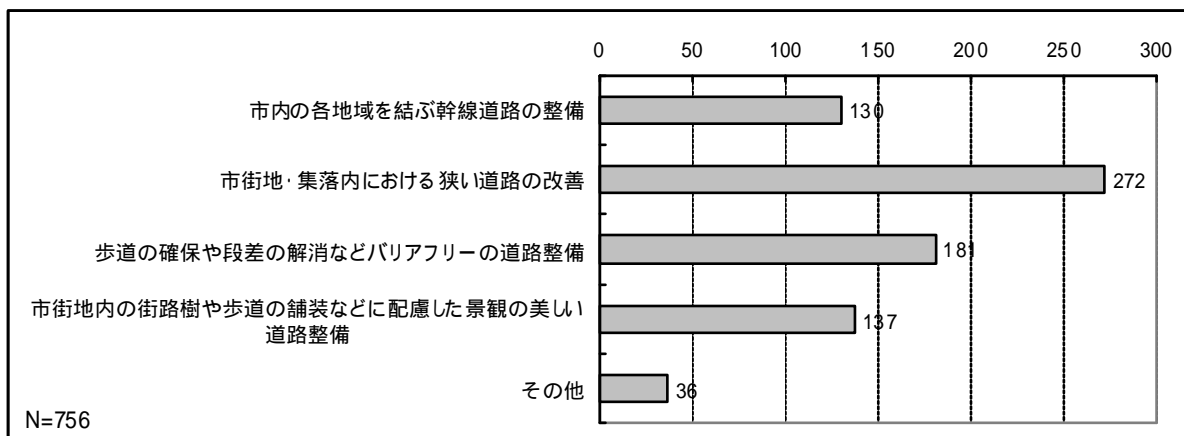
問 8 今後の観光まちづくりについて、何が重要だと思いますか。該当するものを1つ選んで、番号に印をつけてください。

・「平戸が誇る自然・歴史・食などを楽しみながらまちあるきができる歩行空間づくり」が4割を占めており、次いで「より多くの来訪者に泊まってもらえる体験型・滞在型の観光地づくり」(25%)となっている。



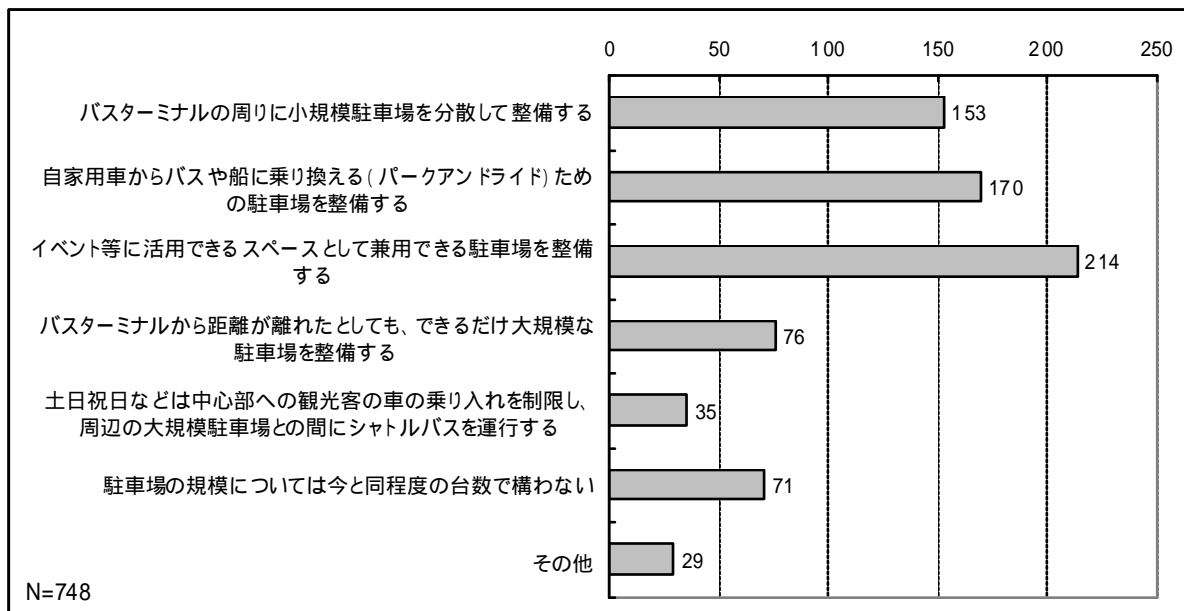
問 9 今後の道路の整備について、何が重要だと思いますか。該当するものを1つ選んで、番号に印をつけてください。

・「市街地・集落内における狭い道路の改善」が約4割を占めており、次いで「歩道の確保や段差の解消などバリアフリーの道路整備」(24%)となっている。



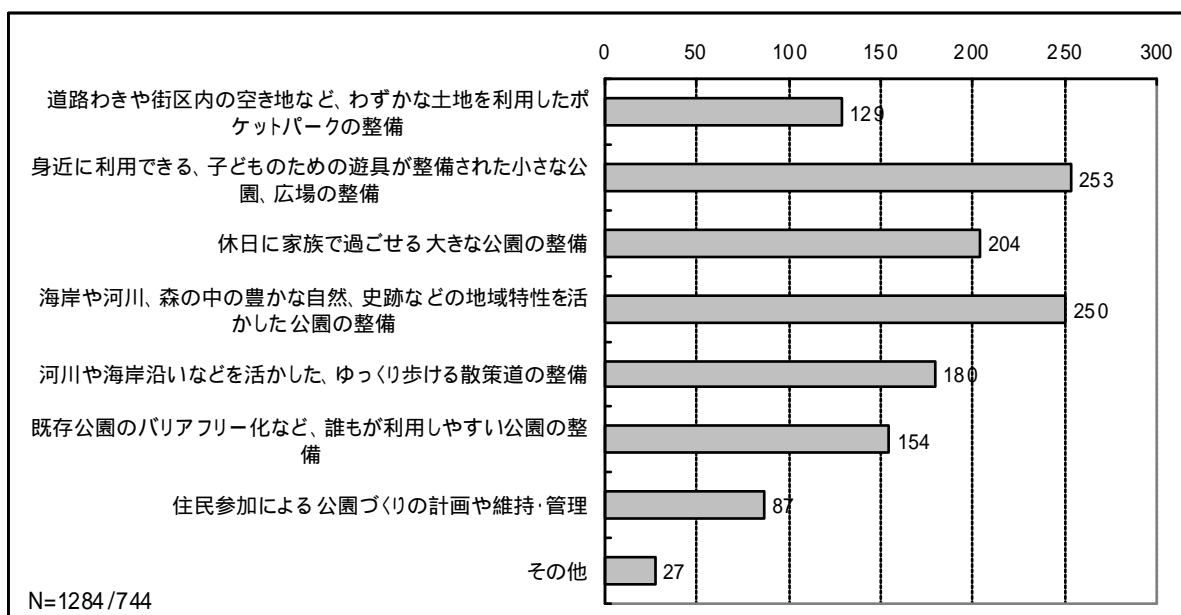
問 10 今後の平戸桟橋バスターミナル周辺の駐車場整備について、何が重要だと思いますか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

・「イベント等に活用できるスペースとして兼用できる駐車場を整備する」(29%)が最も多く、次いで「自家用車からバスや船に乗り換える(パークアンドライド)ための駐車場を整備する」(23%)となっている。



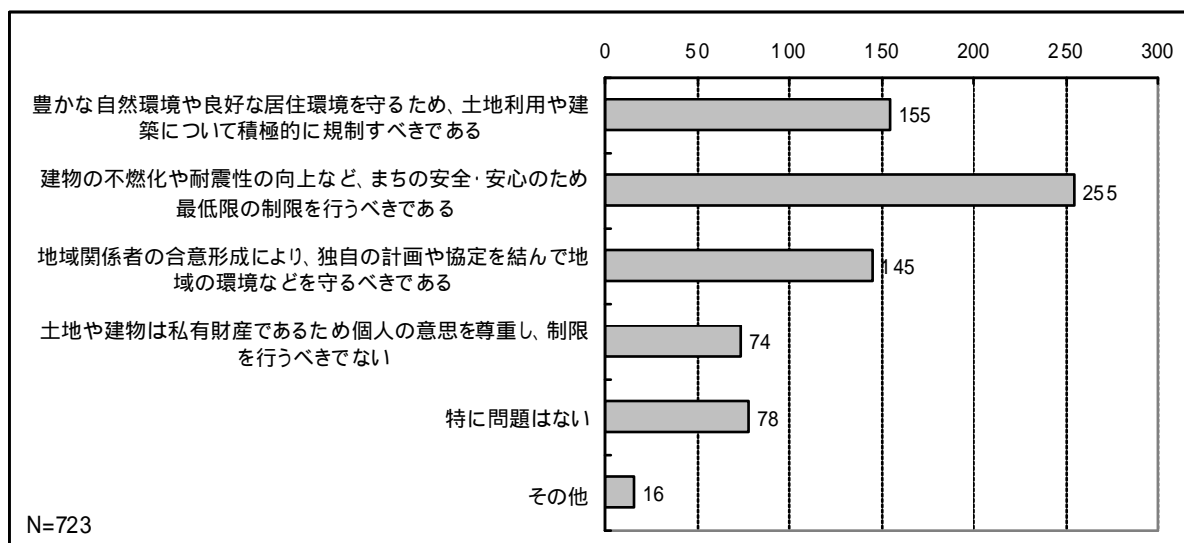
問 11 今後の公園・緑地の整備について、何が重要だと思いますか。該当するものを2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

・「身近に利用できる、子どものための遊具が整備された小さな公園、広場の整備」、「海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備」がを挙げる声が多く、「休日に家族で過ごせる大きな公園の整備」と続いている。



問 12 今後の土地利用や建物の用途、大きさ、高さなどの建築制限について、どのようにお考えですか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

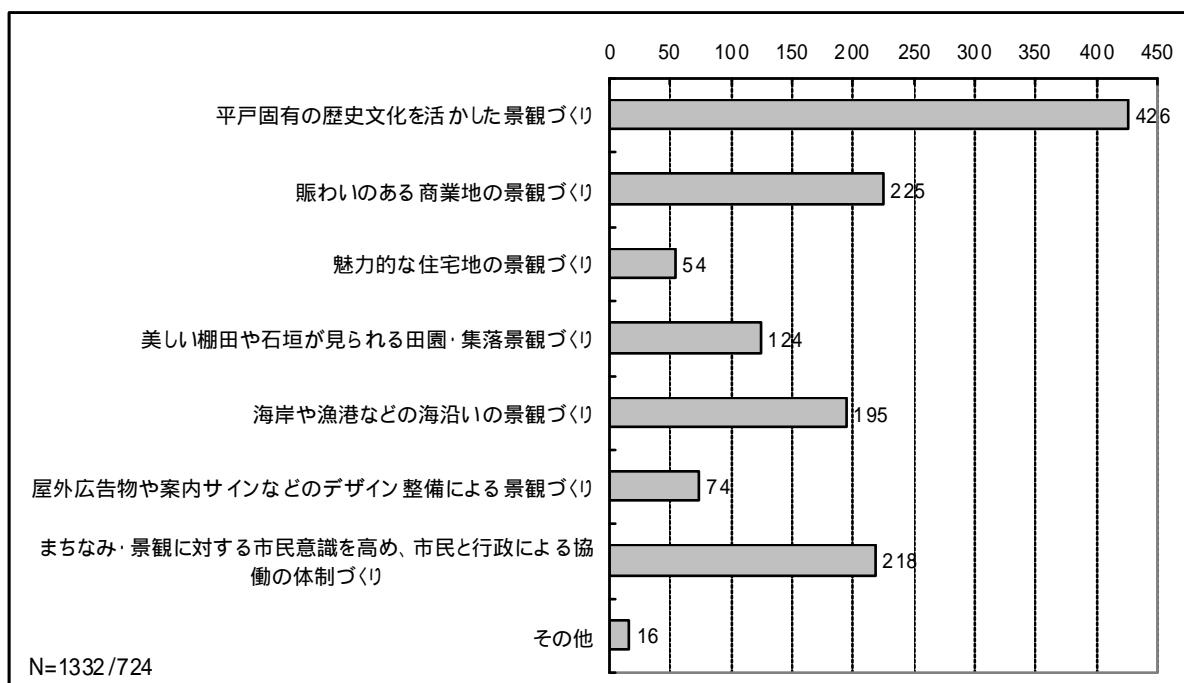
- ・「建物の不燃化や耐震性の向上など、まちの安全・安心のため最低限の制限を行うべきである」(35%)
- 「豊かな自然環境や良好な居住環境を守るため、土地利用や建築について積極的に規制すべきである」(21%)と続いている。



まちなみ・景観や防災に関する項目

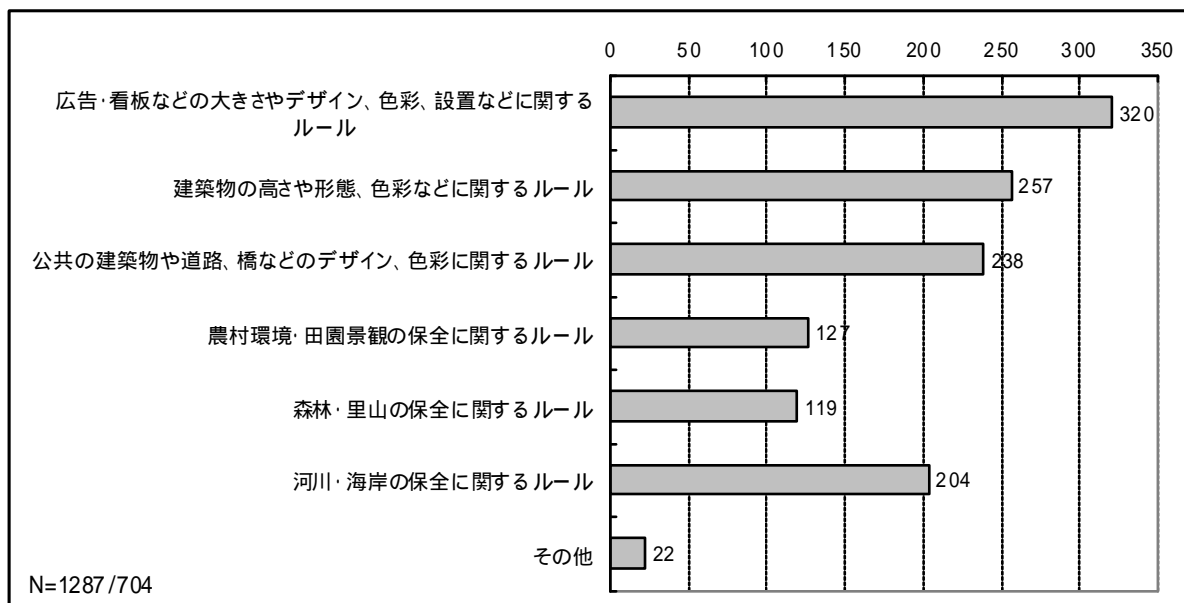
問 13 今後のまちなみ・景観について、何が重要だと思いますか。該当するものを2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

- ・「平戸固有の歴史文化を活かした景観づくり」が最も多く、「賑わいのある商業地の景観づくり」と続いている。



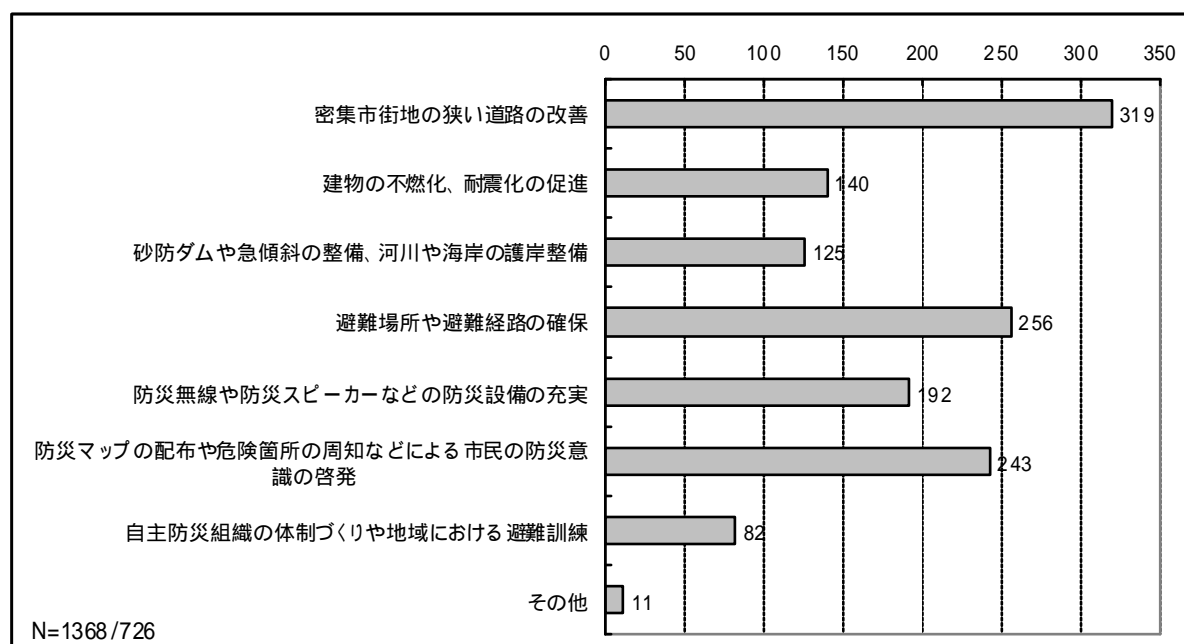
問 14 今後、まちなみ・景観づくりを行っていくための一定のルールを設ける場合、何が重要だと思いますか。該当するものを2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

・「広告・看板などの大きさやデザイン、色彩、設置などに関するルール」、「建築物の高さや形態、色彩などに関するルール」と続いている。



問 15 今後の防災まちづくりについて、何が重要だと思いますか。該当するものを2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

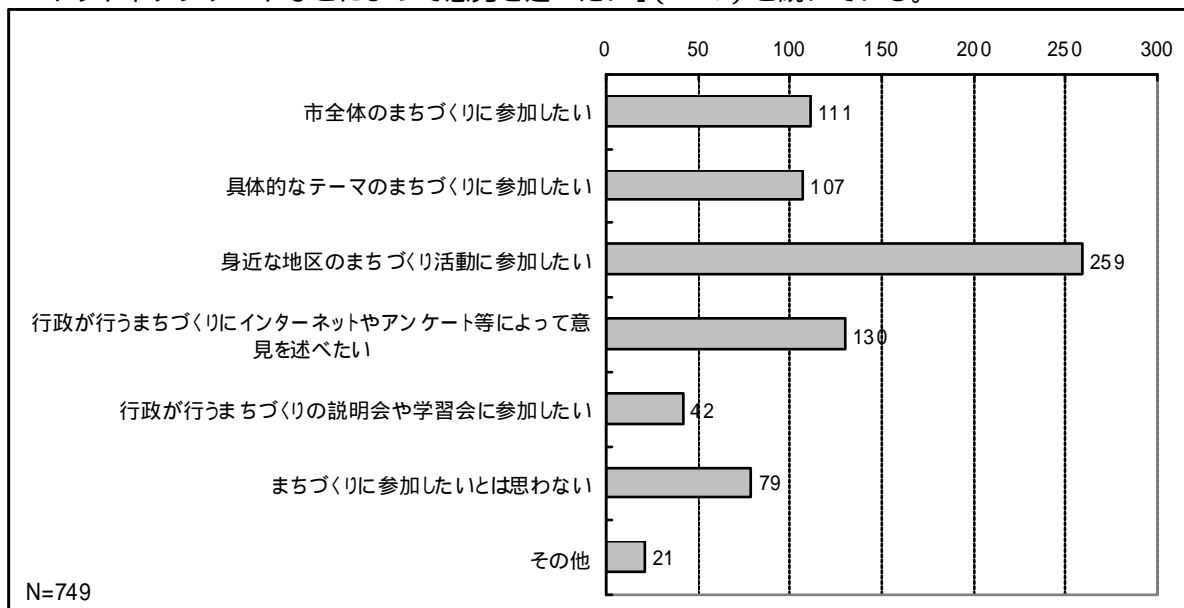
・「密集市街地の狭い道路の改善」、「避難場所や避難道路の確保」と続いている。



まちづくりへの取り組み方

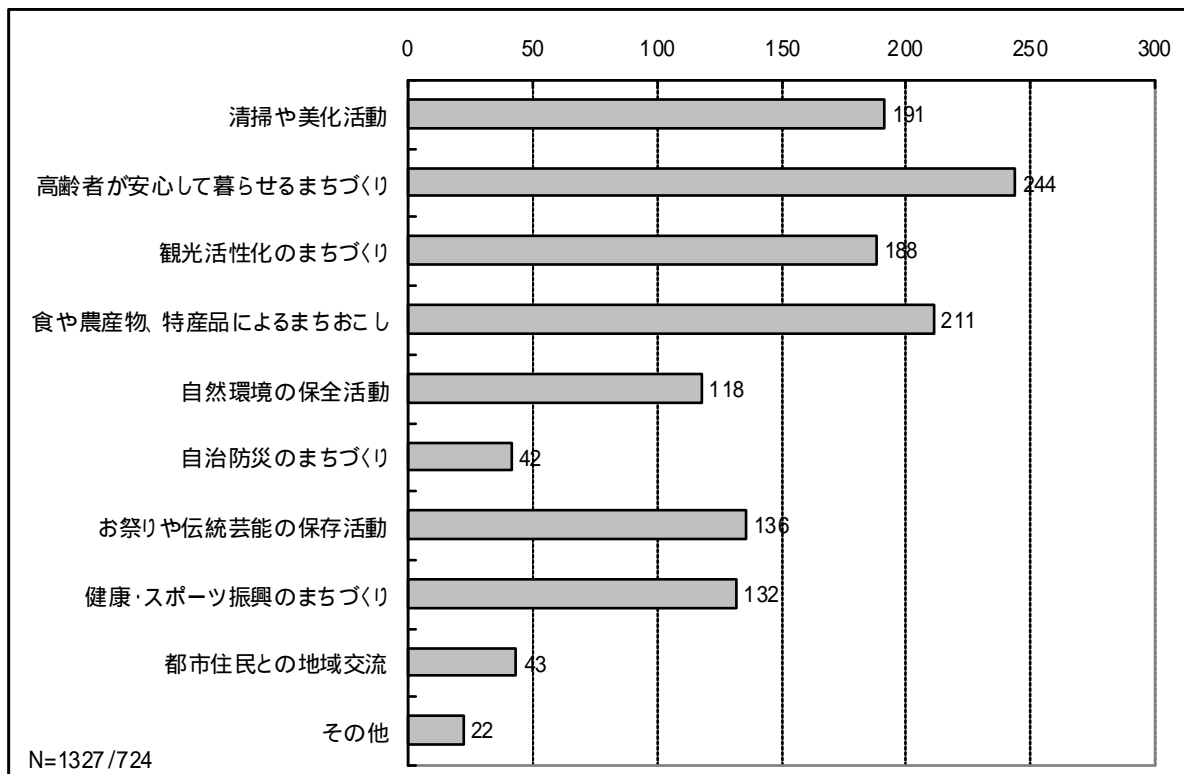
問 16 今後、平戸市のまちづくりに参加するとしたら、どのような形で参加したいですか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

・「身近な地区のまちづくり活動に参加したい」(35%)が最も多く、「市政が行うまちづくりにインターネットやアンケートなどによって意見を述べたい」(17%)と続いている。



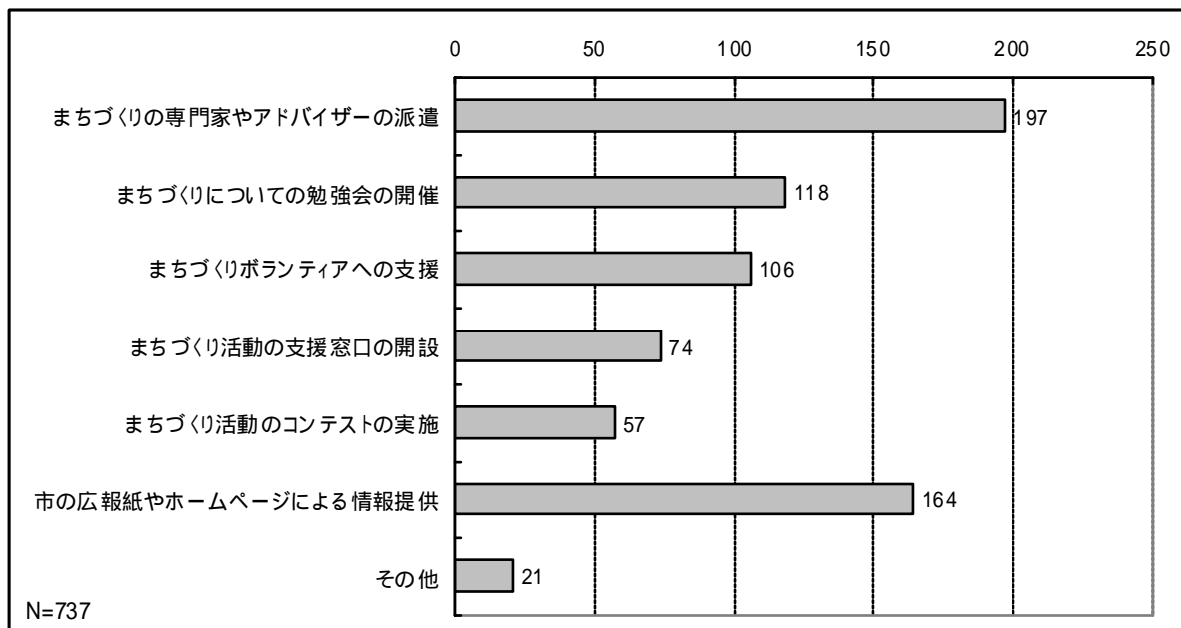
問 17 今後、平戸市のまちづくりに参加するとしたら、どのようなテーマのまちづくりに参加したいですか。該当するものを2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

・「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」、「食や農産物、特産品によるまちおこし」と続いている。



問 18 今後、市民参加によるまちづくりを行うために、平戸市はどのようにすべきとお考えですか。該当するものを1つ選んで、番号に 印をつけてください。

- ・「まちづくりの専門家やアドバイザーの派遣」(27%)、「市の広報紙やホームページによる情報提供」(22%)、「まちづくりについての勉強会の開催」(16%)と続いている。



問 19 今後の平戸市のまちづくりへのご意見やご要望について、以下にお書きください。

< 住環境についての主な意見 >

- ・ インターネットの書き込みでも見られるように、平戸に訪れた観光客の大半が接客が悪いと書かれているようだ。平戸城下町として、みるみる魅力ある町に変化していくなか、お客様に関わる人材にもっと接客のマナー、おもてなしの心を教育する。平戸を観光都市と考えるのなら、もっとリピーターを望める町づくりのためにボランティア、市民参加、意識向上、情報提供、環境整備、行政と市民が一体となって美しい平戸を作り上げていけたらよいと思う。
- ・ 住んでいる方に良い環境は観光で来られた方にも良い印象が持てると思う。地区、地域の小さな単位で、統一感のある町づくりをすると良いと思う。
- ・ すべての面で市北部ばかりが進んでいるような気がします。南部地区の活性化にも力を入れるべきである。高齢化が進み、生活が大変である。
- ・ 商業施設の活力が少ない。(佐々や佐世保に買い物に行く人が多いのでは?) 平戸の商業が活性しないと人は市外に流出すると思う。
- ・ 住民不在の壊れかけた家を撤去することを市の予算で行って欲しい。(安全と景観の両面から)
- ・ 空き家等を有効利用し観光客や長期滞在ができる宿泊施設等に利用出来れば良いと思う。

< 道路・交通についての主な意見 >

- ・ 商店街の歩行者の安全確保や、歩いても楽しめる観光道路の整備が必要。
- ・ 路上駐車が多いので、無料駐車場を商店街に整備してほしい。また歩行者天国にしてほしい。バスの便

が悪いので、もっと便数を増やしてほしい。

- ・ 休みの日等、平戸市内で食事しようとしても駐車場がないため、市外に出ざるをえなくなるため、観光に力を入れるのであれば、駐車場は必須だと思う。
- ・ 道幅などの問題もあり難しいところだが、行政、市民が一緒になって意識を変えない限り、迷惑駐車は減らない。「少しぐらいいいじゃないか」という考え方が、当たり前になっている。このことは、日々の生活にも観光の面からも早急に取り組むべき。
- ・ 歩道が狭く歩くのにあぶない。海上ホテル周辺は運転する時に歩道が分からない。
- ・ バスの本数が少ない。運転免許がない人は仕事にも行けない。特に遅い時間になると全く交通手段がなく大変不便である。
- ・ 商店街の慢性的な路上駐車が多さが非常に気になる。観光客にも運転する方にも危険である。
- ・ 高速道路などへのアクセス道路を考えてほしい。商店街の歩道が狭いのに、車が歩道に駐車していて、安心して歩けない。
- ・ 車が無いと生活が不便である。商店街の路上駐車を改善し（お店の人も停めている）、空きスペースを有効活用しては。
- ・ 車がないと買い物にもいけない。バスの本数を増やしてほしい。
- ・ イベント時の商店の駐車場を確保してほしい。臨時駐車場が近くにないと不便である。

< 公共下水道についての主な意見 >

- ・ 城下旧町地区だけでも早く、下水道の整備に取り組んでほしい。
- ・ 平戸市の下水道は他市と比べ普及率が低いと、人口が密集している所などお願いしたい。
- ・ 生活排水等で海など自然環境を汚さないように各家庭の浄化槽の設置を推進すべき。
- ・ 下水道については費用がかかり過ぎる。合併浄化槽等の普及促進を図るべき。

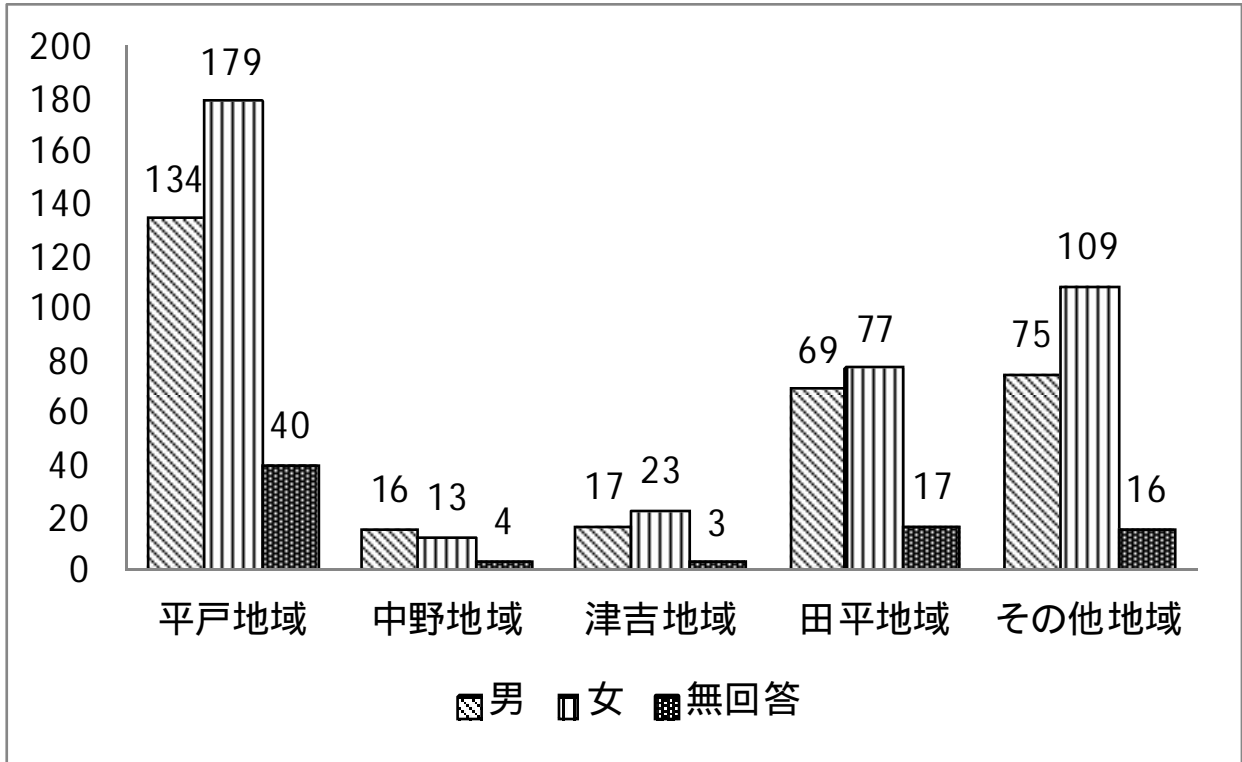
< 公園・みどり・景観・その他についての主な意見 >

- ・ ローカル TV 局を開設し、市民・観光客、ともに楽しめる情報を配信し、同時にメール・FAX 等による意見コーナーを設け、月一回の各期間担当責任者による質疑応答を行う等して、現行の広報だけでなく（見ない人も多いので）TV による視覚的な市の情報発信による市民参加を考えてみては？
- ・ 団地・アパートの周辺には公園（みどり含む）が少ないと思う。1 人でもふらっと出て住民とのコミュニケーションがとれるような憩える広場があればいいと思う。
- ・ 市街地で空き地があったら、そこを小さい子供達でも遊べる様なスペース作りをして欲しい。
- ・ 公園が少ない。働くところが無い。安心できる小児科、産婦人科がない。子育てしやすい町づくりも大切。今の平戸は子育てしにくい。
- ・ 公園を増やし遊具等も増やしてほしいと思う。子供達の遊ぶ場所が地域全体的に少ないと思う。遠方から来た方のために休憩場所を作っても良いと思う。街灯が少ない。娯楽スペースがない。福祉施設やバリアフリーの促進。

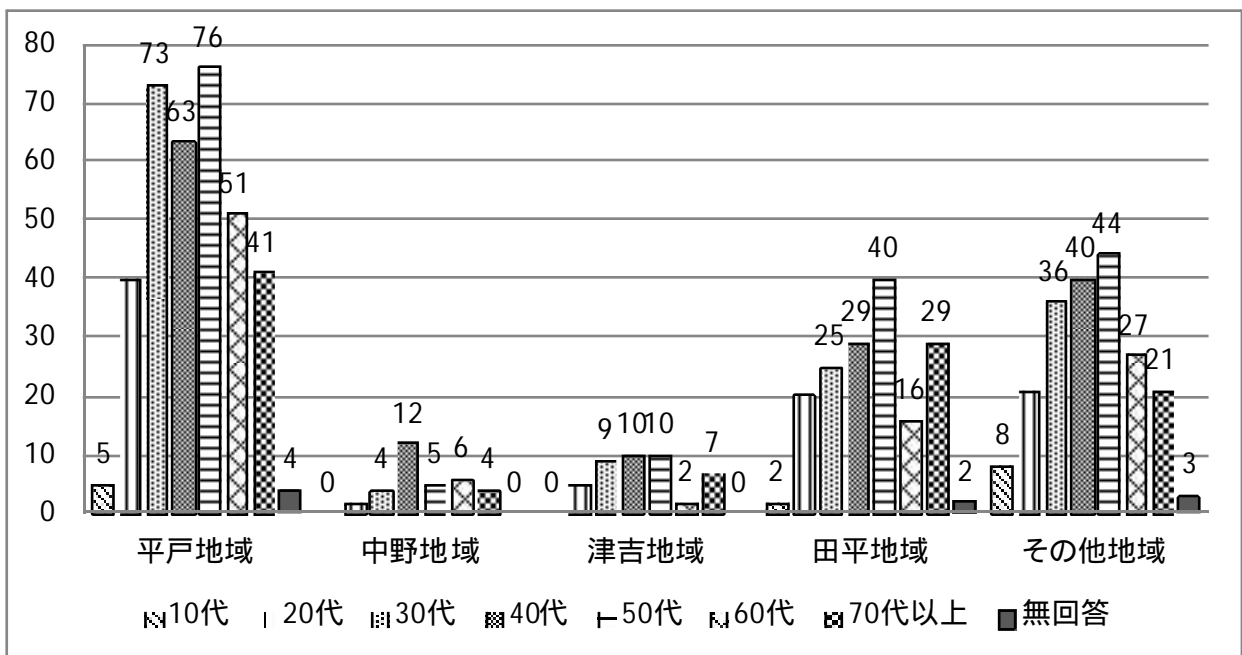
3. 地区別集計

問1

(ア)性別

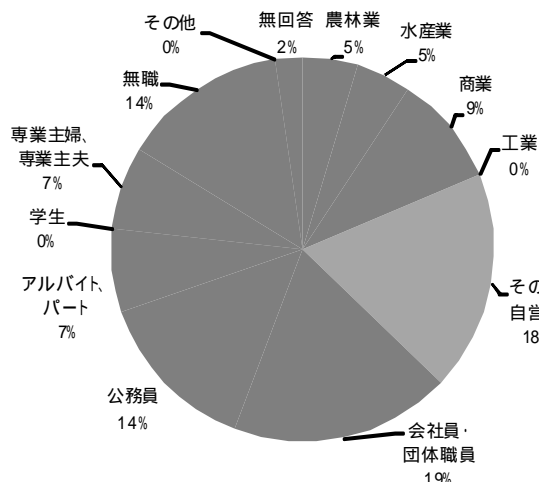


(イ)年齢層

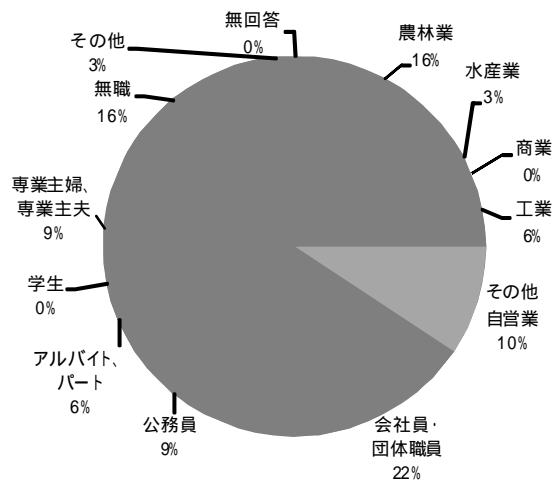


(ウ)職業

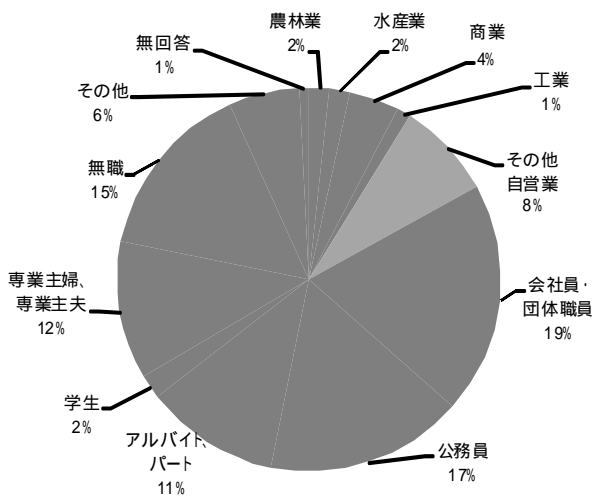
【平戸地域】



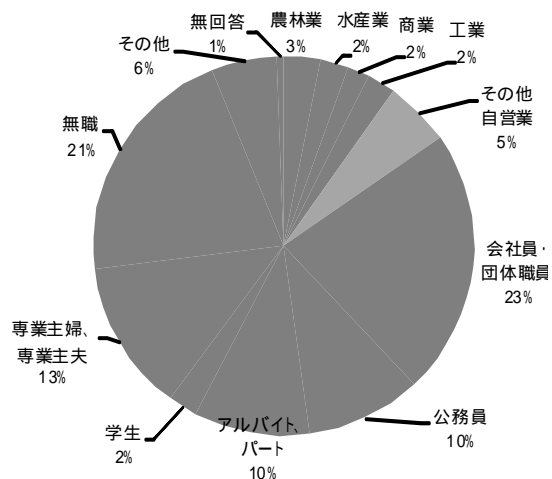
【中野地域】



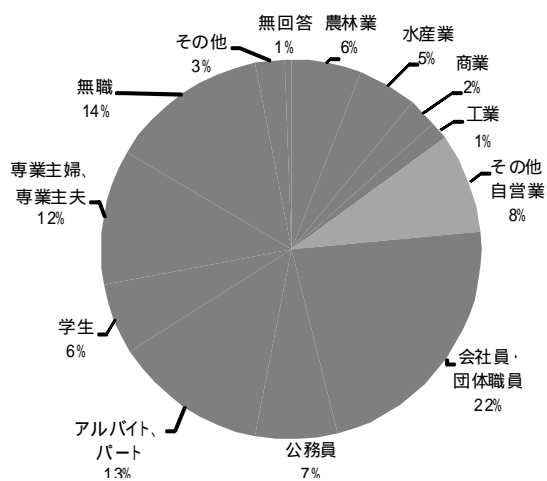
【津吉地域】



【田平地域】

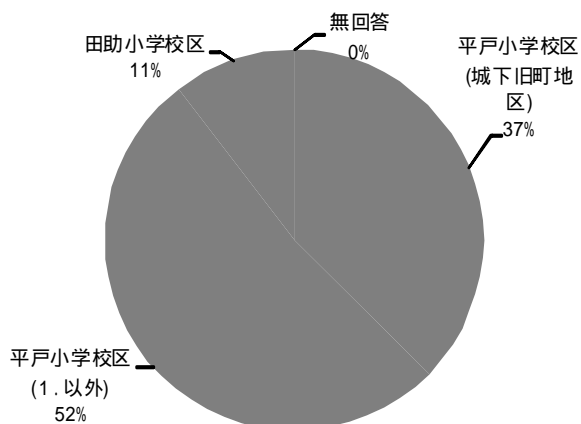


【その他地域】

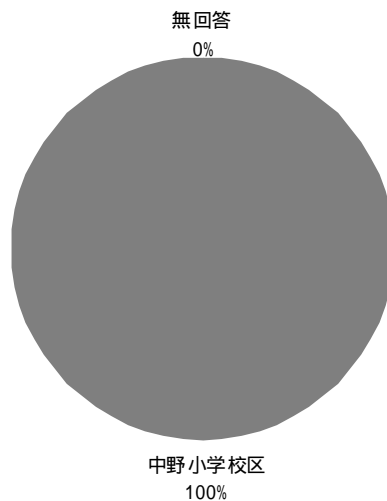


(エ)お住まいの地区

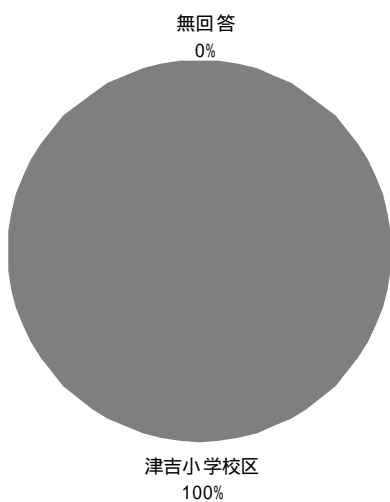
【平戸地域】



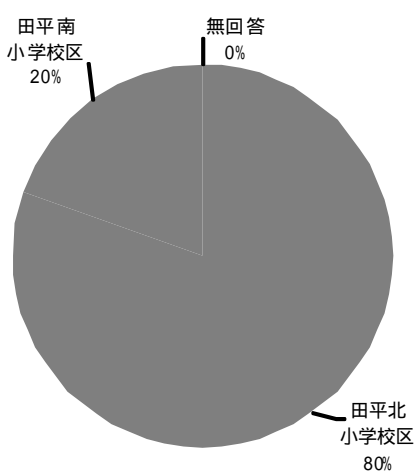
【中野地域】



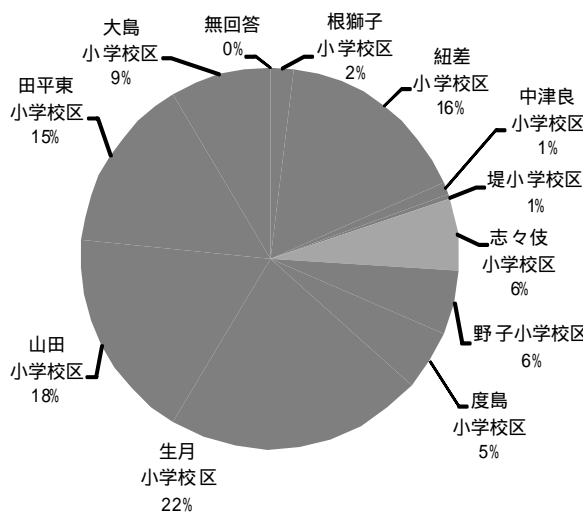
【津吉地域】



【田平地域】

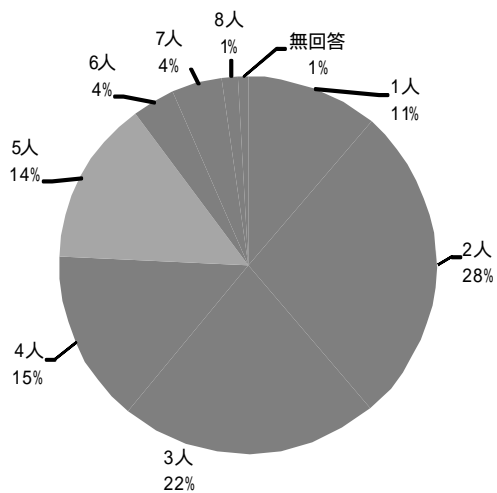


【その他地域】

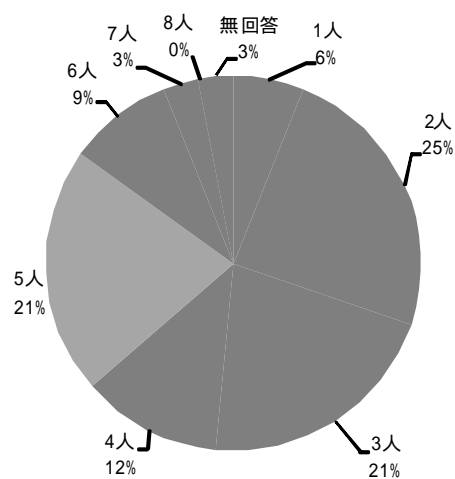


(才)家族構成(人数)

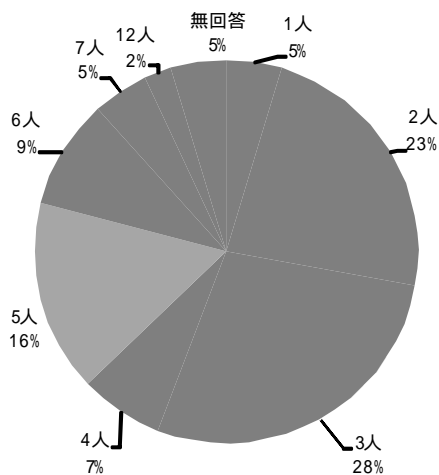
【平戸地域】



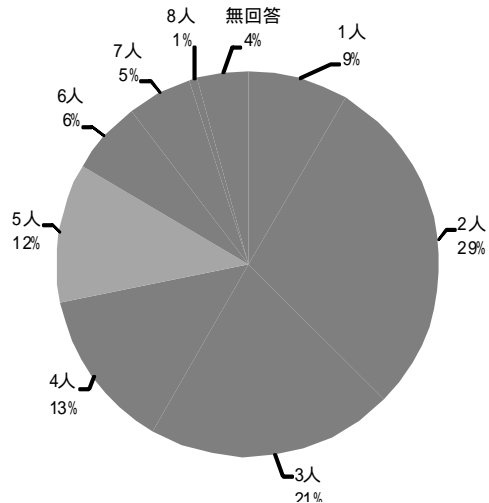
【中野地域】



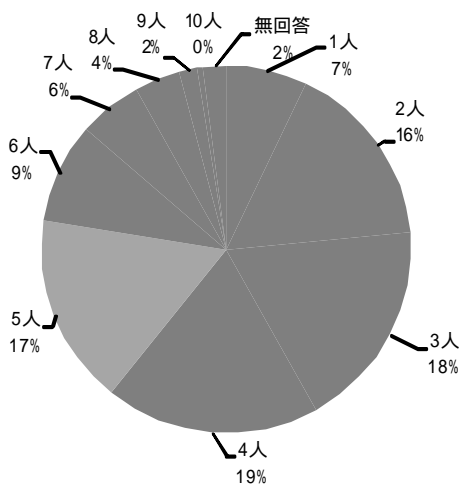
【津吉地域】



【田平地域】



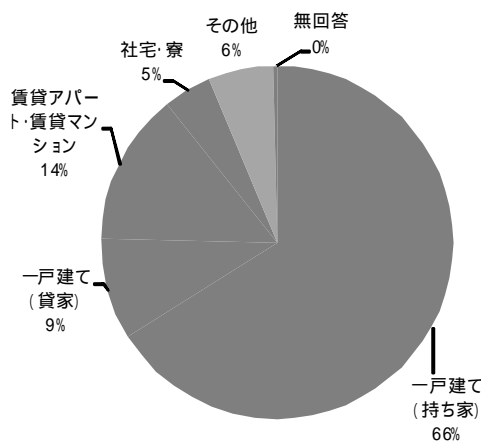
【その他地域】



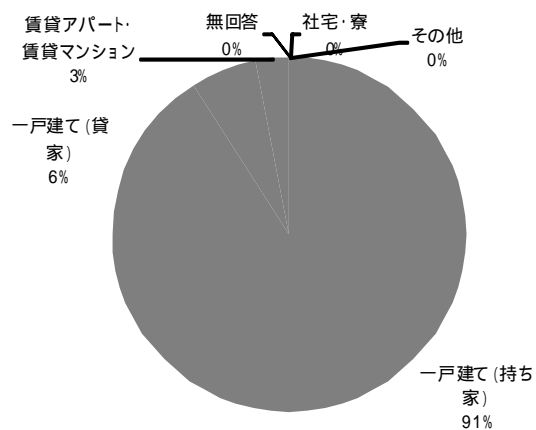
(カ)住居物件

全体として、一戸建て（持ち家）の割合が高い。平戸地域、田平地域については、賃貸アパート、賃貸マンションが高くなっている。

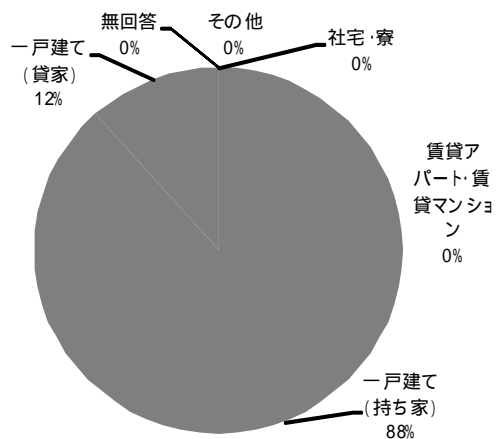
【平戸地域】



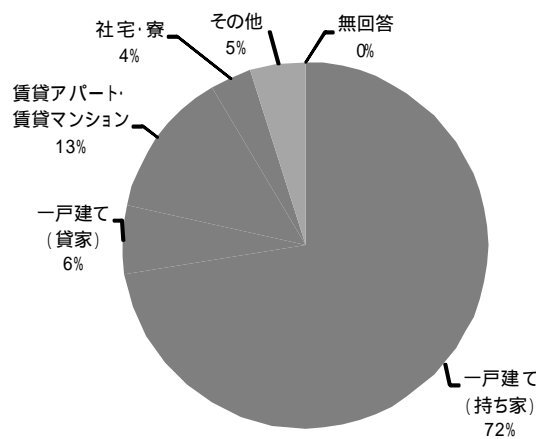
【中野地域】



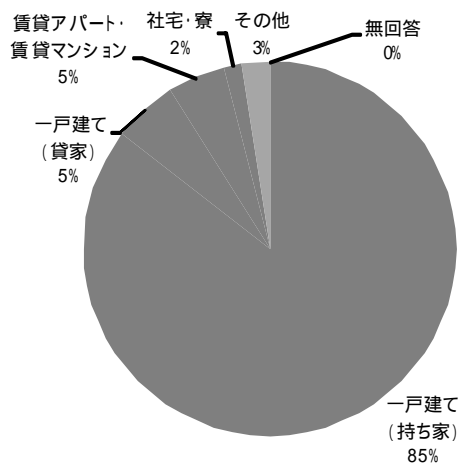
【津吉地域】



【田平地域】



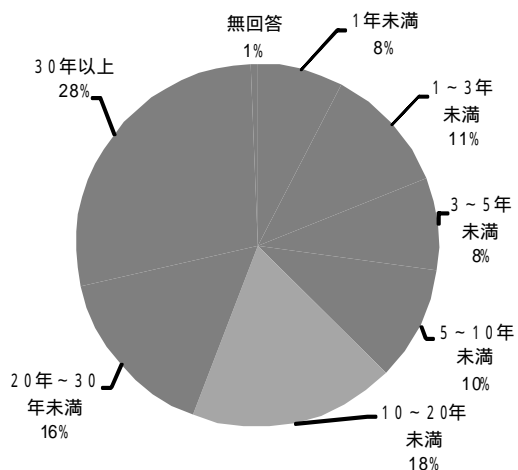
【その他地域】



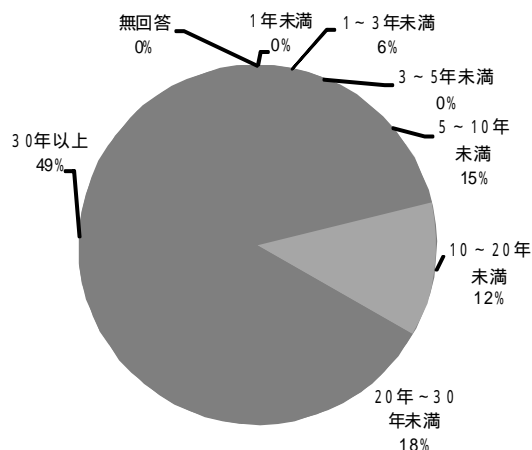
(キ)住居年数

平戸地域では居住年数が3年未満の割合が36%と最も大きい。また居住年数30年以上の割合はその他地域が48%と最も大きく、平戸地域が7%と最も小さい。

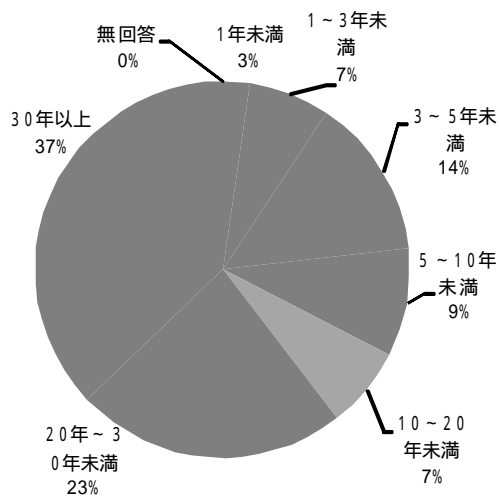
【平戸地域】



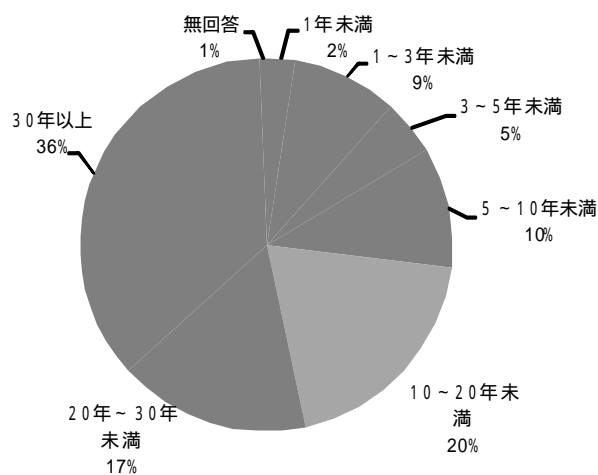
【中野地域】



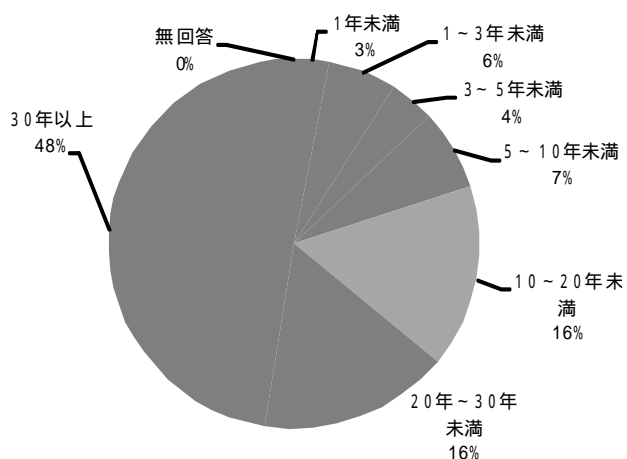
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

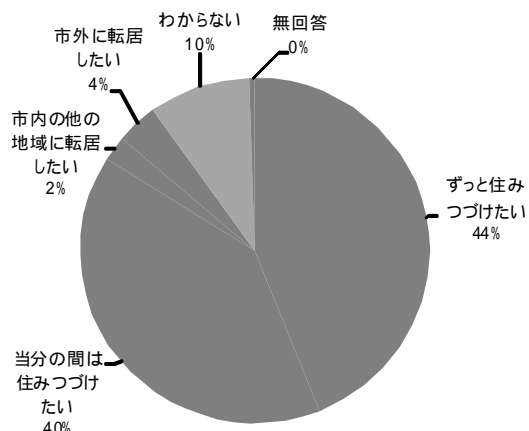


(ク)住居意向

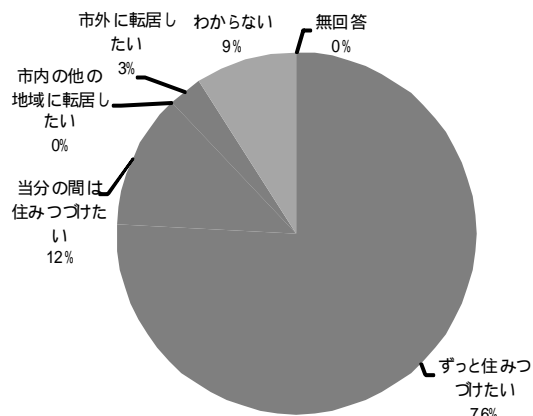
いずれの地域も、6割以上が今住んでいる地域に「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」と思っているが、他地区と比較した場合に、津吉地区が若干低い傾向にある。

「市内の他の地域に転居したい」、「市外に転居したい」の割合は、平戸地域と中野地域は10%未満、津吉地域、田平地域、その他地域では15%前後である。

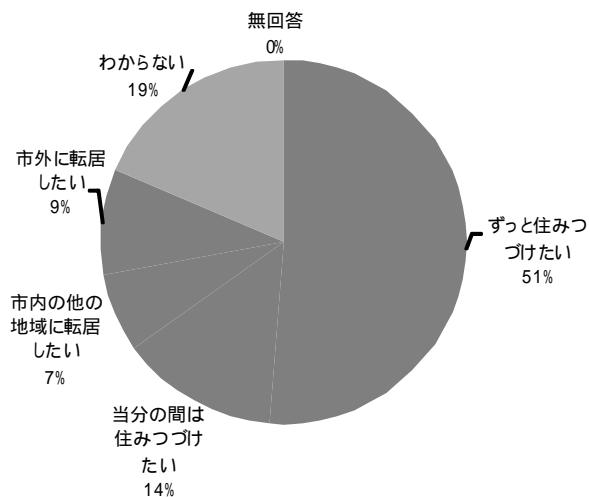
【平戸地域】



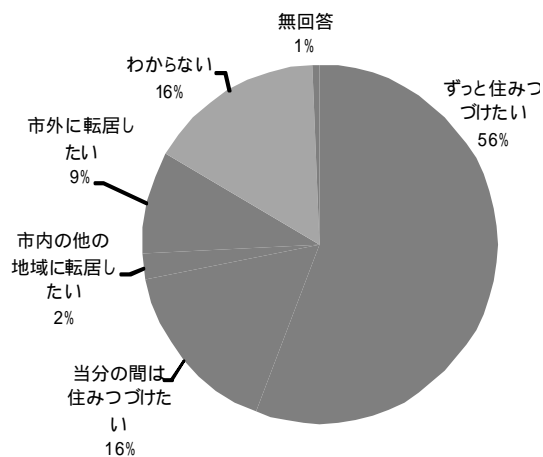
【中野地域】



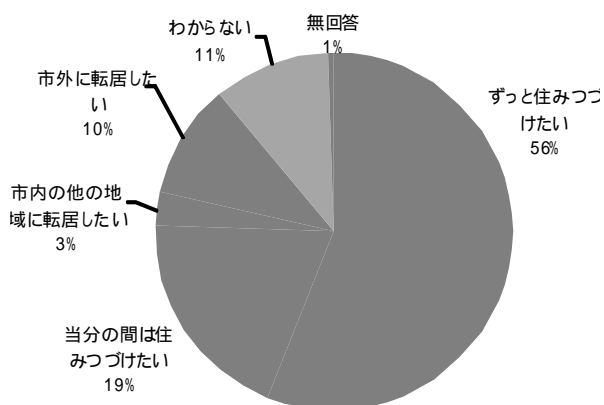
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

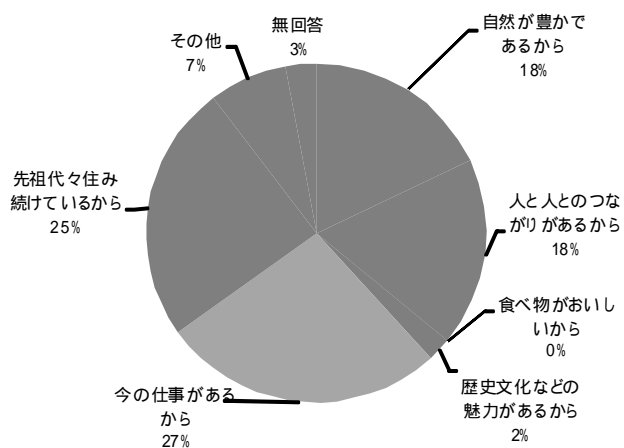


(ケ) 設問(ク)で「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住み続けたい」を選んだ理由

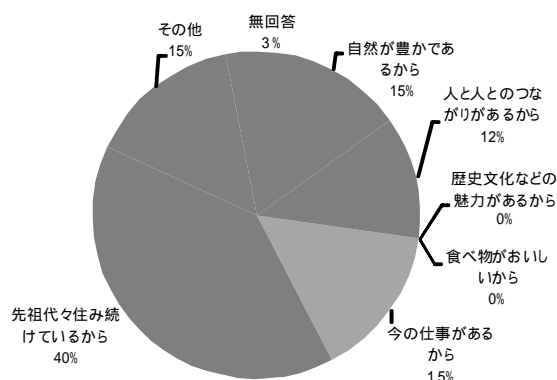
中野地域、津吉地域、田平地域、その他地域では「先祖代々住み続けているから」の割合が最も大きく30～40%を占めている。

平戸地域では「今の仕事があるから」という理由が最も多く27%であるが、平戸地域以外では概ね15%前後である。

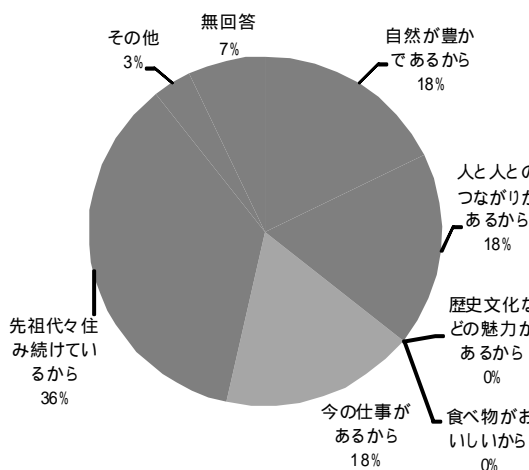
【平戸地域】



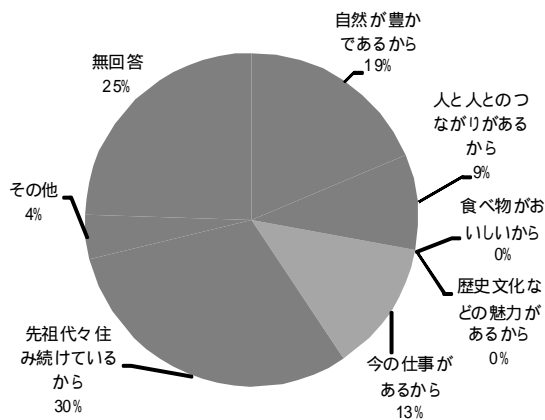
【中野地域】



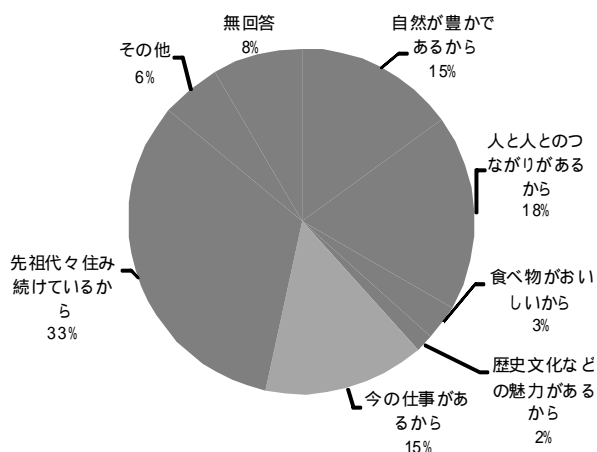
【津吉地域】



【田平地域】



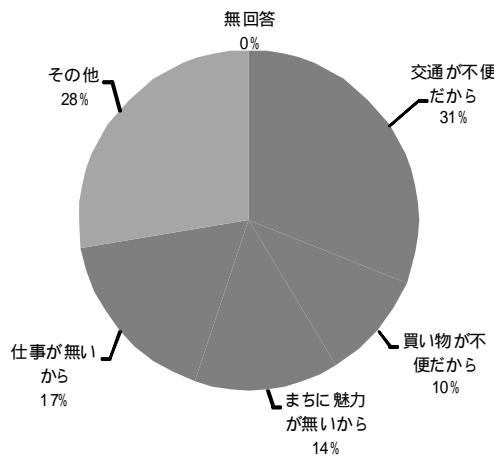
【その他地域】



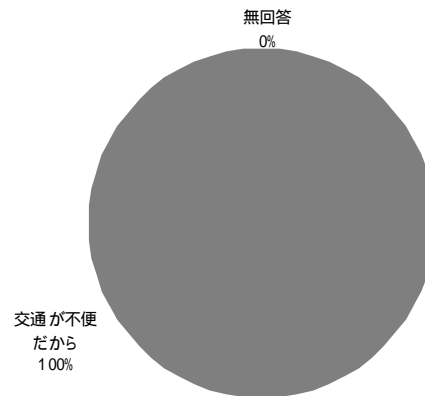
(コ) 設問(ク)で「市内の他の地域に転居したい」または「市外に転居したい」を選んだ理由

平戸地域、中野地域、津吉地域では「交通が不便だから」の割合が最も高く、中野地域では 100% である。田平地域、その他地域では「仕事がないから」という理由が 25%を超えている。

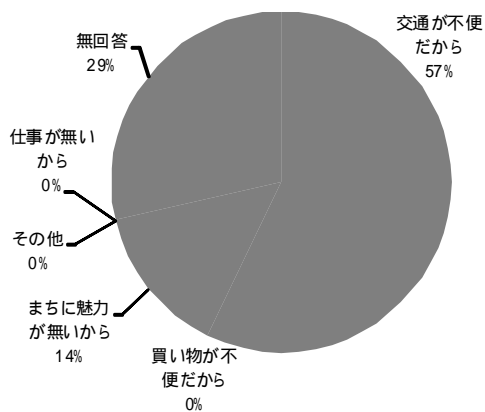
【平戸地域】



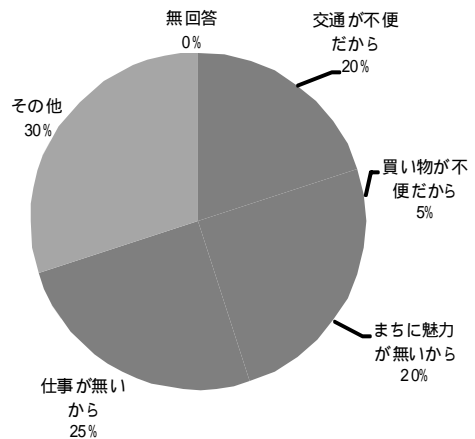
【中野地域】



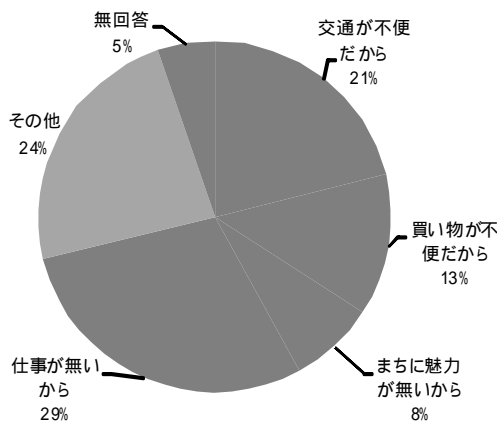
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

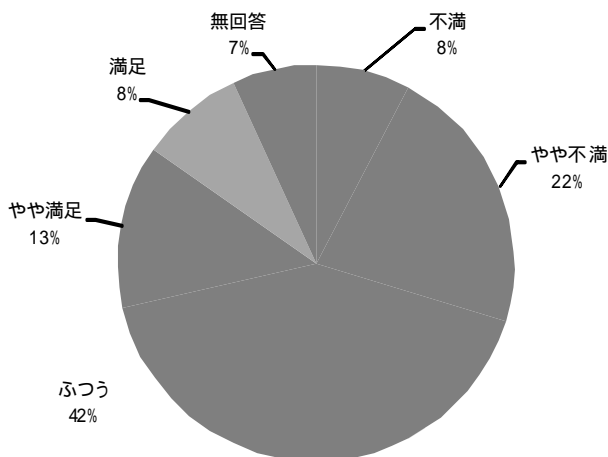


問2 身の回りや地域の生活環境について

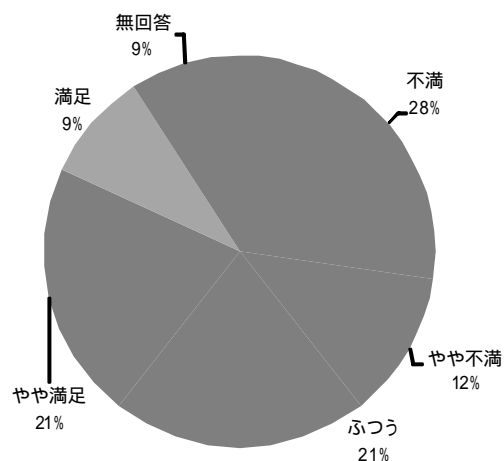
1. 道路の整備状況

中野地域で「不満」「やや不満」である割合が40%と、5地域の中で最も高く、「満足」「やや満足」の割合も30%と5地域の中で最も高い。

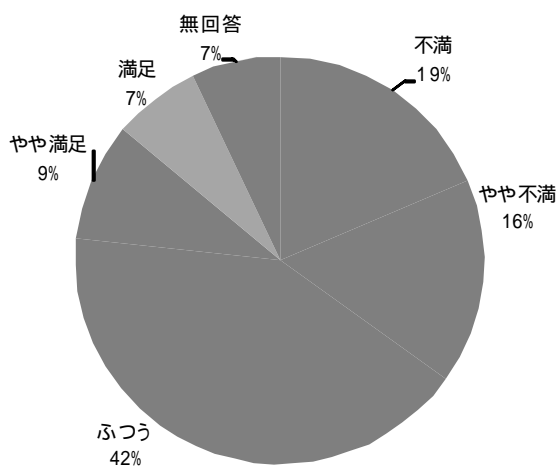
【平戸地域】



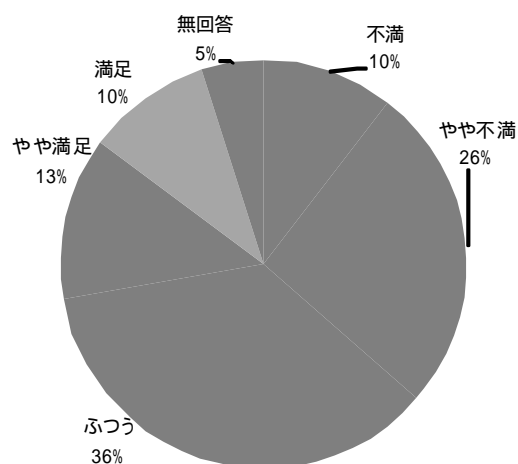
【中野地域】



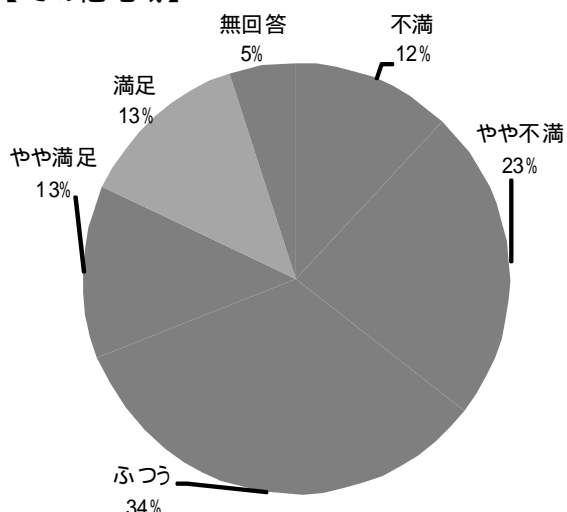
【津吉地域】



【田平地域】



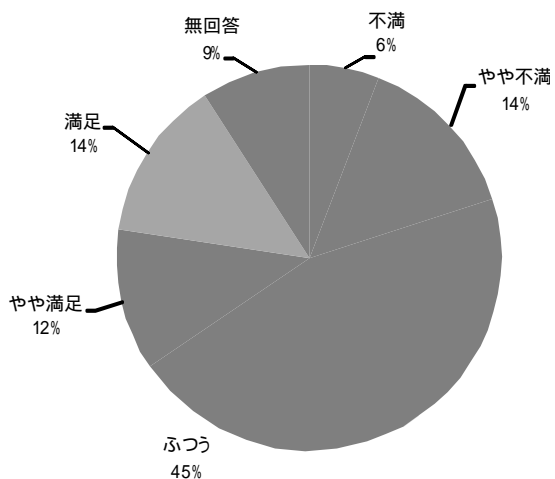
【その他地域】



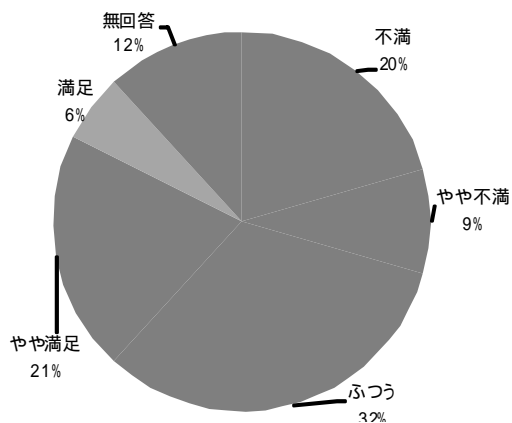
2. 通勤・通学

「不満」「やや不満」の割合が津吉地域では 42%と 5 地域の中で最も大きく、「満足」「やや満足」と感じている割合は 0 である。「不満」「やや不満」の割合は平戸地域で最も小さく 18% である。

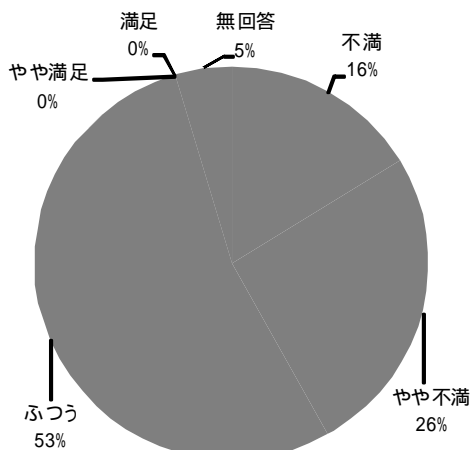
【平戸地域】



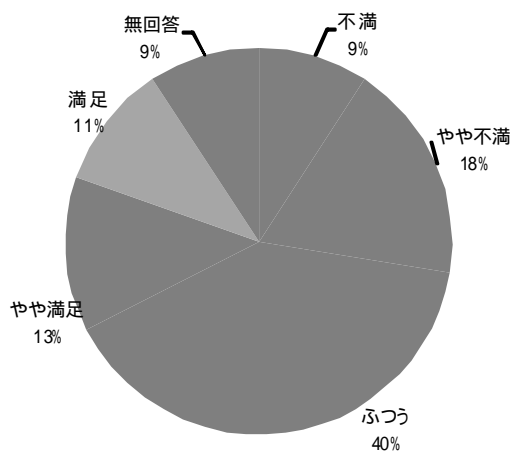
【中野地域】



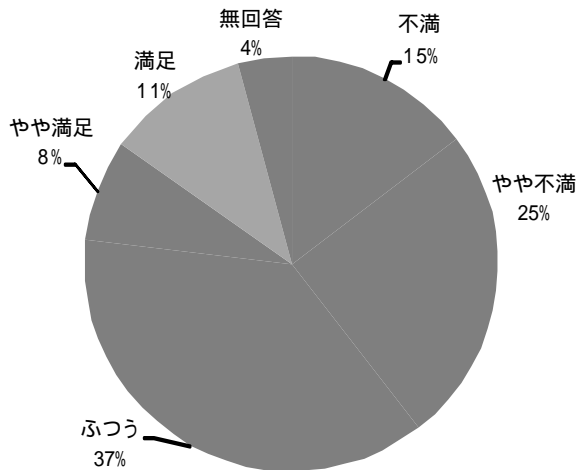
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

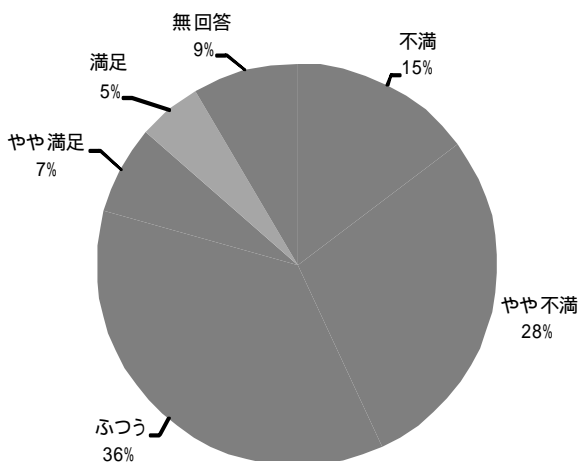


3. バス、鉄道、フェリーなどの公共交通

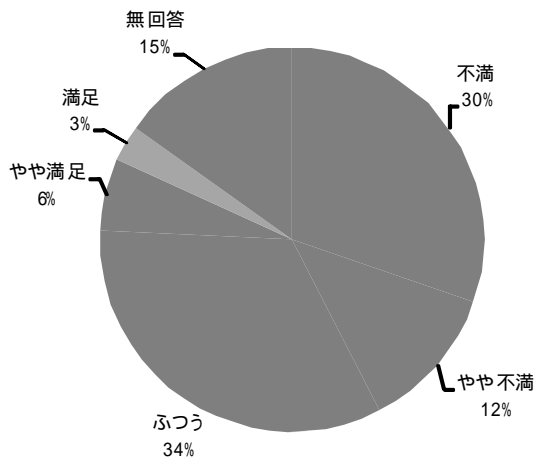
津吉地域で「不満」「やや不満」の割合が5地域の中で最も高く64%である。「満足」「やや満足」の割合も最も小さく5%である。

いずれの地域も「満足」「やや満足」の割合は15%未満である。

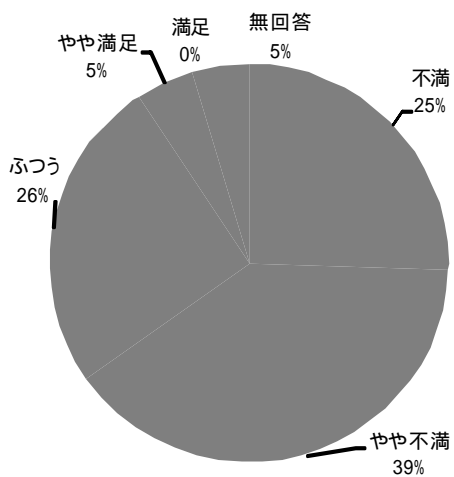
【平戸地域】



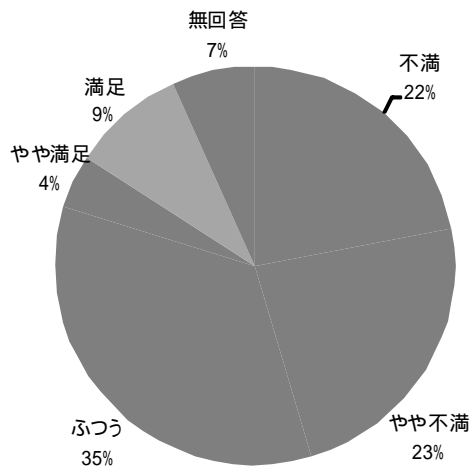
【中野地域】



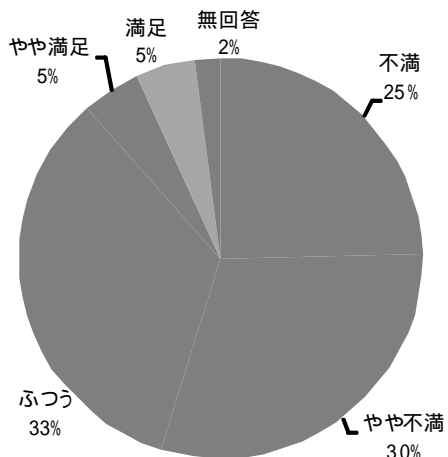
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

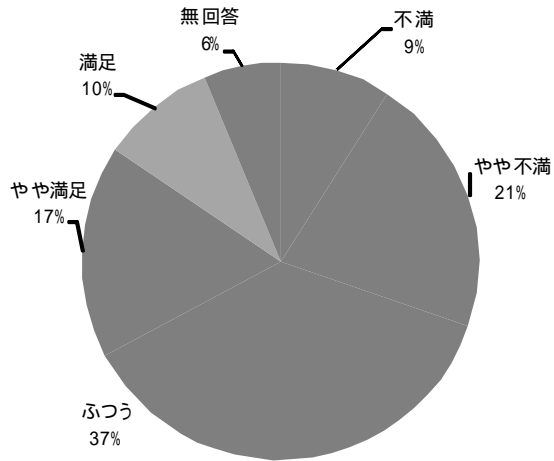


4. 日常の買い物をする商業施設

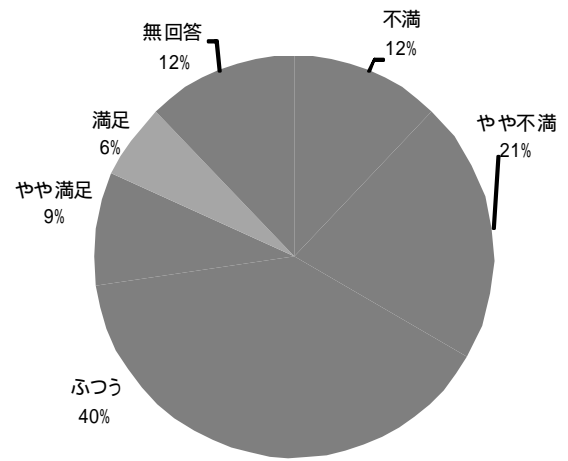
津吉地域とその他地域で「不満」「やや不満」の割合が過半数を超えており、田平地域も48%と過半数に近い。

平戸地域では「満足」「やや満足」の割合が5地域の中で最も大きく27%であり、津吉地域では最も小さく2%である。

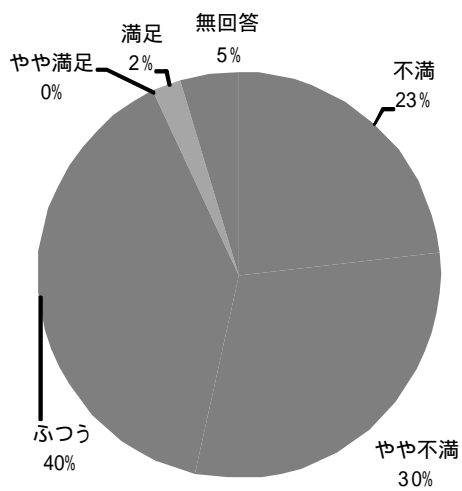
【平戸地域】



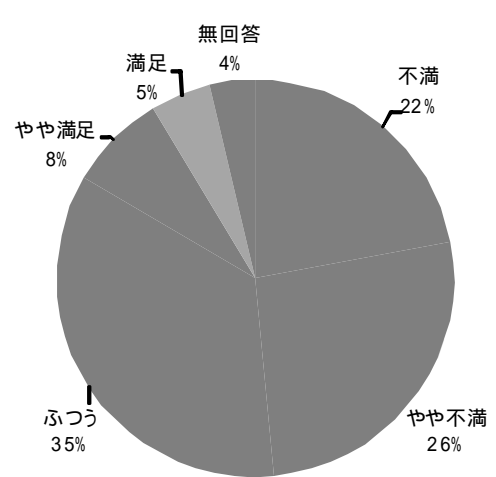
【中野地域】



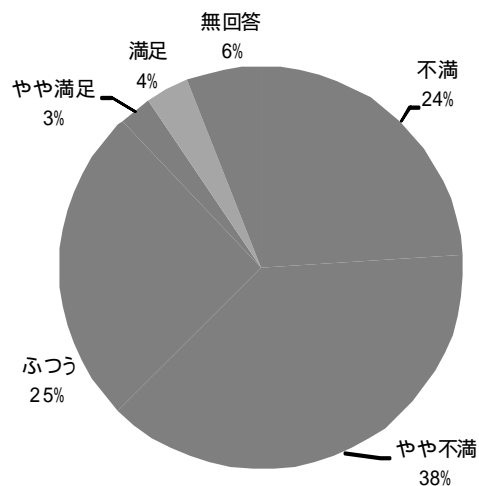
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

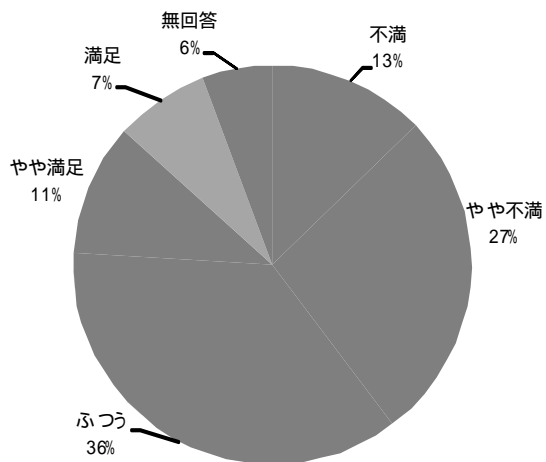


5. 病院や診療所

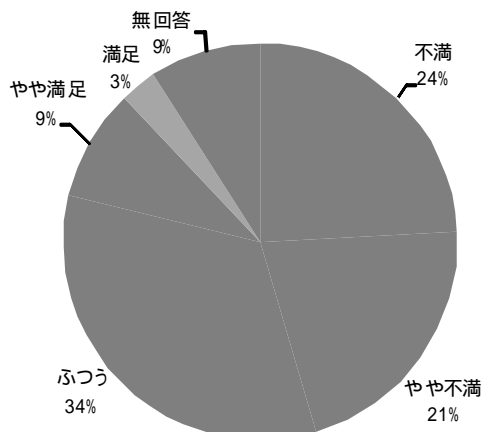
「不満」「やや不満」のある割合は、津吉地域とその他地域で過半数を超えており、中野地域でも45%と過半数近くある。

平戸地域や田平地域では「満足」「やや満足」の割合が5地区の中では大きく20%前後である。

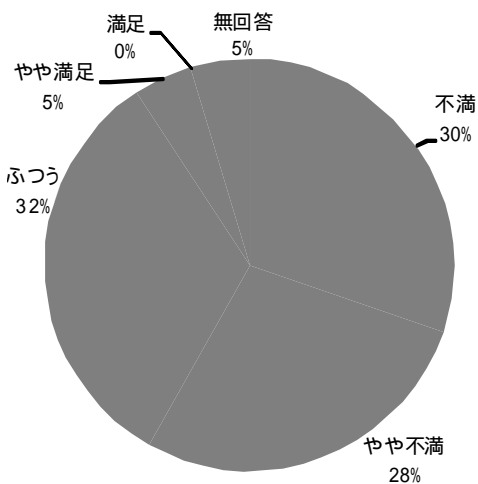
【平戸地域】



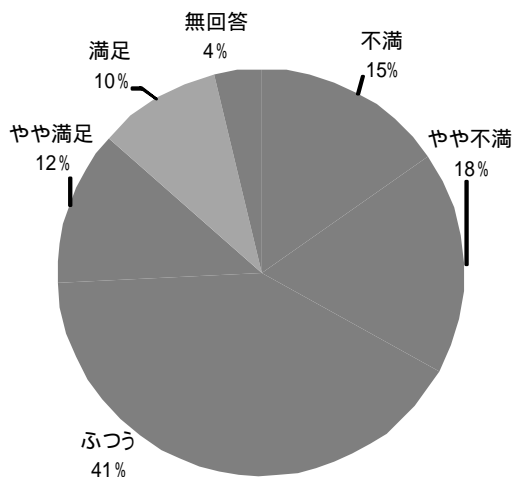
【中野地域】



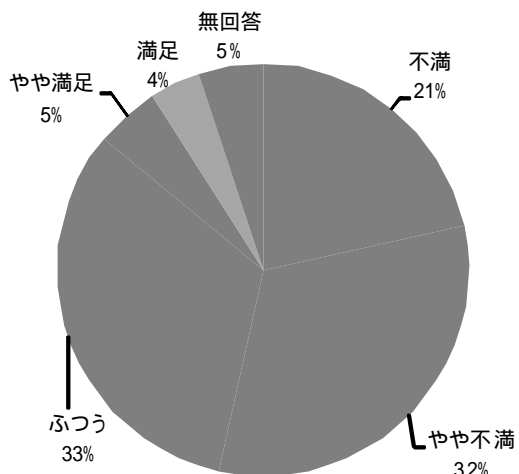
【津吉地域】



【田平地域】



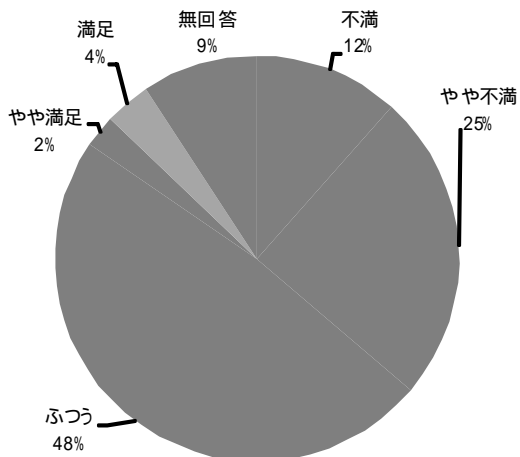
【その他地域】



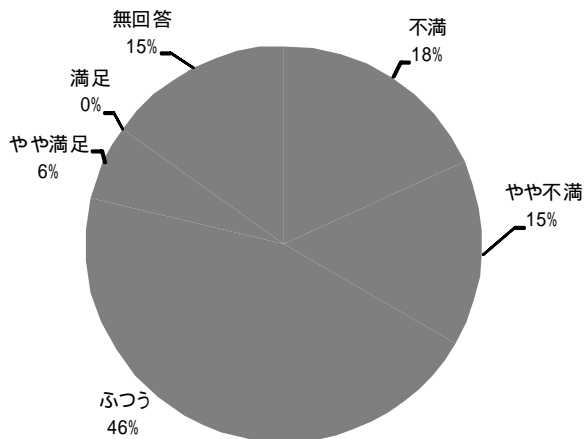
6. 障害者のための福祉施設

いずれの地域も5割前後が「ふつう」と感じている。津吉地域で「満足」「やや満足」の割合が最も高く42%である。

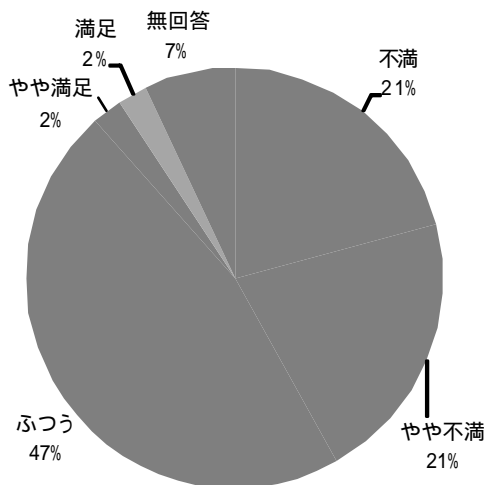
【平戸地域】



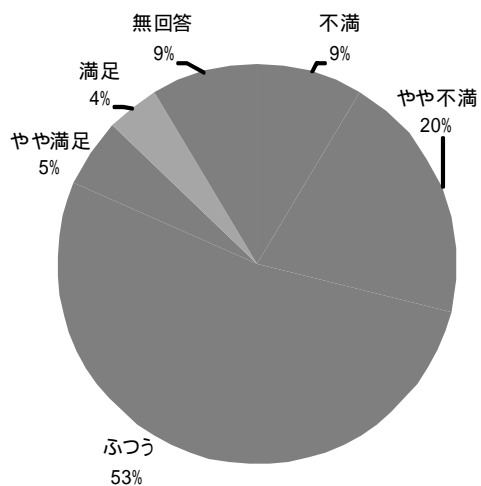
【中野地域】



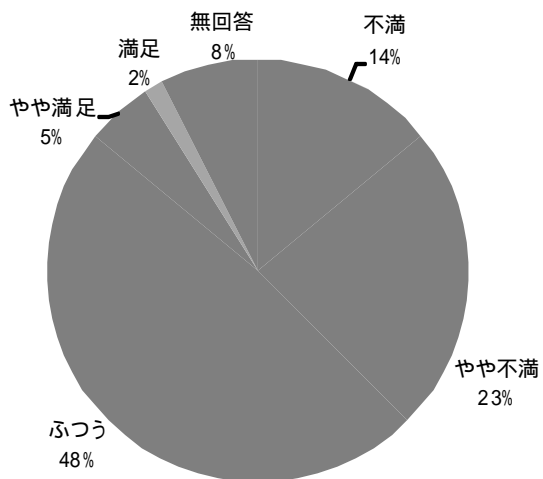
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

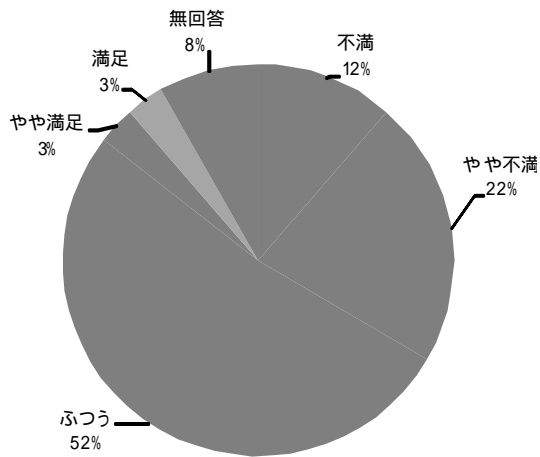


7. 高齢者のための福祉施設

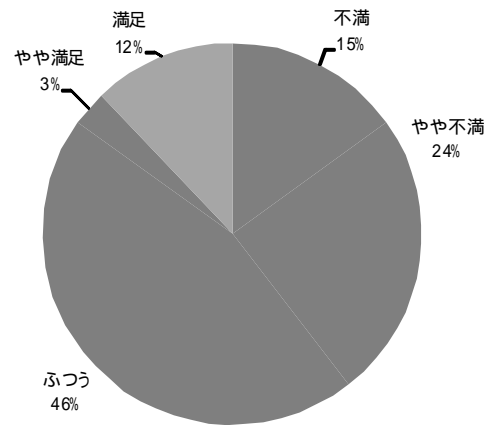
「不満」「やや不満」の割合が最も大きい地域は津吉地域で、過半数を超えている。

「満足」「やや満足」の割合が最も小さい地域は中野地域で3%であり、中野以外の4地域でも概ね10%前後である。

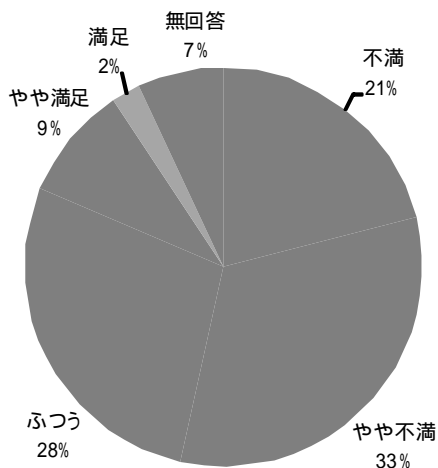
【平戸地域】



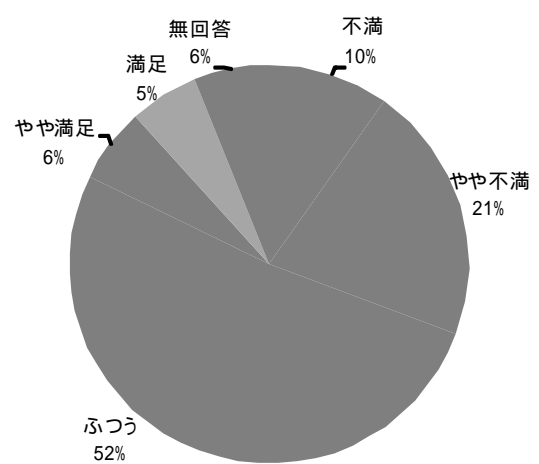
【中野地域】



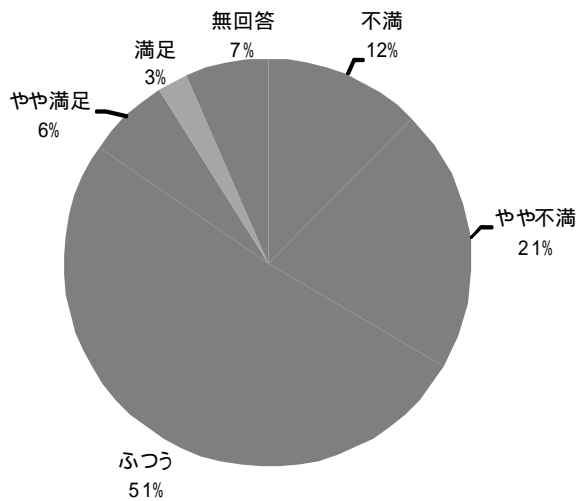
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

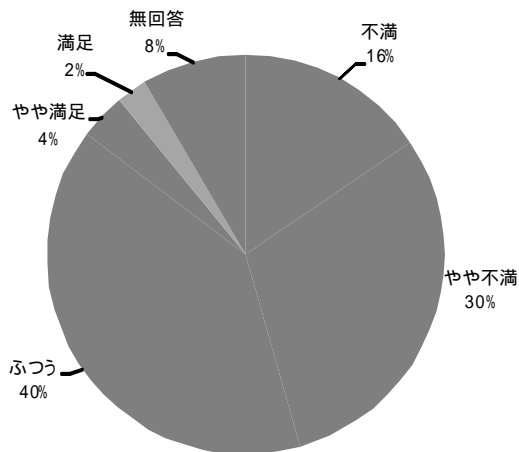


8. 子どものための児童施設

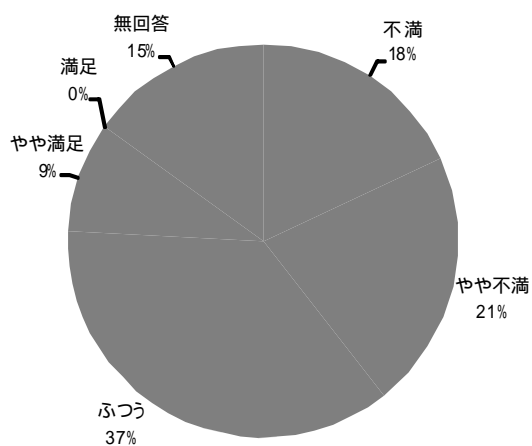
「不満」「やや不満」の割合が最も大きい地域は津吉地域で、過半数を超えている。津吉地域以外の4地域でも4割前後～5割程度の割合である。

「満足」「やや満足」と感じている人の割合が最も小さいのは津吉地域で3%であり、津吉地域以外の4地域でも10%以下である。

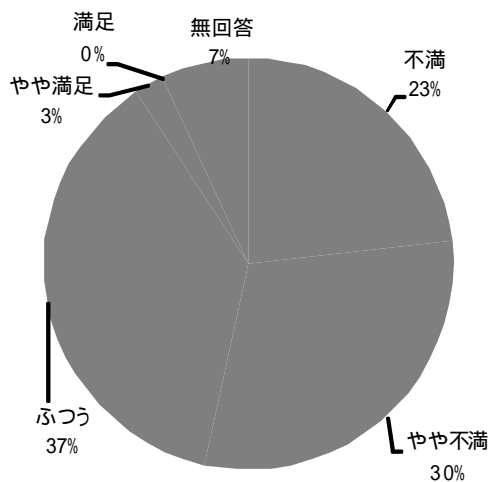
【平戸地域】



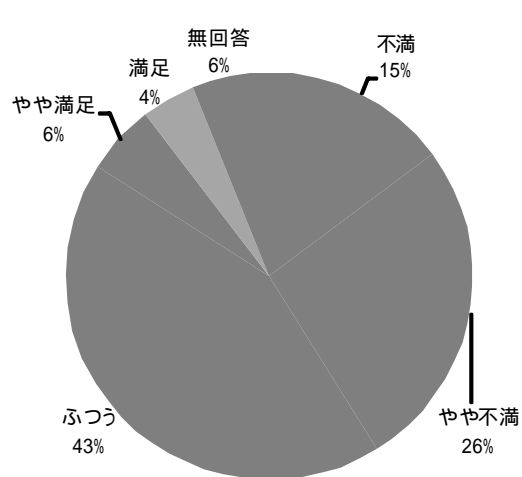
【中野地域】



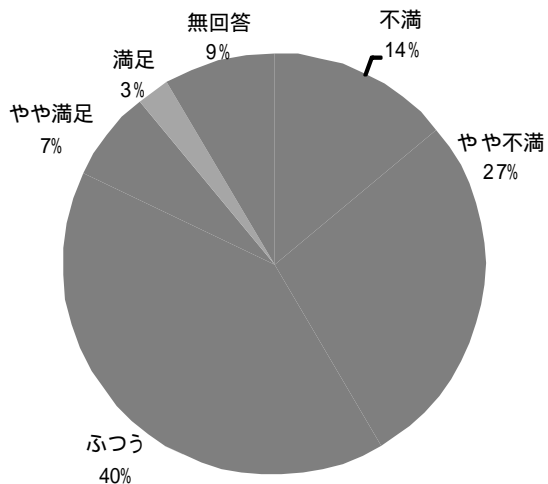
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

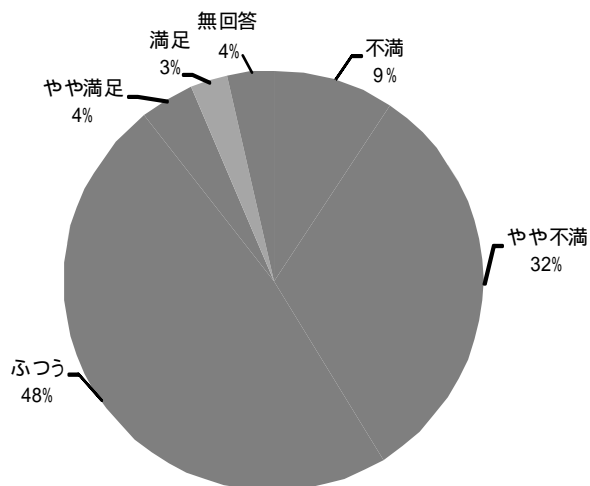


9. 道路の安全対策

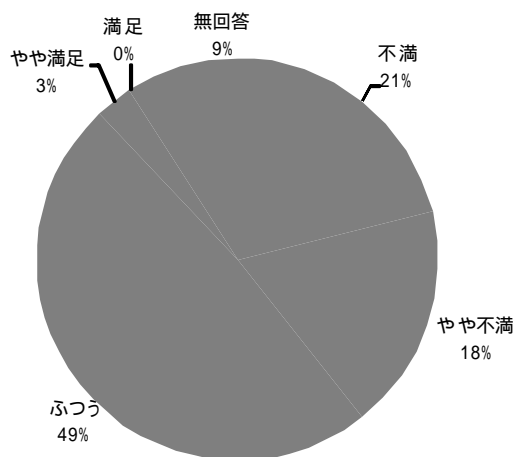
田平地域が「不満」「やや不満」の割合が50%と最も大きく、次いで津吉地域が47%である。

「満足」「やや満足」と感じる割合はいずれの地域も10%以下で、中野地域が3%と最も小さい。

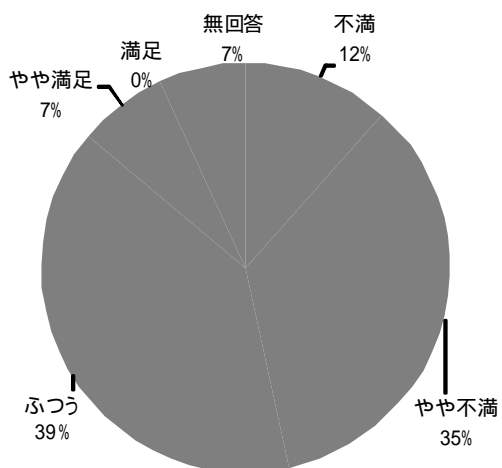
【平戸地域】



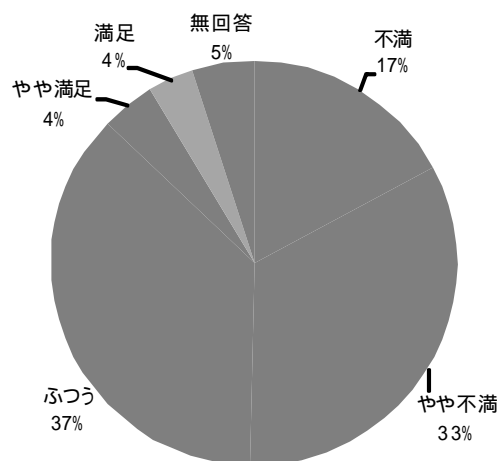
【中野地域】



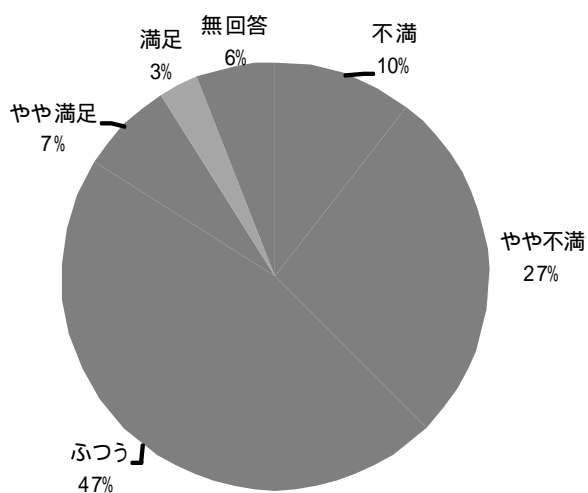
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

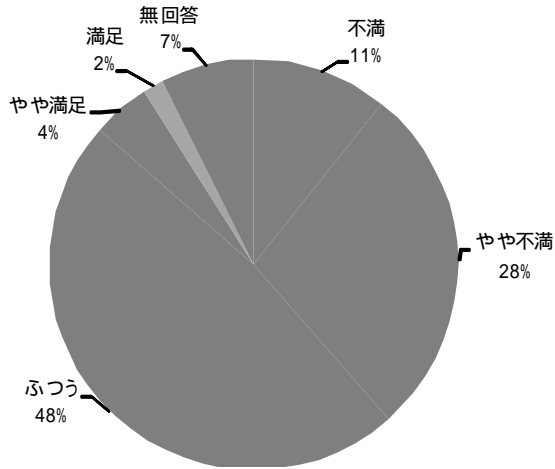


10. 災害対策や避難情報の提供

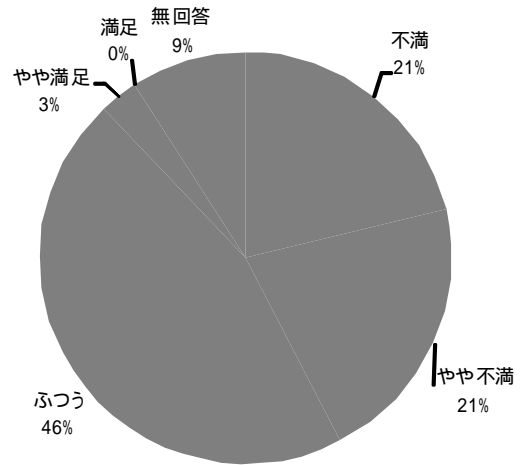
「不満」「やや不満」と感じる割合が田平地域で最も大きく 50% であり、最も小さい地域は津吉地域で 28% である。

「満足」「やや満足」と感じている割合が最も大きいのはその他地域で 12%、最も小さいのは中野地域で 3% である。

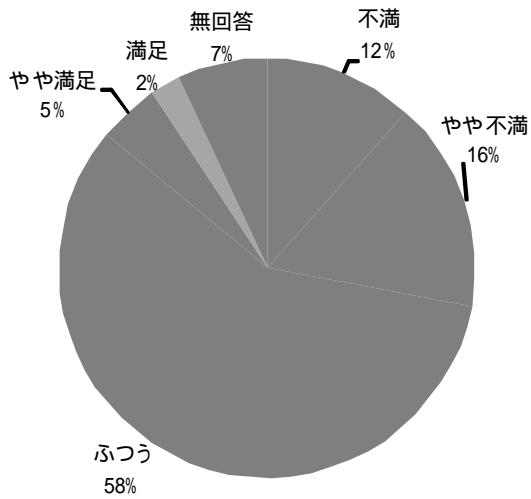
【平戸地域】



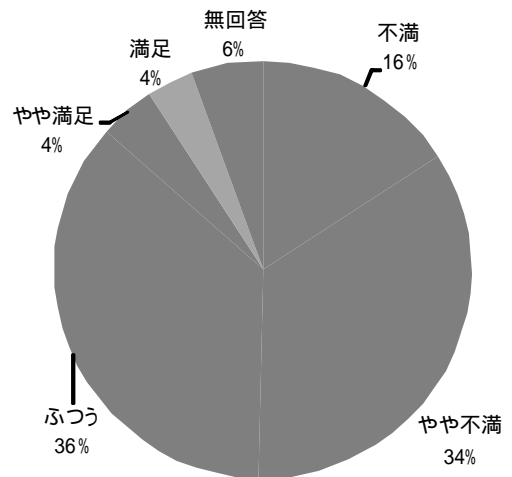
【中野地域】



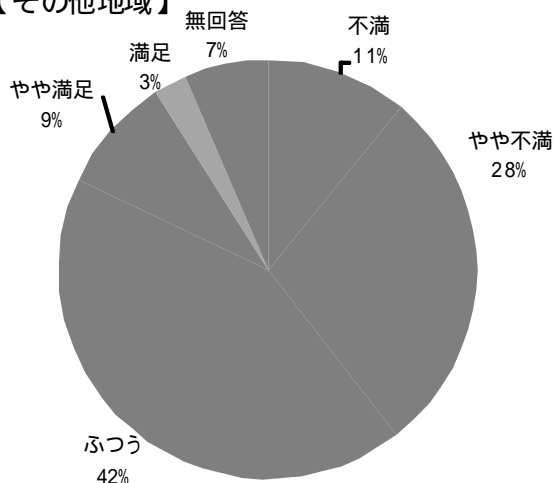
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

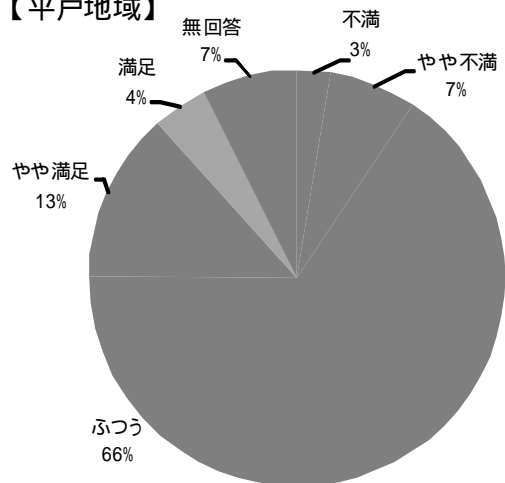


11. 消防施設、消防体制

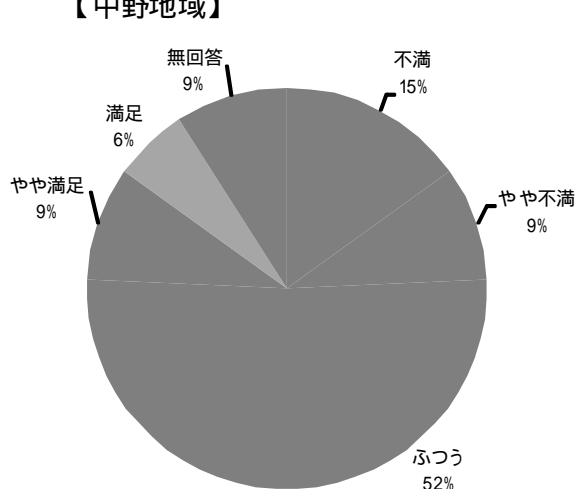
いずれの地域も過半数が「ふつう」と感じている。「不満」「やや不満」と感じる割合が最も大きいのが中野地域で 24% であり、その他の 4 地域も概ね 10~15% 程度が「不満」「やや不満」と感じている。

「満足」「やや満足」の割合が最も大きい地域は 23% の津吉地域で、次いでその他の地域が 23% である。その他の 3 地域は 15%~17% である。

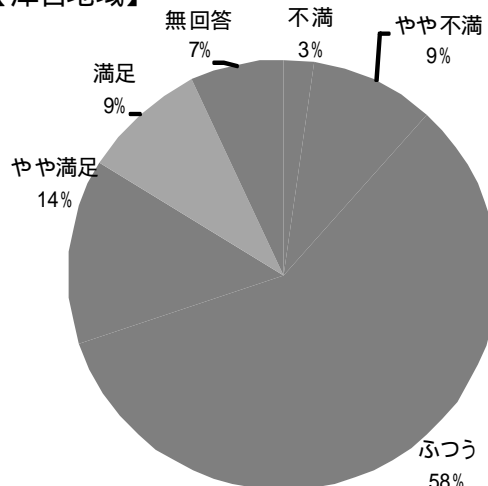
【平戸地域】



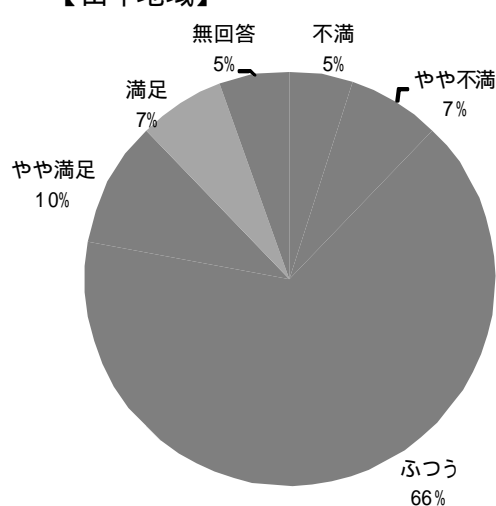
【中野地域】



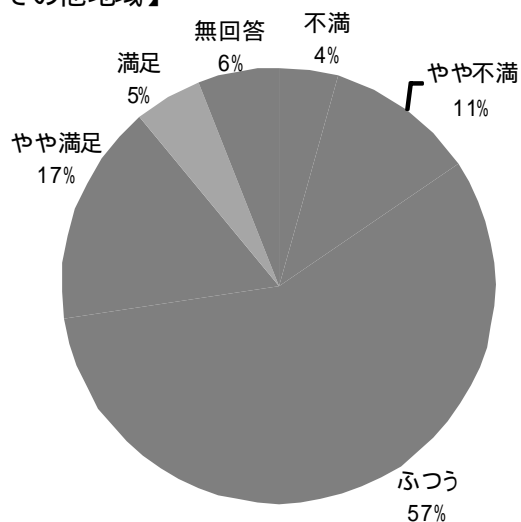
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

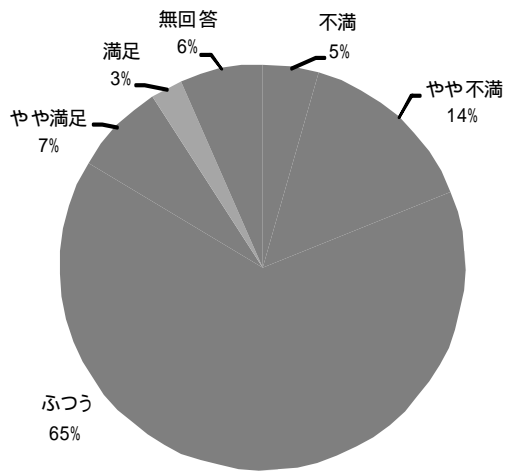


12. 防犯対策

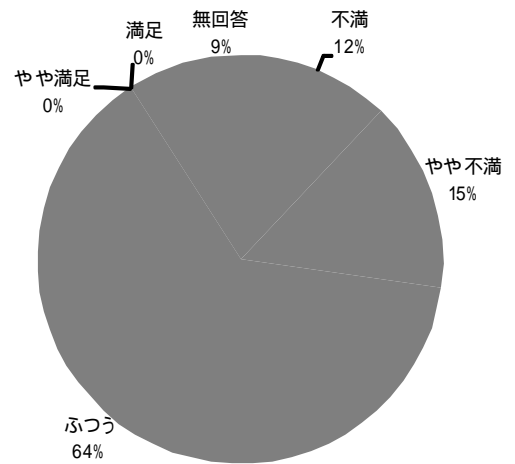
「不満」「やや不満」の割合が最も大きいのは津吉地域で 30%である。平戸地域は最も小さく 19%、残りの3地域は 25%前後である。

「満足」「やや満足」と感じている割合は、中野地域は0%であり、最も大きい地域は津吉地域の 14%である。

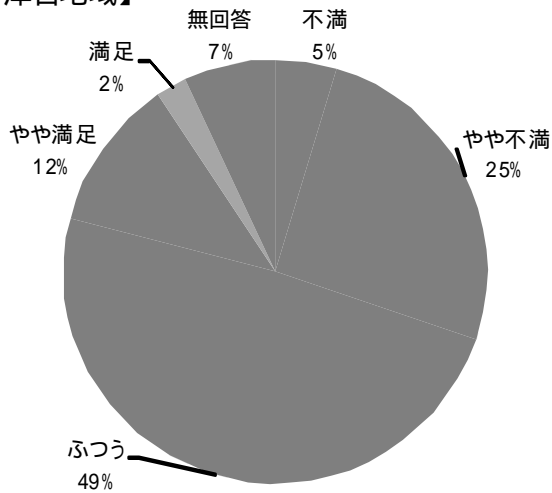
【平戸地域】



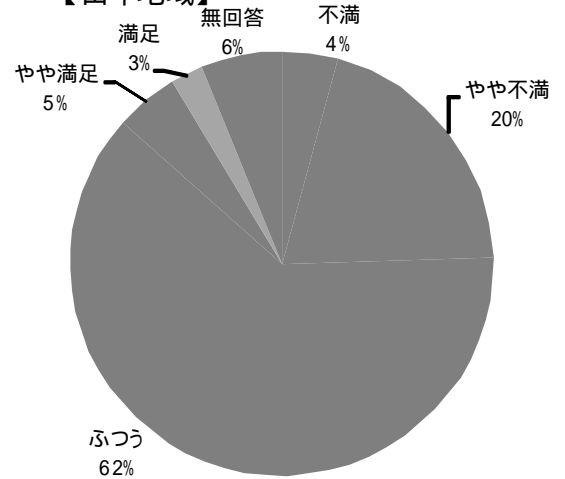
【中野地域】



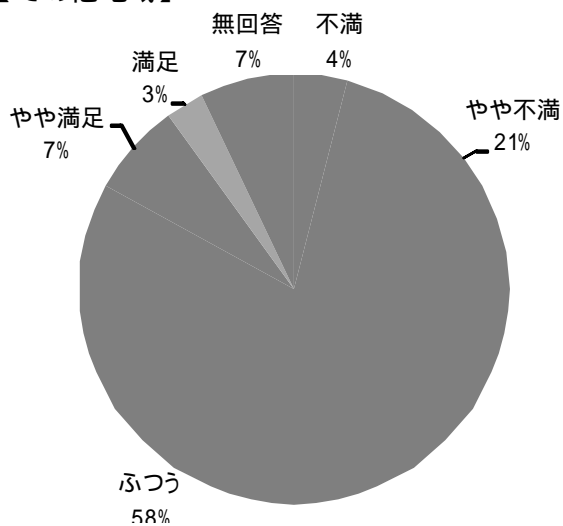
【津吉地域】



【田平地域】



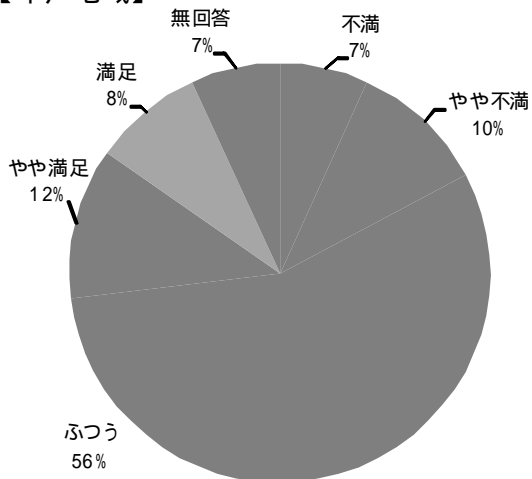
【その他地域】



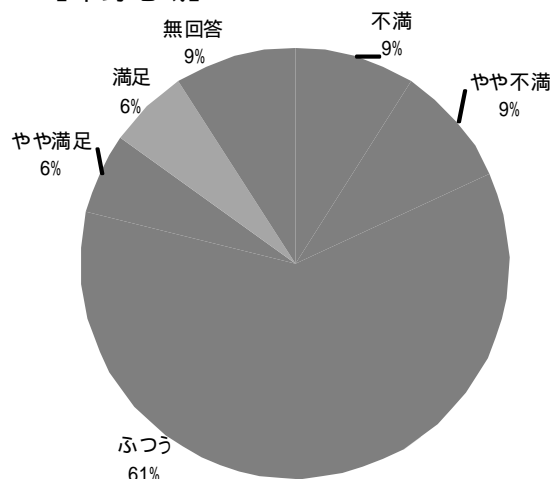
13. 上水道整備

「不満」の割合が最も大きいのは津吉地域で14%である。また「やや不満」を加えた割合をみると、その他の地域が24%で最も多くなっている。平戸地域は最も小さく17%である。

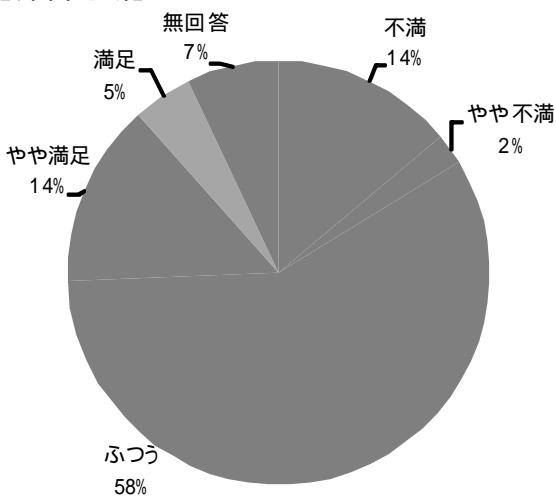
【平戸地域】



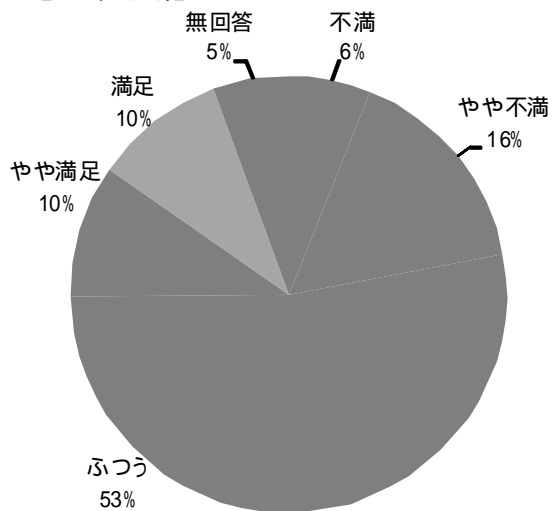
【中野地域】



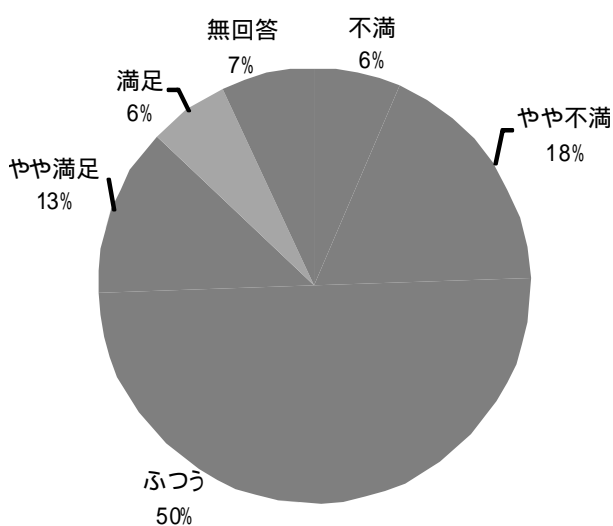
【津吉地域】



【田平地域】



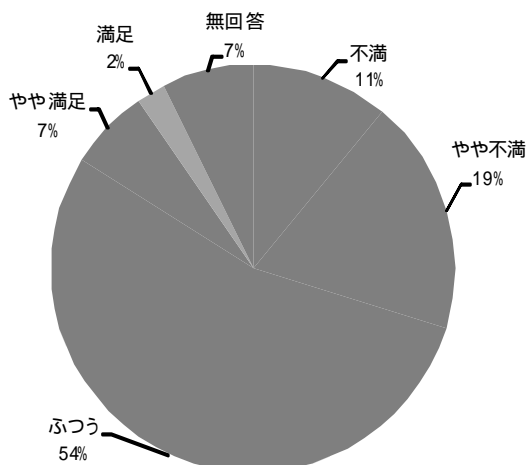
【その他地域】



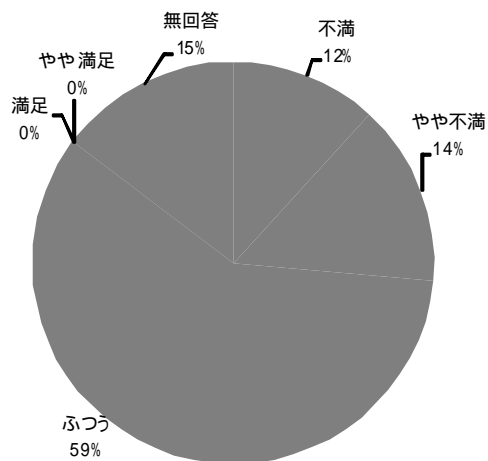
14. 生活排水処理

平戸地域、中野地域、津吉地域では過半数が「ふつう」と感じている。田平地域は50%が、その他地域では45%が「ふつう」と回答しており、全地区に渡って「ふつう」の割合が最も大きい。

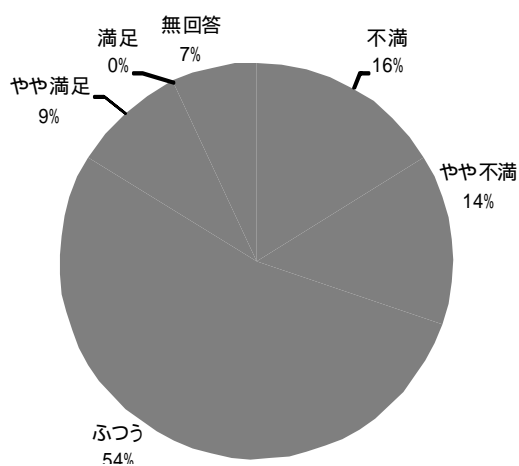
【平戸地域】



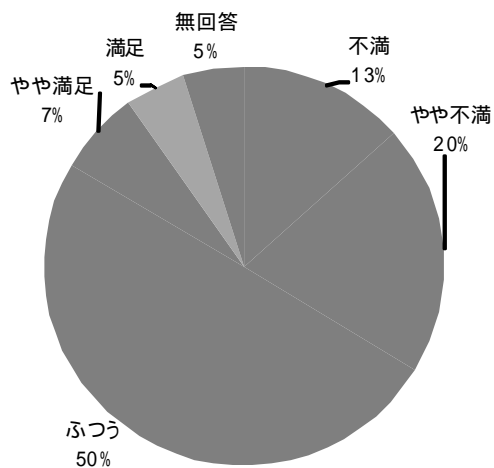
【中野地域】



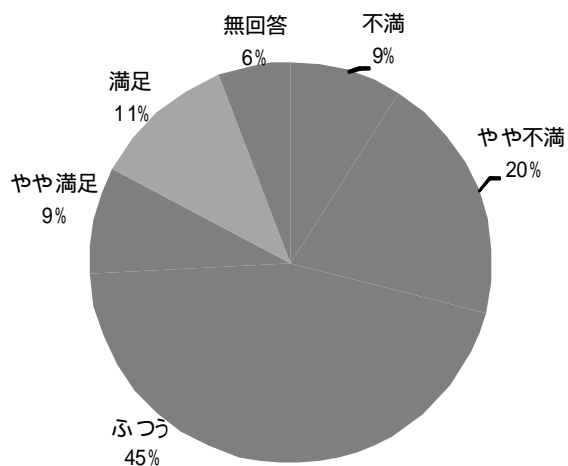
【津吉地域】



【田平地域】



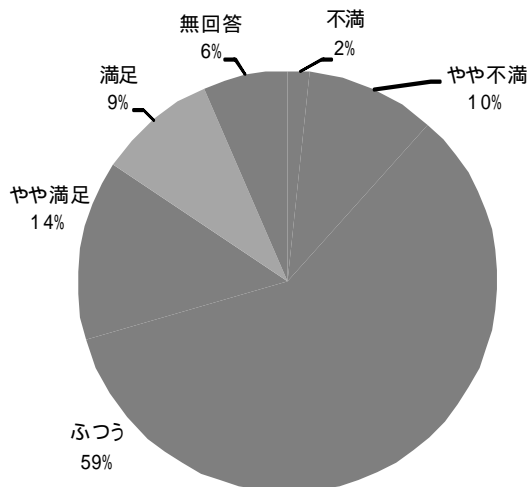
【その他地域】



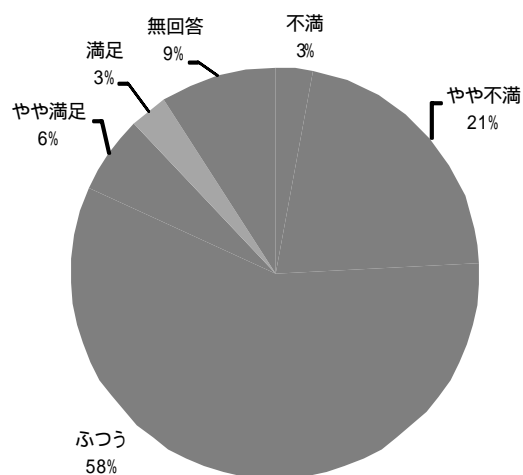
15. ごみ収集・処理

いずれの地域も過半数が「ふつう」と感じている。「不満」「やや不満」の割合が最も高いのは中野地域で24%である。「満足」「やや満足」の割合は、平戸地域、田平地域、津吉地域は概ね20%前後であるが、中野地域は9%と最も低い割合になっている。

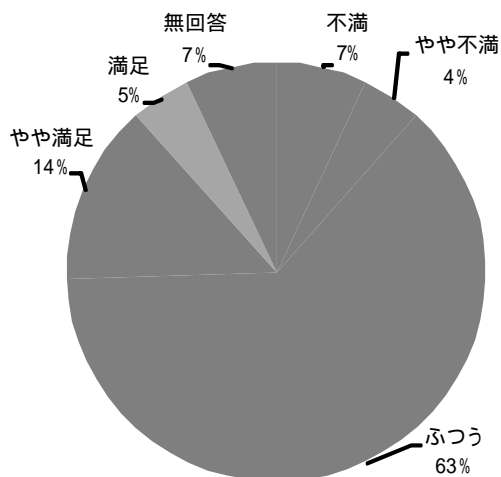
【平戸地域】



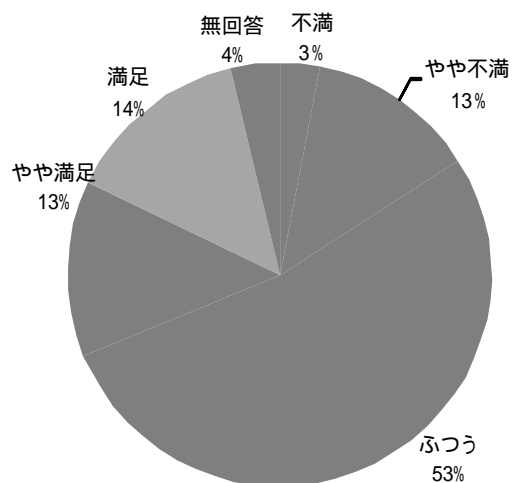
【中野地域】



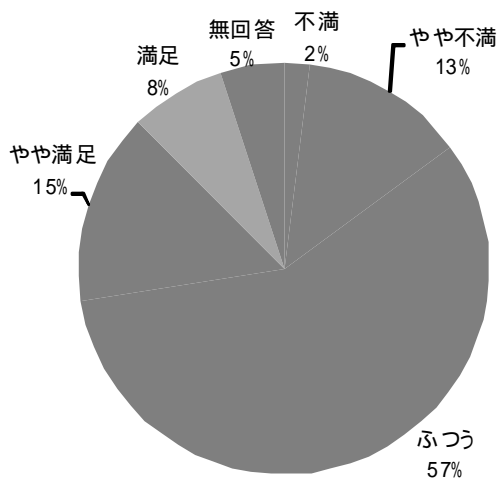
【津吉地域】



【田平地域】



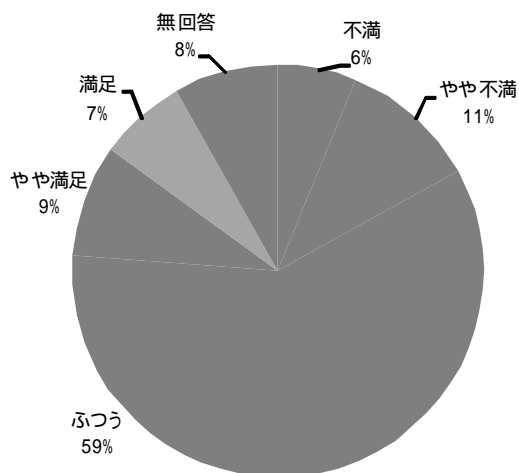
【その他地域】



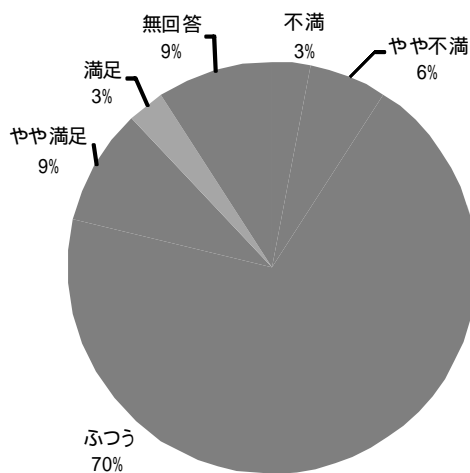
16. し尿処理

いずれの地域も過半数が「ふつう」と感じており、中でも中野地域は70%と最も高い割合である。「不満」「やや不満」の割合が最も高いのは津吉地域で21%、「満足」「やや満足」と回答した割合が最も高いのは田平地域で20%である。

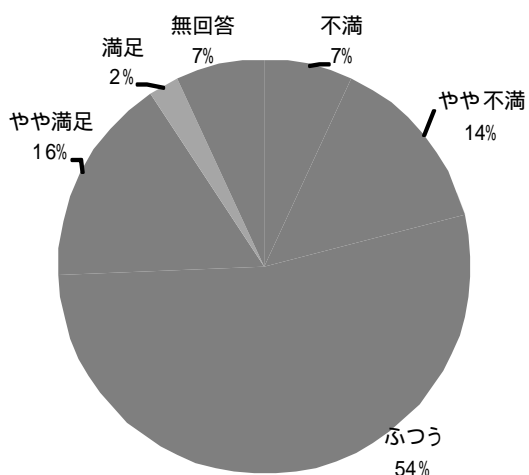
【平戸地域】



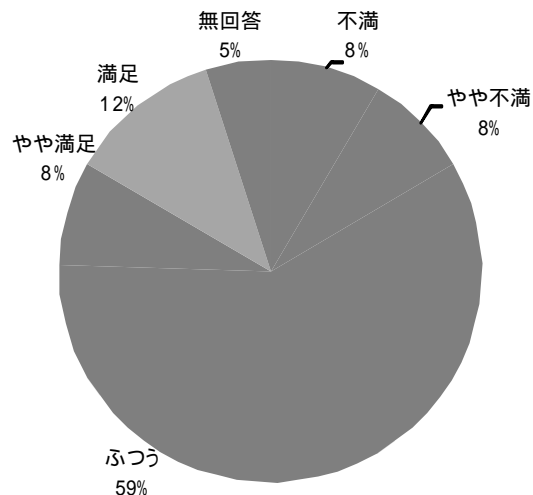
【中野地域】



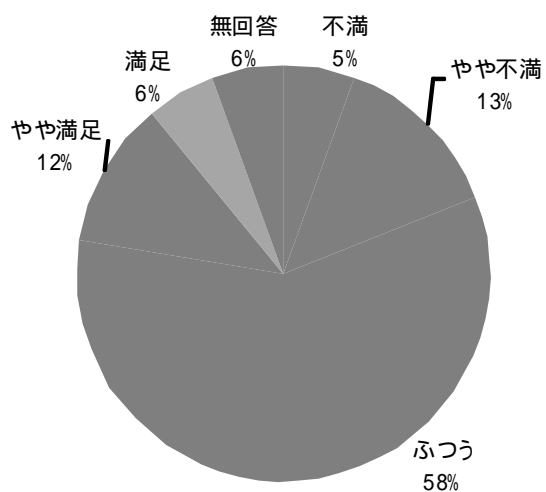
【津吉地域】



【田平地域】



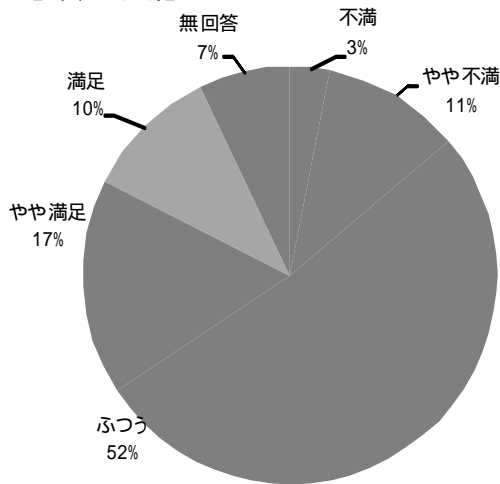
【その他地域】



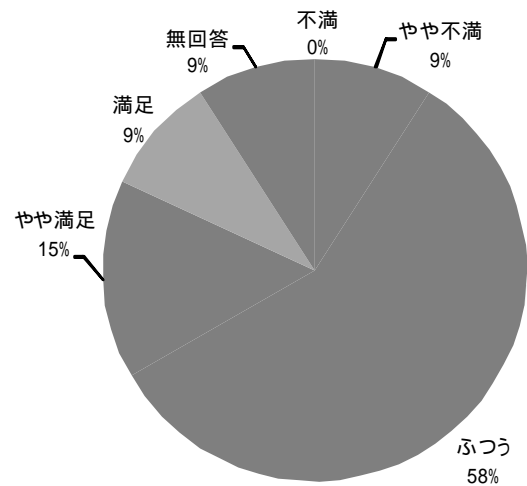
17. 宅地の広さやゆとり

「ふつう」と感じる割合が最も低いのは田平地域で45%、それ以外の地域では全て50%を超えている。「不満」「やや不満」の割合は津吉地域が最も低く7%、その他地域が最も高く18%である。「満足」「やや満足」は田平地区の37%が最も高い割合である。

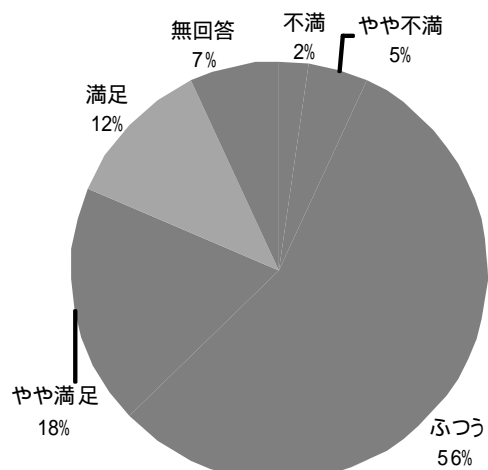
【平戸地域】



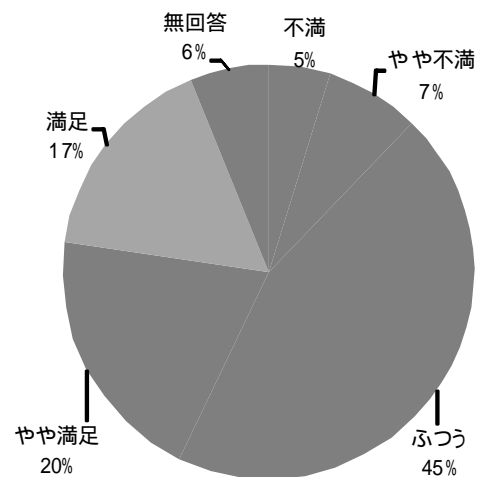
【中野地域】



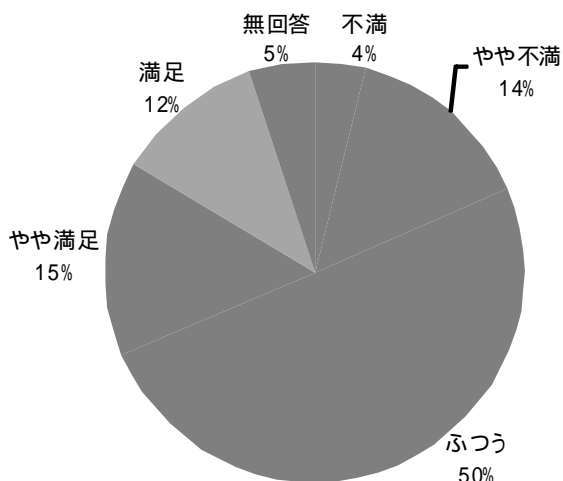
【津吉地域】



【田平地域】



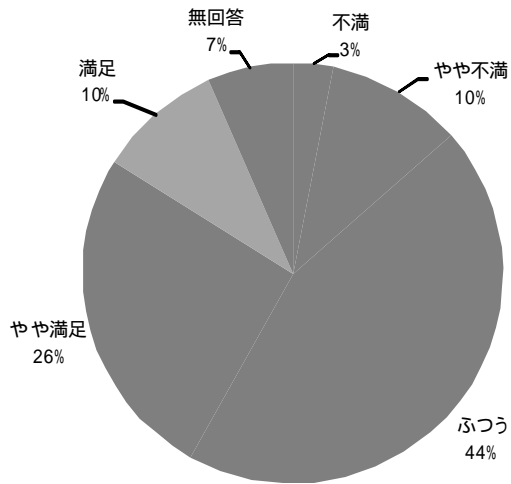
【その他地域】



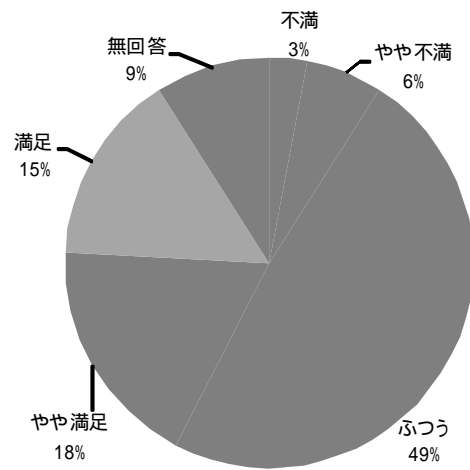
18. まちなみや景観

「満足」「やや満足」がいずれの地域でも30%を超えている。「不満」「やや不満」が最も低いのは中野地域の9%、最も高いのは津吉地域の21%である。いずれの地域でも最も多い回答は「ふつう」である。

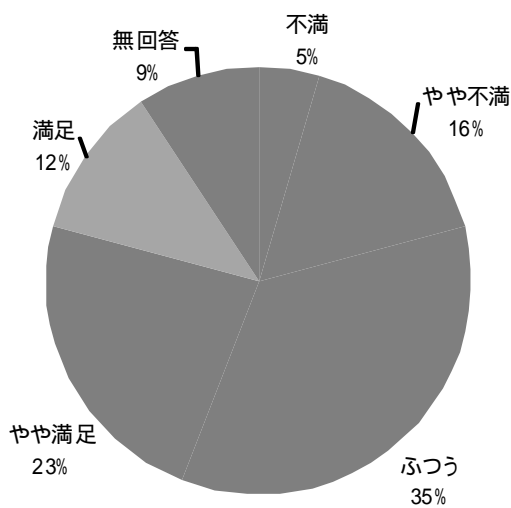
【平戸地域】



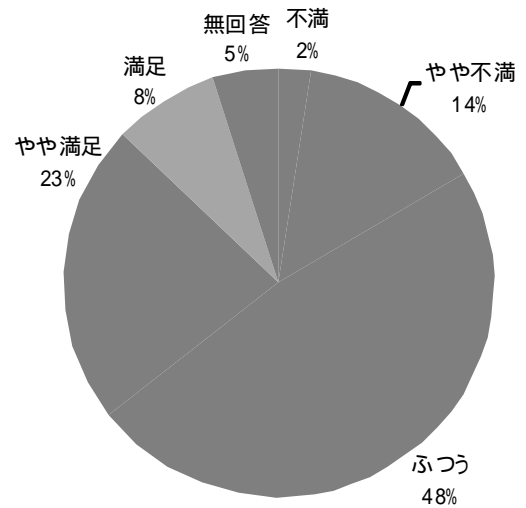
【中野地域】



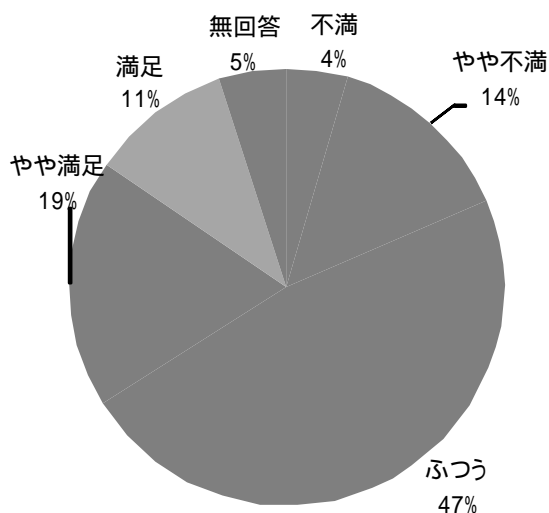
【津吉地域】



【田平地域】



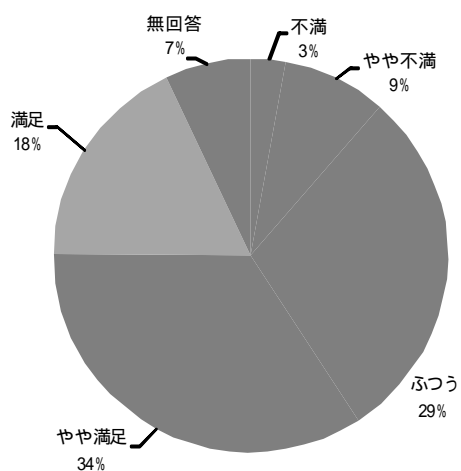
【その他地域】



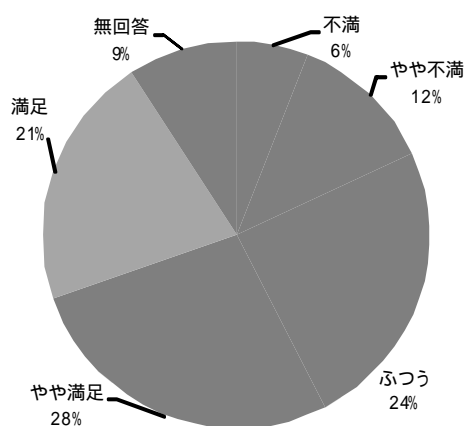
19. 海や山、川などの自然環境

「満足」「やや満足」は平戸地域が 52%と最も高い。他の 4つの地域も 45～50%は「満足」「やや満足」と回答しており、全地域に渡って概ね半数は「満足」「やや満足」という回答である。「不満」「やや不満」は中野地域、津吉地域が共に 18%、それ以外の 3つの地域は全て 11%である。

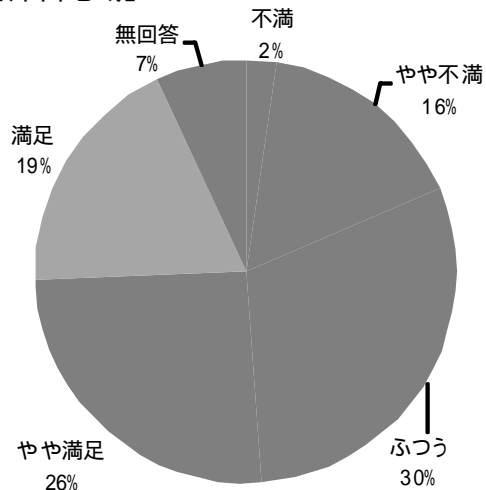
【平戸地域】



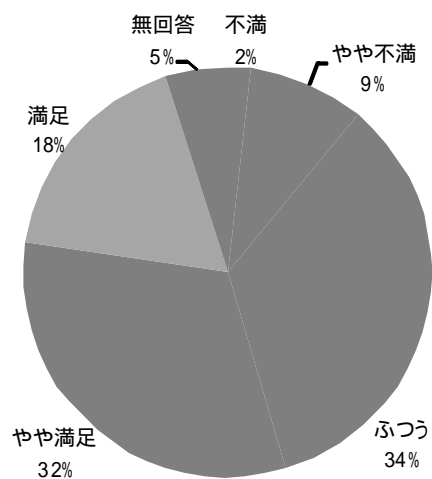
【中野地域】



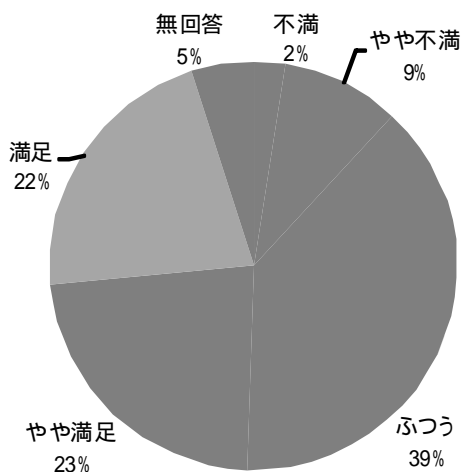
【津吉地域】



【田平地域】



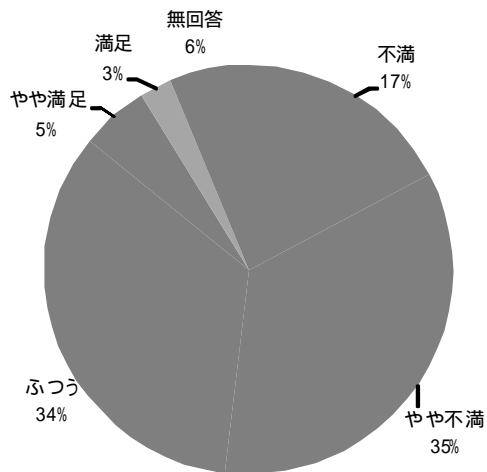
【その他地域】



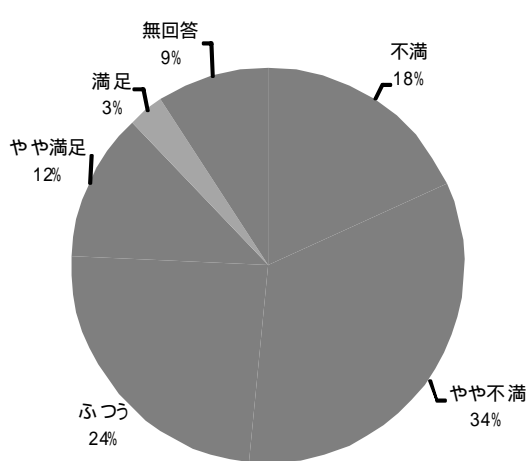
20. 公園などの子どもの遊び場

「不満」「やや不満」が平戸地域、中野地域、津吉地域で過半数を超えており、田平地域、その他地域でも約4割が「不満」「やや不満」と回答している。「満足」「やや満足」は平戸地域、津吉地域では10%を切っている。

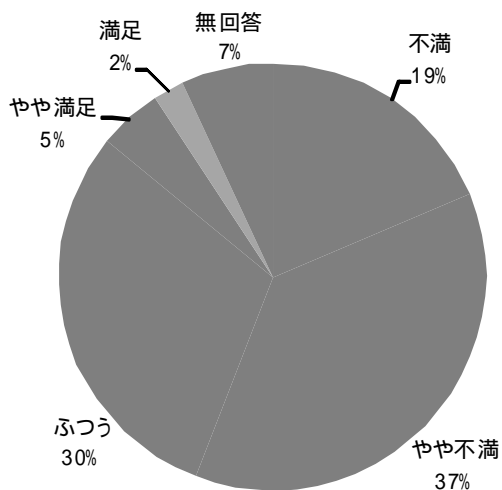
【平戸地域】



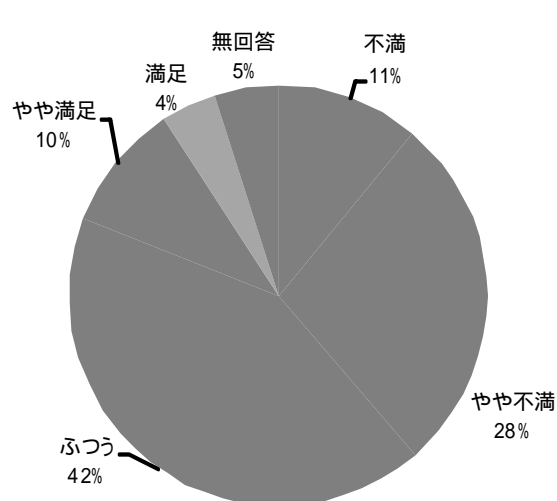
【中野地域】



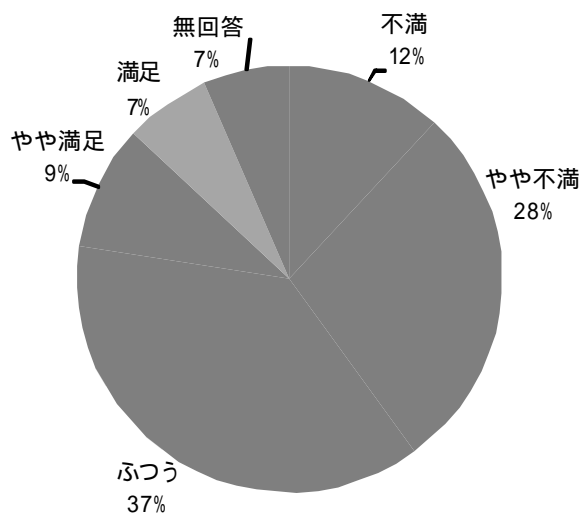
【津吉地域】



【田平地域】



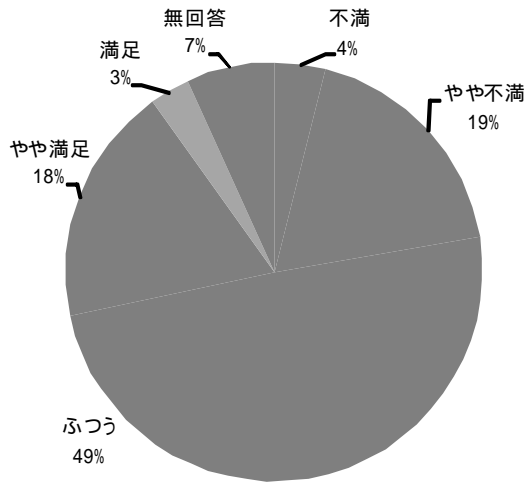
【その他地域】



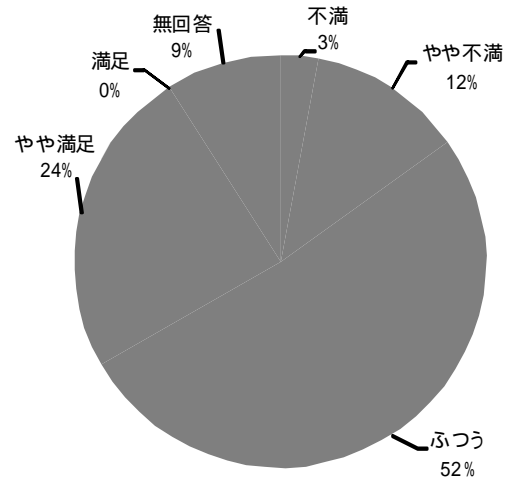
21. 総合的な暮らしやすさ

「不満」「やや不満」は津吉地域で 37%と最も高く、最も低いのは中野地域の 15%である。津吉地域以外の 4つの地域では約半数が「ふつう」と回答している。「やや満足」が最も高いのは中野地域の 24%である。

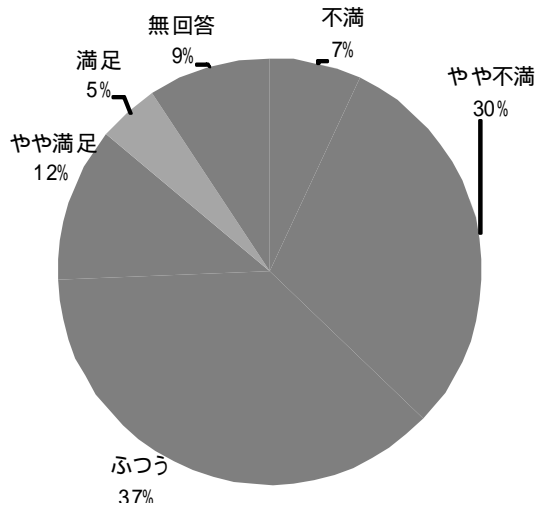
【平戸地域】



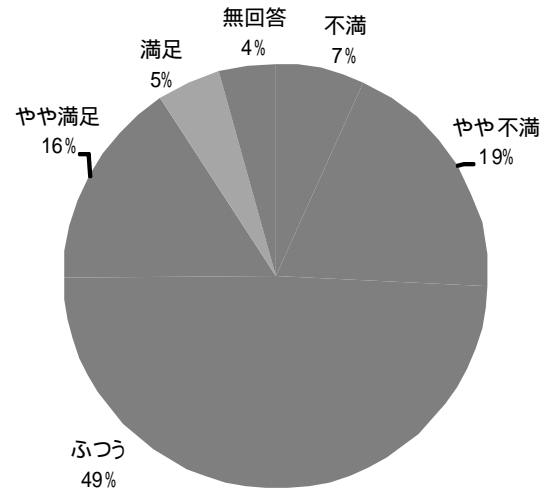
【中野地域】



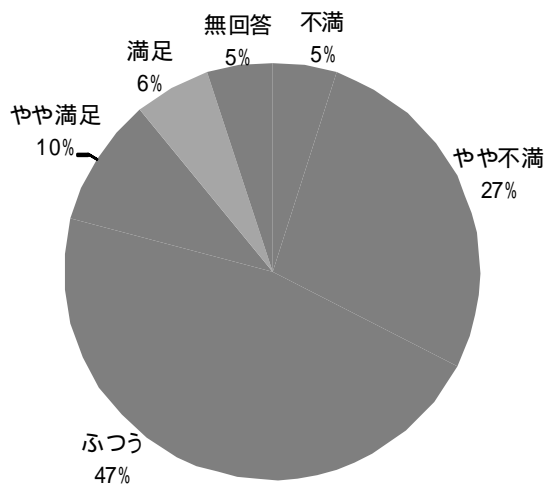
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

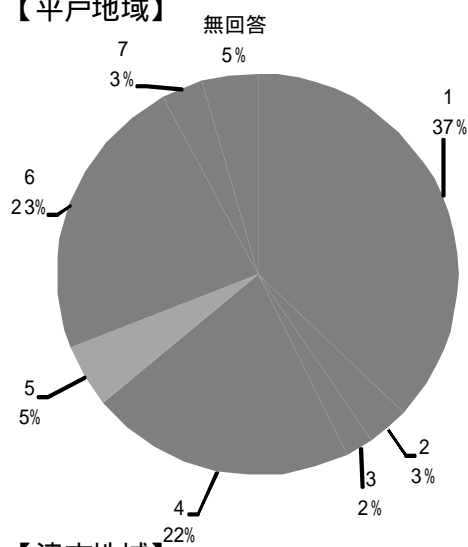


問3 今後どのような住宅地を望むか

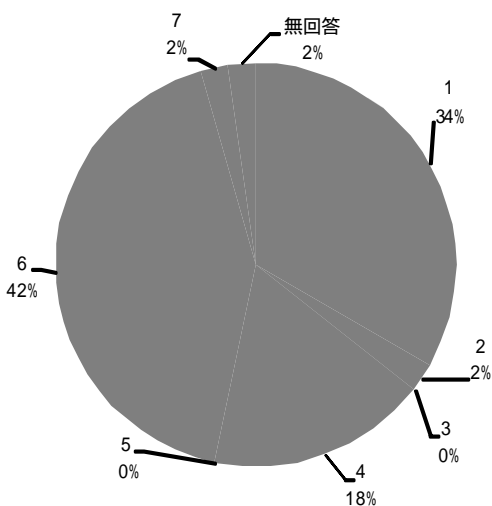
いずれの地域においても、1の防災性・安全性を望む意見が30～40%を占めている。また、津吉、田平、その他の地域においては、6の店舗や職場が近くにある住宅地という意見が多く見られた

凡例
1. 防災性・安全性に優れた、道路幅にゆとりある住宅地
2. これまでの道路幅で、敷地にゆとりのある住宅地
3. 建ぺい率や容積率が緩和された、延べ床面積にゆとりある住宅地
4. 緑豊かで落ち着いたまちなみの住宅地
5. 住宅と住宅以外の建物(工場や商店など)が混在しない住宅地
6. お店や働く場所が近くにある住宅地
7. その他()

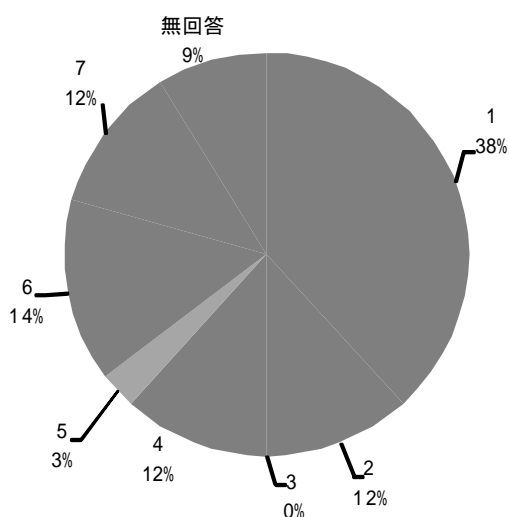
【平戸地域】



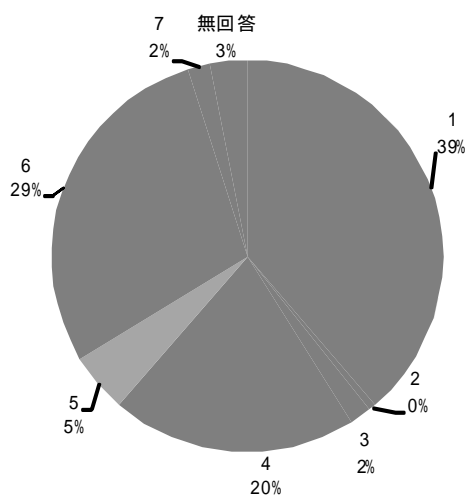
【津吉地域】



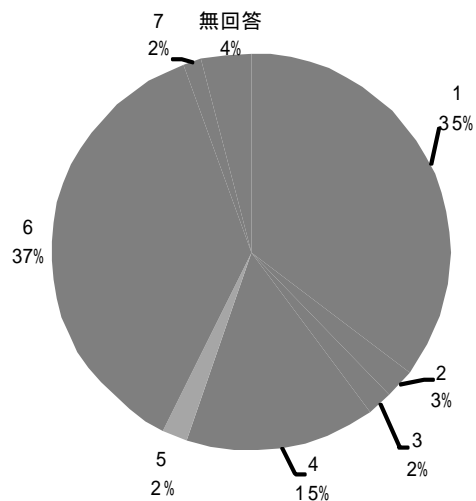
【中野地域】



【田平地域】



【その他地域】

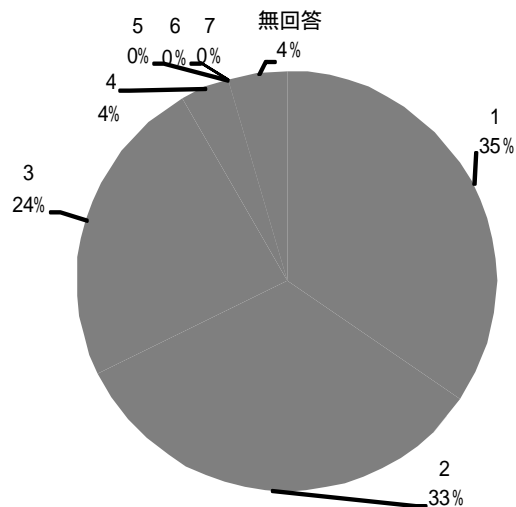


問4 今後どのような商業環境を望むか

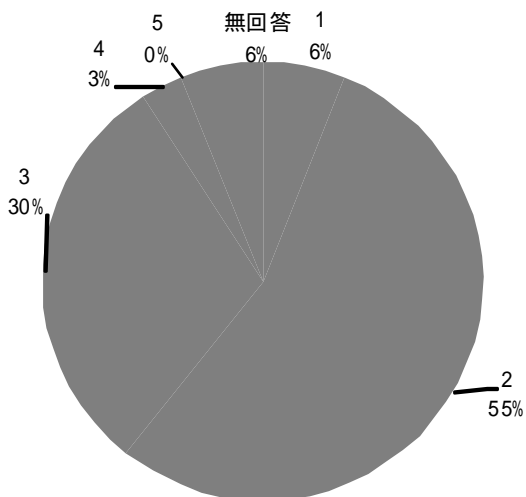
平戸地域では、1と回答した割合が他の地域に比べ多く35%に上る。一方、他の地域では2と回答した割合がいずれも過半数を超えており、中野地域、田平地域については、3の回答も30%近くになっている。

凡例
1. 市の商業の中心拠点として、平戸城下旧町地区の商店街の活性化を図る
2. それぞれの地域で身近に買い物や交流ができるように、商店の活性化等を行う
3. 幹線道路の沿道へ商業施設の立地の誘導・充実を図り、商業環境を活性化させる
4. その他 ()

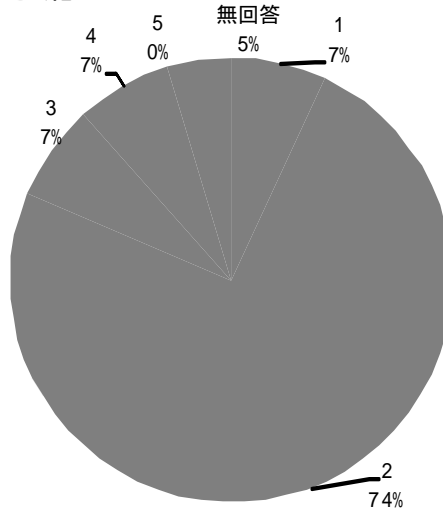
【平戸地域】



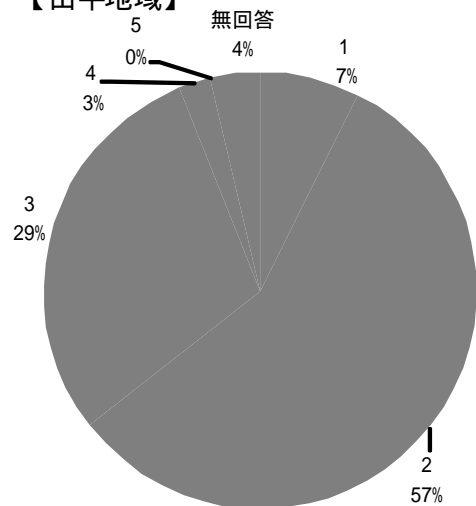
【中野地域】



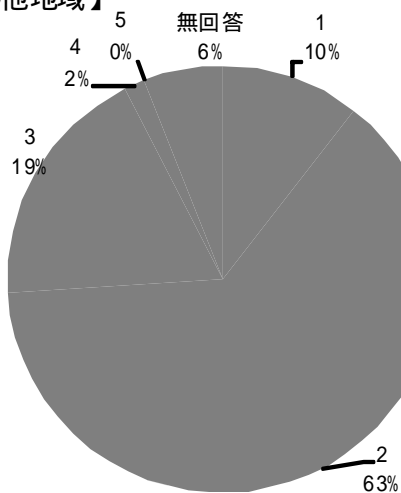
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

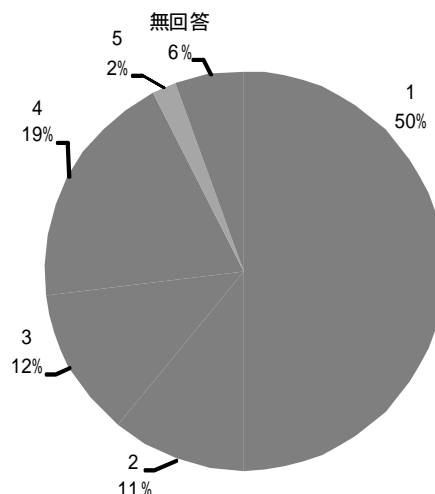


問5 今後の工業のあり方について、どのように考えるか

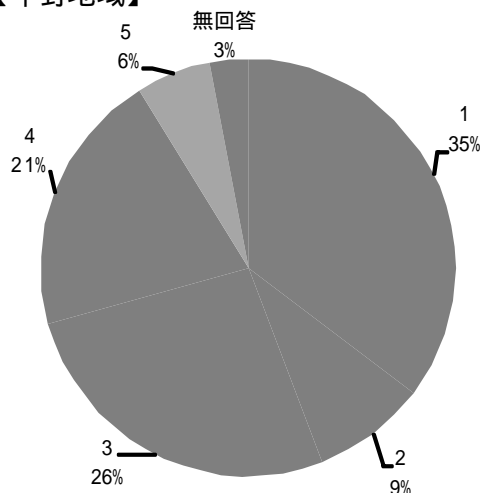
いずれの地域においても、1の企業誘致の推進や工業団地の活性化を望む意見が多く見られる。中野地域においては、3の周辺環境との調和を望む意見が26%であった。

凡例	
1.	雇用機会増大のための企業誘致の推進や工業団地の活性化を図る
2.	道路や港湾施設などの流通ネットワークの整備を促進する
3.	工場の敷地内緑化や、建物の美観維持、公害防止など、周辺環境との調和を推進する
4.	水産加工等の地場産業を支える施設整備を充実する
5.	その他 ()

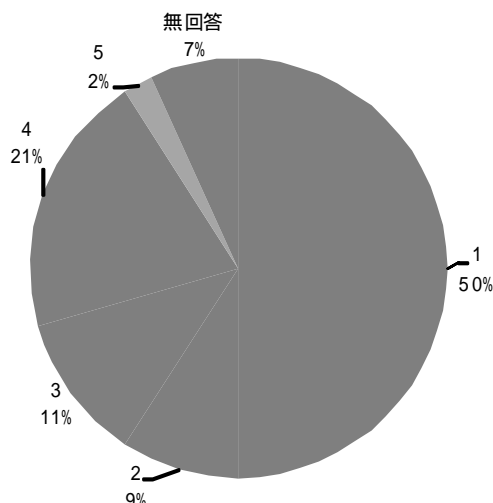
【平戸地域】



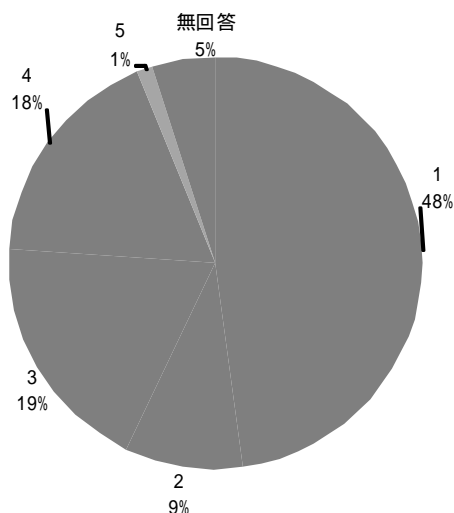
【中野地域】



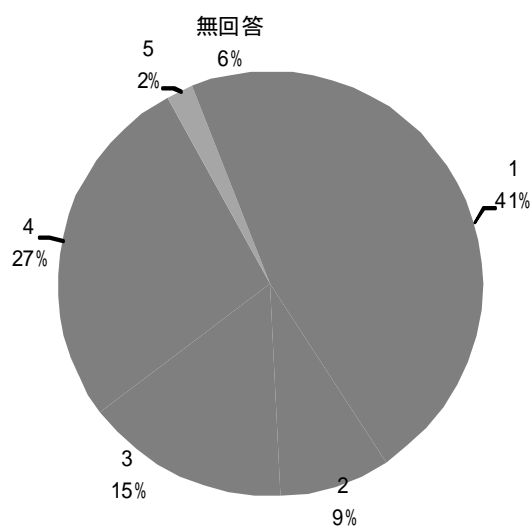
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

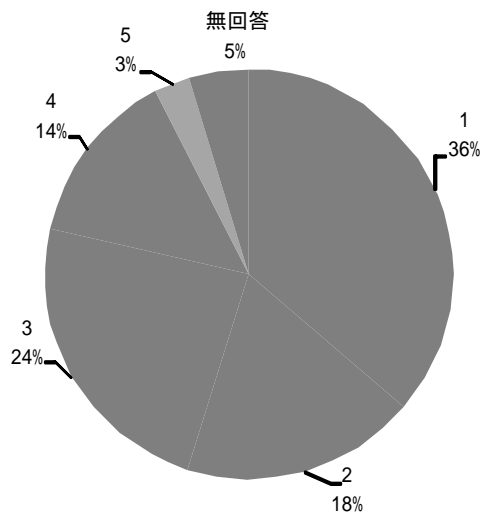


問6 今後の農地・山林のあり方について、どのように考えるか

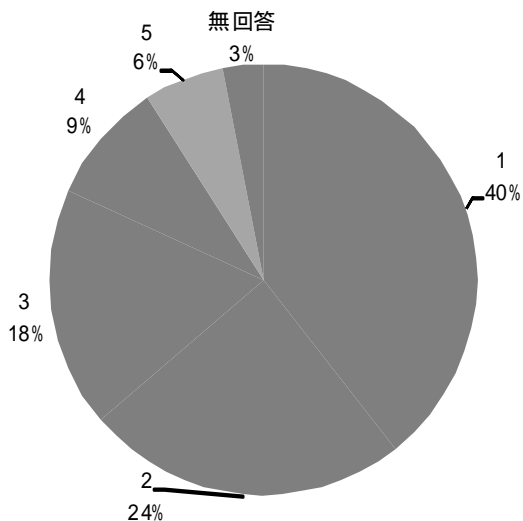
いずれの地域でも、1の積極的な保全と現状維持を望む声が最も多く、次いで、地域活性化のための開発は必要とする回答が多くなっている。

凡例	
1.	大切な資源として農地や山林を積極的に保全し、現状を維持する
2.	開発による農地や山林の減少はなるべく抑える
3.	地域活性化のための開発は必要であり、農地や山林の減少はある程度はやむをえない
4.	ボランティア活動などにより、農地や山林の活用や維持、保全を図る
5.	その他 ()

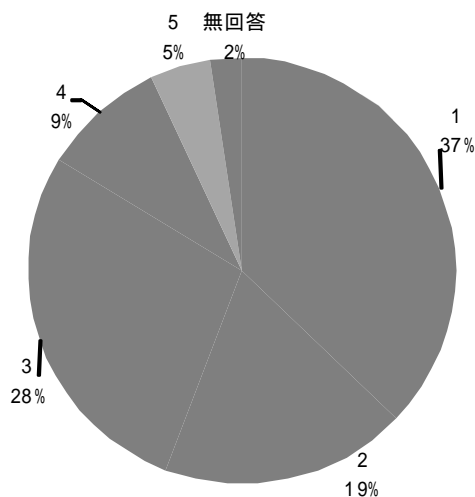
【平戸地域】



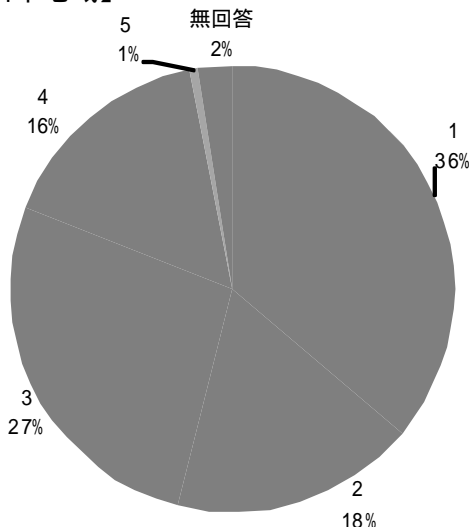
【中野地域】



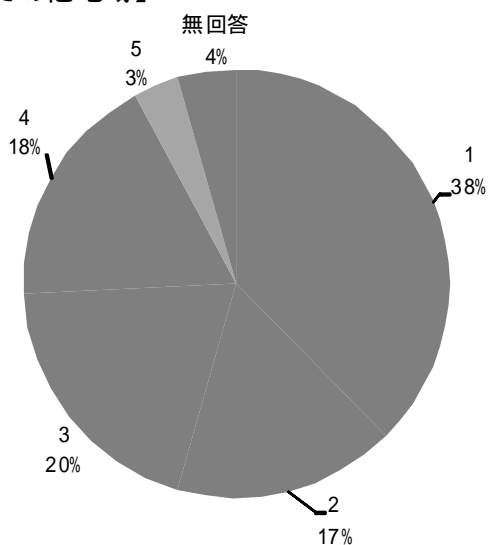
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

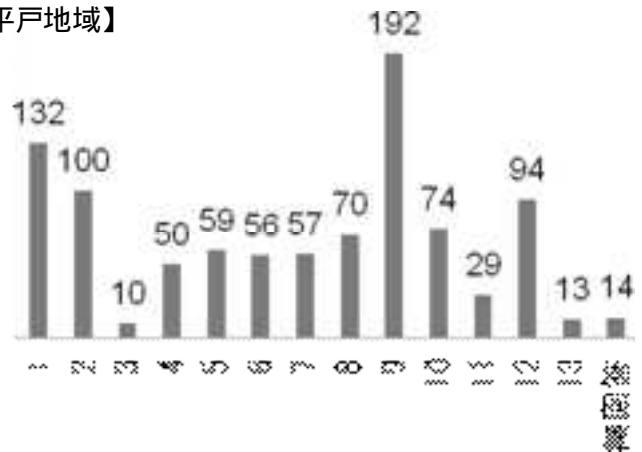


問7 今後の中心市街地（平戸城下旧町地区）において整備が必要と考えられる施設等について（3つまで回答）

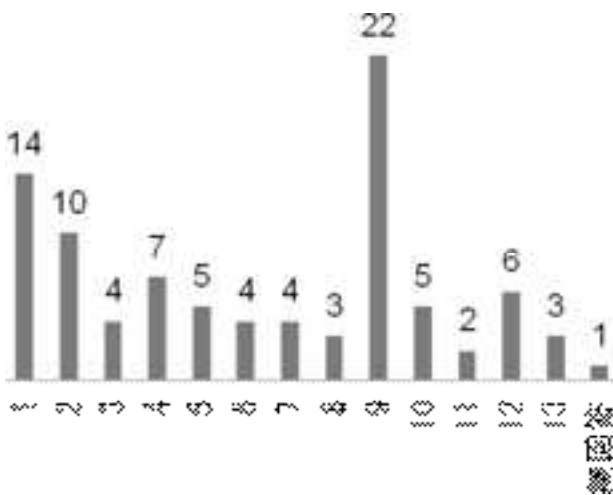
いずれの地域でも、9の駐車場整備を望む声が最も多い。

凡例	
1. 商業施設	8. 休憩施設
2. 観光施設	9. 駐車場
3. 業務施設	10. 良好な景観
4. 福祉施設	11. 緑地
5. 文化施設	12. 歩行空間
6. 地域交流施設	13. その他（ ）
7. 交通ターミナル施設	

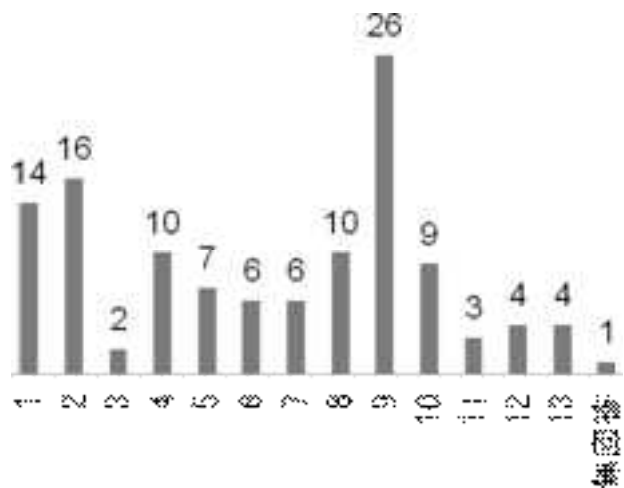
【平戸地域】



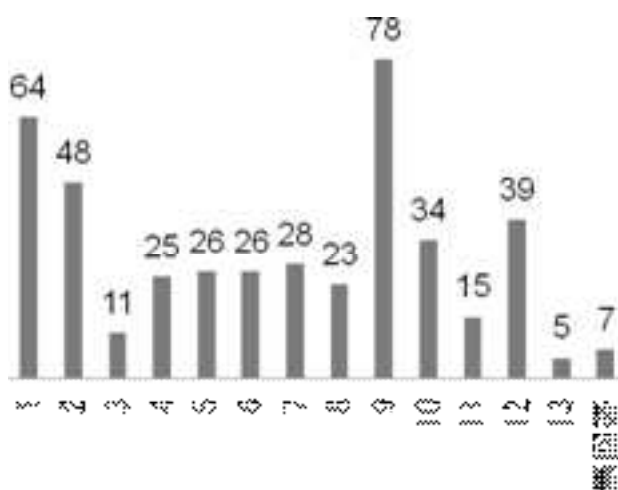
【中野地域】



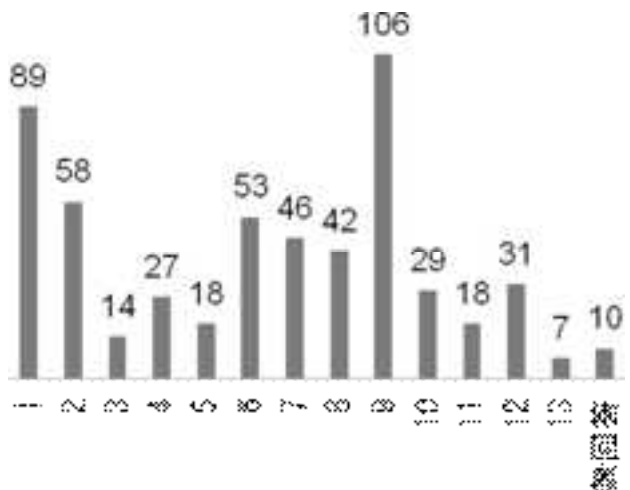
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

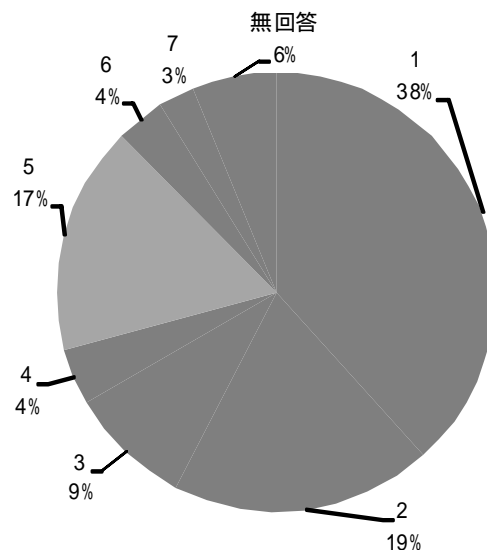


問8 今後の観光まちづくりについて、重要だと思うものについて

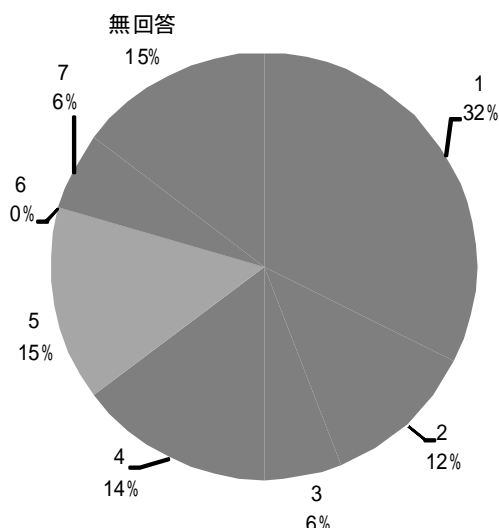
いずれの地域でも1のまちあるきができる歩行空間づくりが重要とする声が最も多い。次いで、中野地域以外の4つの地域では、2の体験型・滞在型の観光地づくりが多く、中でも田平地域とその他地域では3割近くになっている。中野地域では4の観光イベントの開催が重要とする割合が高く14%である。

凡例	
1.	平戸が誇る自然・歴史・食などを楽しみながらまちあるきができる歩行空間づくり
2.	より多くの来訪者に泊まってもらえる体験型・滞在型の観光地づくり
3.	外国人観光客を含めた来訪者にわかりやすい案内板の整備
4.	地域住民を主体とした観光イベントの開催
5.	受け入れる側のおもてなしの心を育てるなど来訪者の受入体制が充実した観光地づくり
6.	新たな観光施設の整備 ()
7.	その他 ()

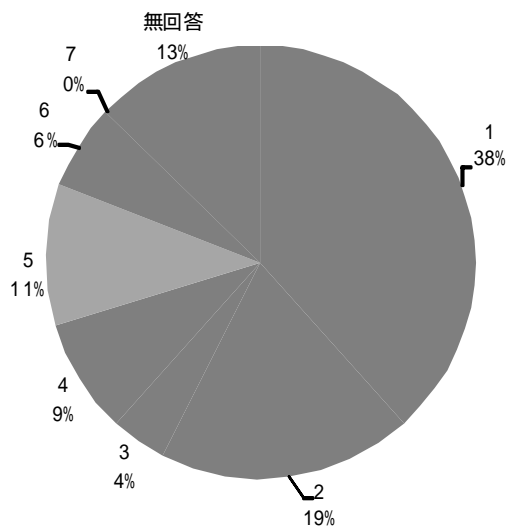
【平戸地域】



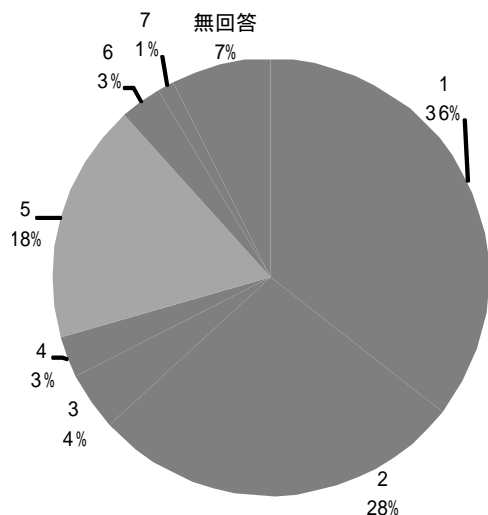
【中野地域】



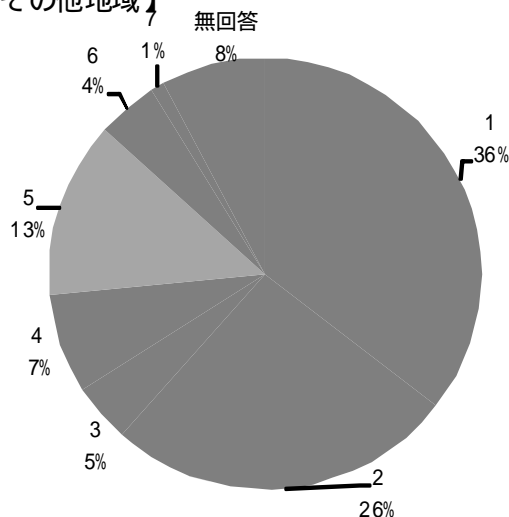
【津吉地域】



【田平地域】



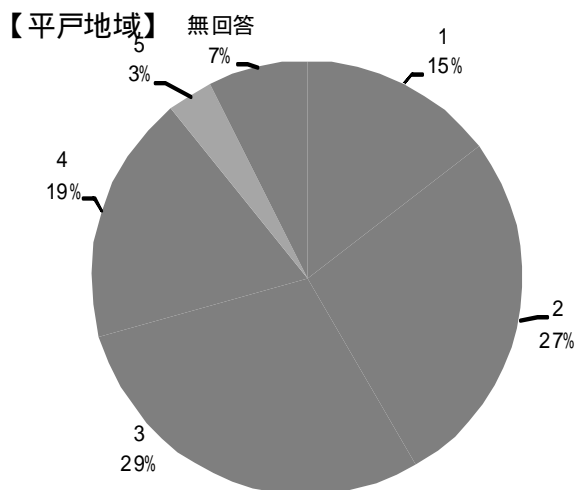
【その他地域】



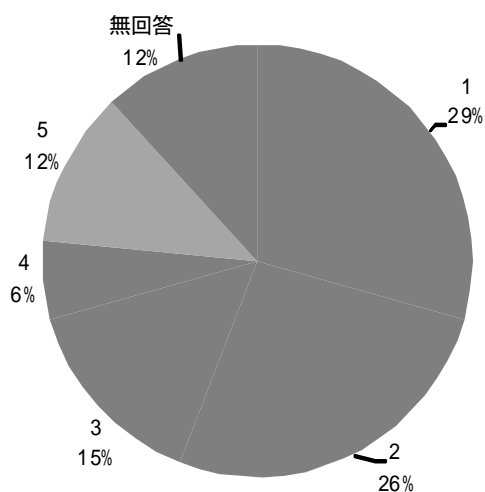
問9 今後の道路の整備について、重要だと思うものについて

平戸地域では3のバリアフリーの道路整備を重要とする回答が最も多く29%、中野地域では1の幹線道路の整備を挙げる回答が最も多く29%、それ以外の地域では2の狭い道路の改善が最も多く、田平地域、その他地域では40%となっている。

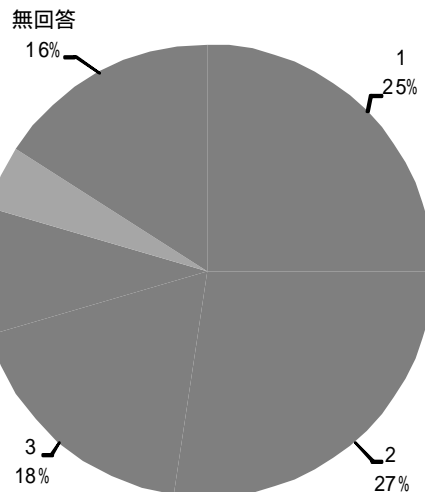
凡例	
1	.市内の各地域を結ぶ幹線道路の整備
2	.市街地・集落内における狭い道路の改善
3	.歩道の確保や段差の解消などバリアフリーの道路整備
4	.市街地内の街路樹や歩道の舗装などに配慮した景観の美しい道路整備
5	.その他
()



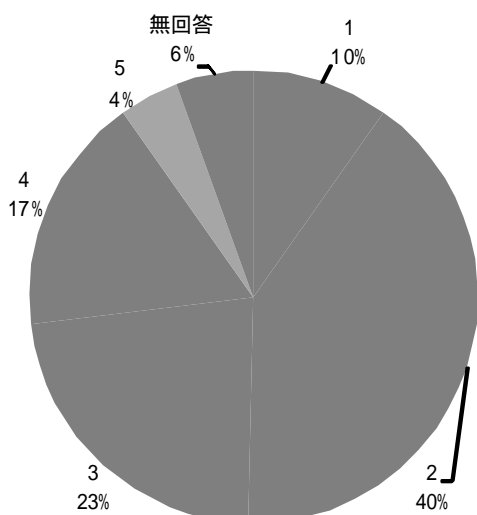
【中野地域】



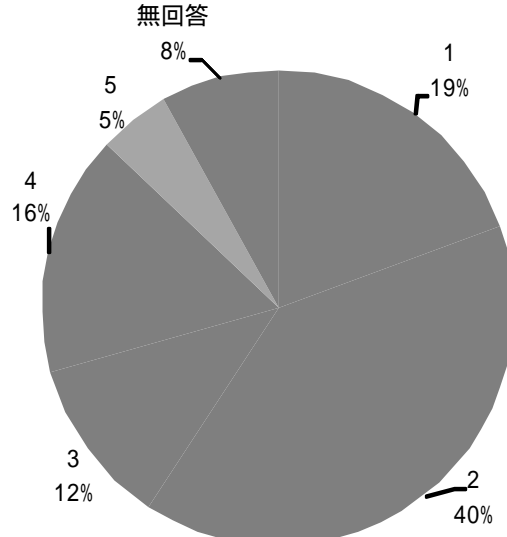
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

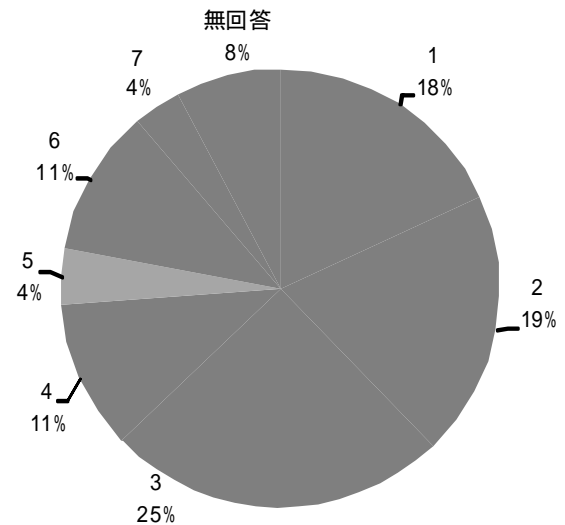


問10 今後の平戸桟橋バスターミナル周辺の駐車場整備について、重要だと思うものについて

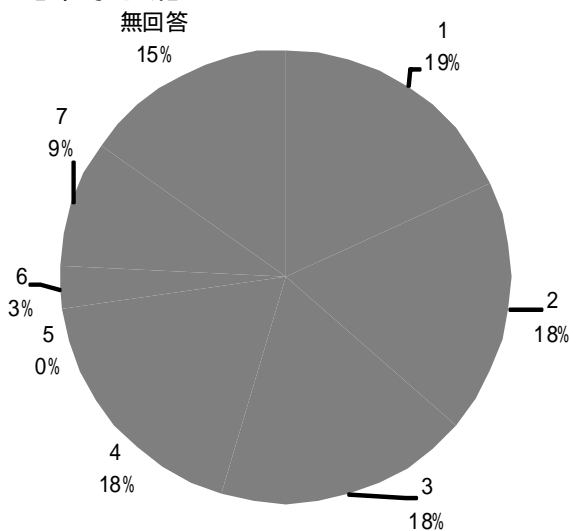
中野地域以外の4つの地域では、3のイベント等に活用できるスペースとして兼用できる駐車場の整備を重要とする回答が最も多く25～28%である。中野地域では1～4までの項目について18～19%とほぼ同じ割合になっている。

凡例	
1	.バスターミナルの周りに小規模駐車場を分散して整備する
2	.自家用車からバスや船に乗り換える(パークアンドライド)ための駐車場を整備する
3	.イベント等に活用できるスペースとして兼用できる駐車場を整備する
4	.バスターミナルから距離が離れたとしても、できるだけ大規模な駐車場を整備する
5	.土日祝日などは中心部への観光客の車の乗り入れを制限し、周辺の大規模駐車場との間にシャトルバスを運行する
6	.駐車場の規模については今と同程度の台数で構わない
7	.その他()

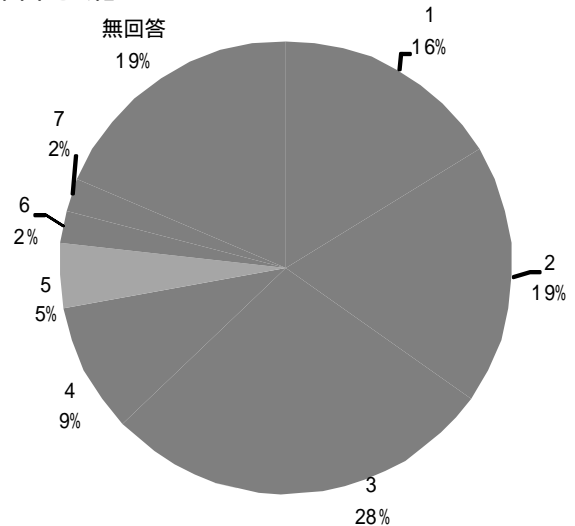
【平戸地域】



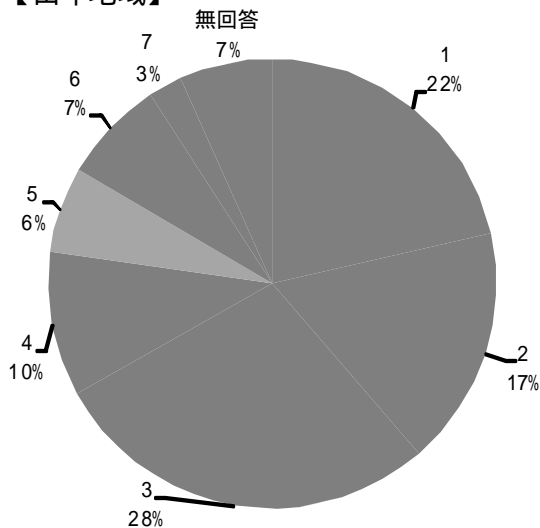
【中野地域】



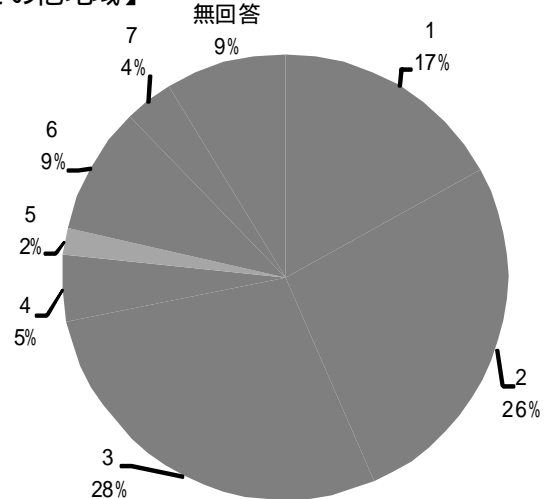
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

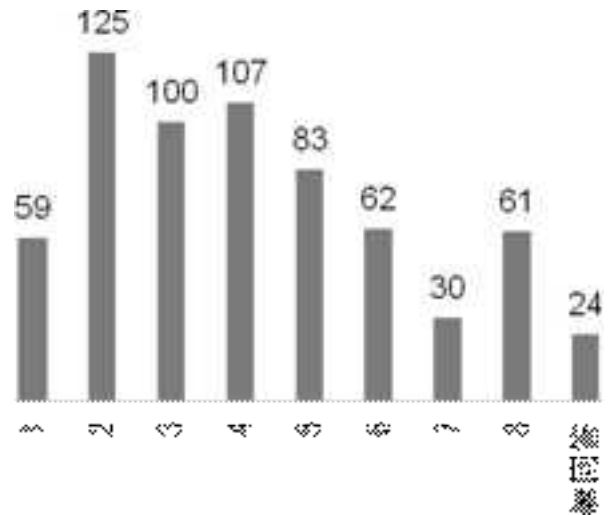


問 11 今後の公園・緑地の整備について、重要だと思うものについて（2つまで回答）

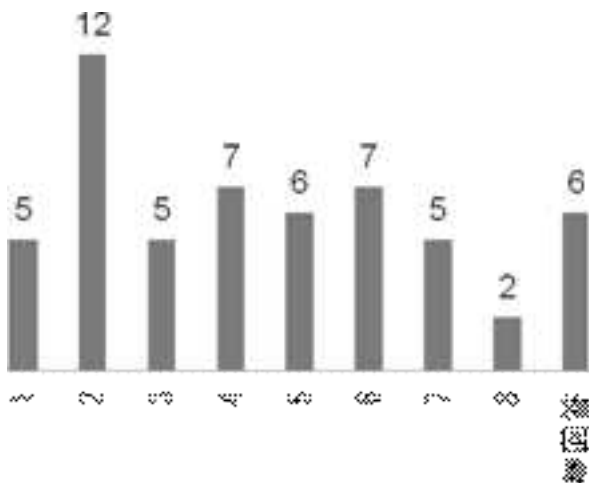
平戸地域、中野地域、津吉地域では、2の子どもための遊具が整備された小さな公園、広場の整備を重要とする回答が最も多い。田平地域、その他の地域では4の地域特性を活かした公園の整備を挙げる声が最も多い。いずれの地域でも7の住民参加による公園づくりの計画や維持・管理は少ない結果となっている。

凡例	
1.	道路わきや街区内の空き地など、わずかな土地を利用したポケットパークの整備
2.	身近に利用できる、子どものための遊具が整備された小さな公園、広場の整備
3.	休日に家族で過ごせる大きな公園の整備
4.	海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備
5.	河川や海岸沿いなどを活かした、ゆっくり歩ける散策道の整備
6.	既存公園のバリアフリー化など、誰もが利用しやすい公園の整備
7.	住民参加による公園づくりの計画や維持・管理
8.	その他（ ）

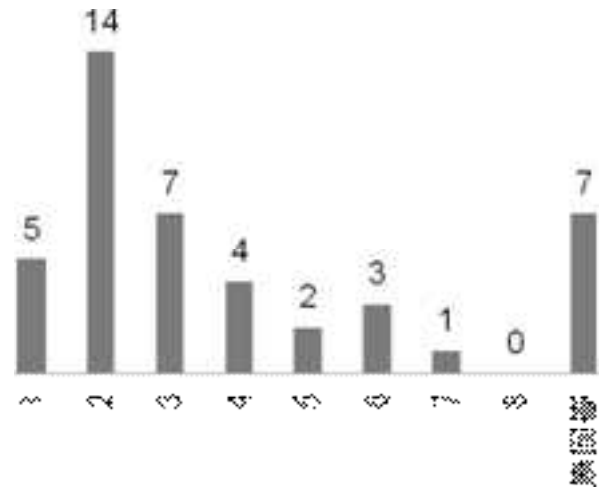
【平戸地域】



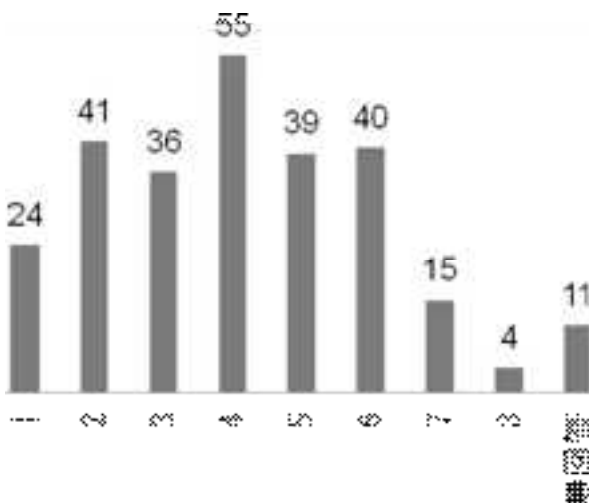
【中野地域】



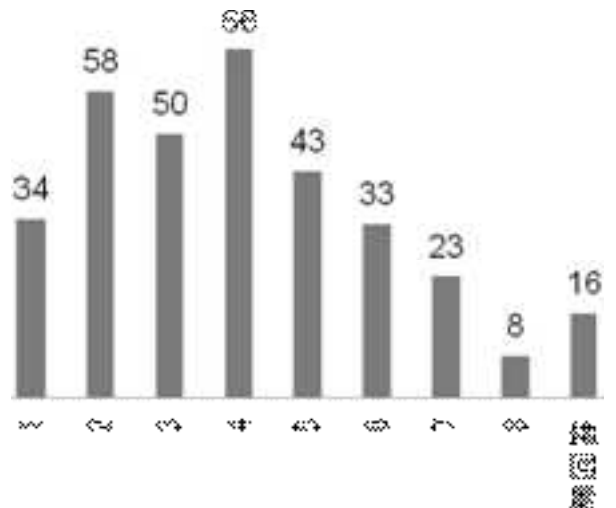
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

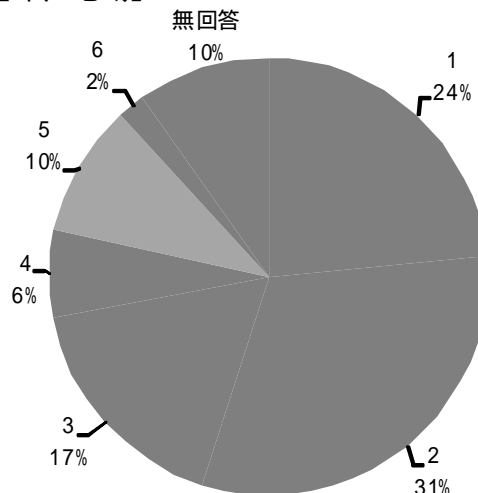


問12 今後の土地利用や建物の用途、大きさ、高さなどの建築制限の考えについて

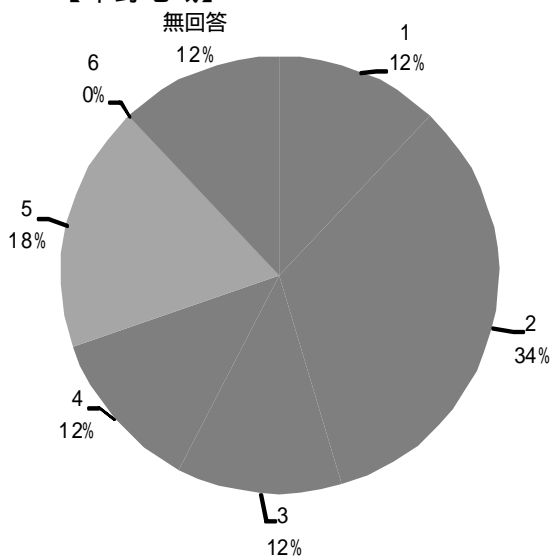
いずれの地域でも、2の最低限の制限を挙げる回答が最も多く30~34%となっている。次いで、平戸地区では1の積極的な規制を挙げる回答が多く24%となっている。

凡例	
1.	豊かな自然環境や良好な居住環境を守るため、土地利用や建築について積極的に規制すべきである
2.	建物の不燃化や耐震性の向上など、まちの安全・安心のため最低限の制限を行うべきである
3.	地域関係者の合意形成により、独自の計画や協定を結んで地域の環境などを守るべきである
4.	土地や建物は私有財産であるため個人の意思を尊重し、制限を行うべきでない
5.	特に問題はない
6.	その他 ()

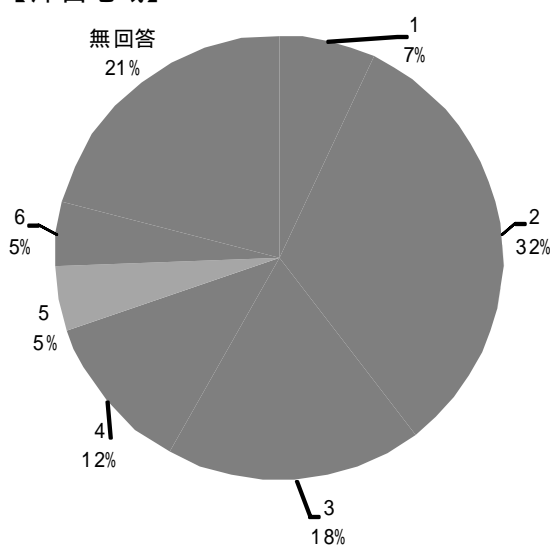
【平戸地域】



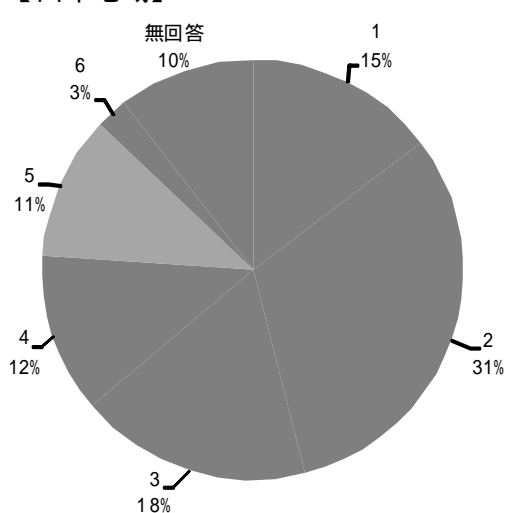
【中野地域】



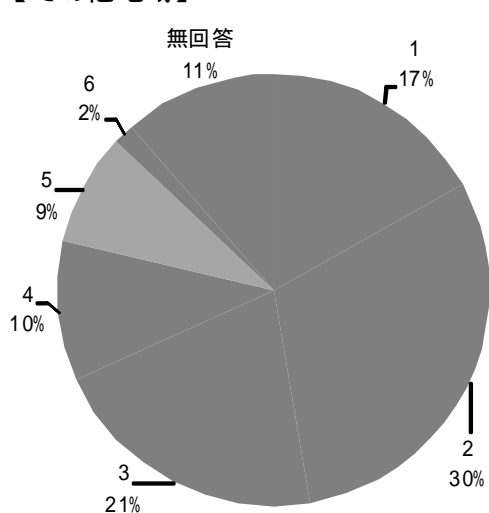
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

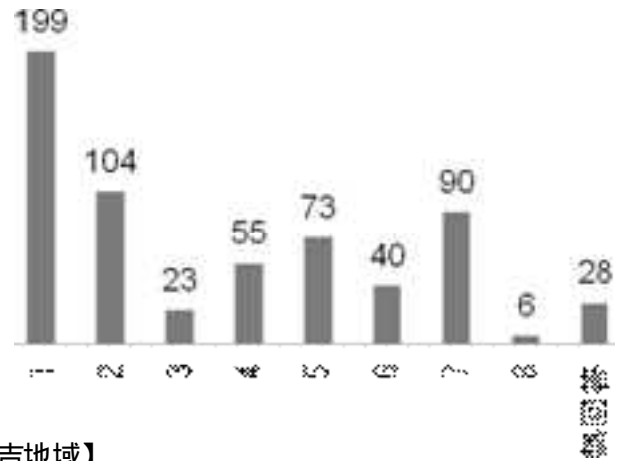


問 13 今後のまちなみ・景観について、重要だと思うことについて（2つまで回答）

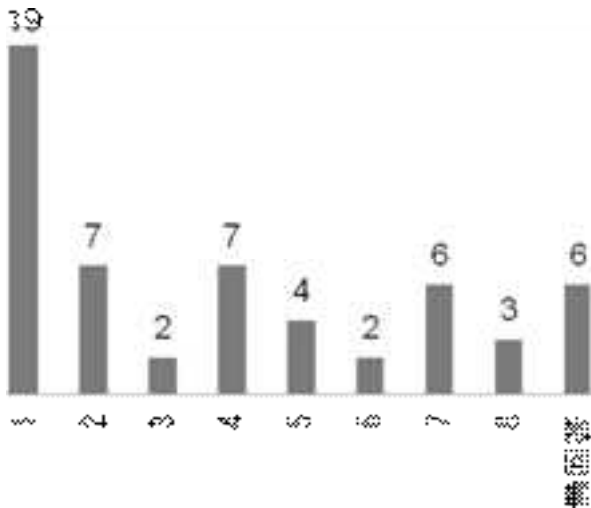
いずれの地域でも1の平戸固有の歴史文化を活かした景観づくりを挙げる回答が最も多い。次いで多いのは、平戸地域では商業地の景観づくり、津吉地域、田平地域では市民と行政による協働の体制づくり、その他の地域では海沿いの景観づくりを挙げる回答である。

凡例	
1.	平戸固有の歴史文化を活かした景観づくり
2.	賑わいのある商業地の景観づくり
3.	魅力的な住宅地の景観づくり
4.	美しい棚田や石垣が見られる田園・集落景観づくり
5.	海岸や漁港などの海沿いの景観づくり
6.	屋外広告物や案内サインなどのデザイン整備による景観づくり
7.	まちなみ・景観に対する市民意識を高め、市民と行政による協働の体制づくり
8.	その他()

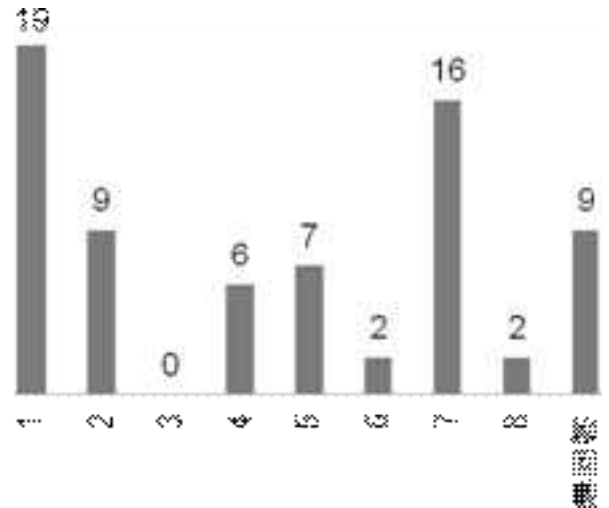
【平戸地域】



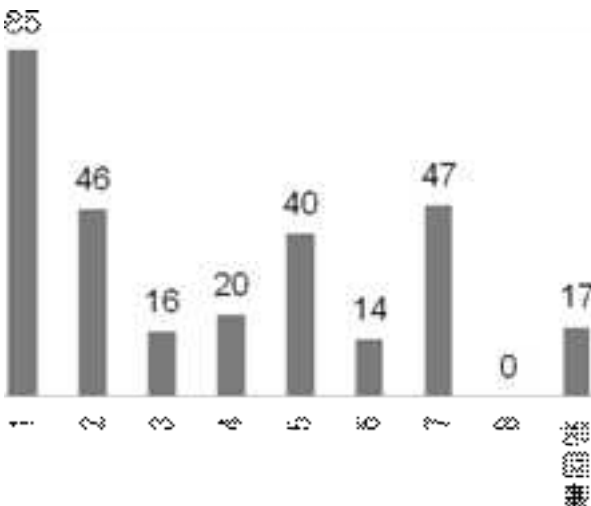
【中野地域】



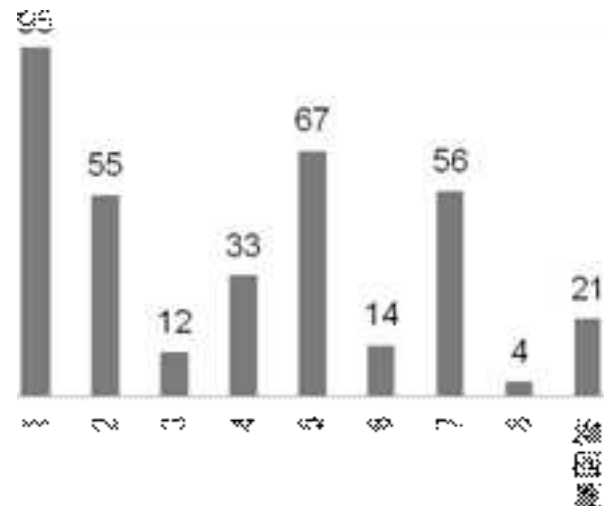
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

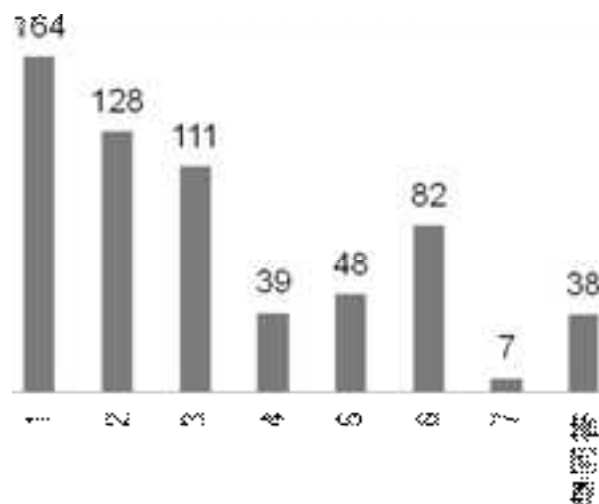


問 14 今後、まちなみ・景観づくりを行っていくための一定のルールを設ける場合、必要だと思うことについて（2つまで回答）

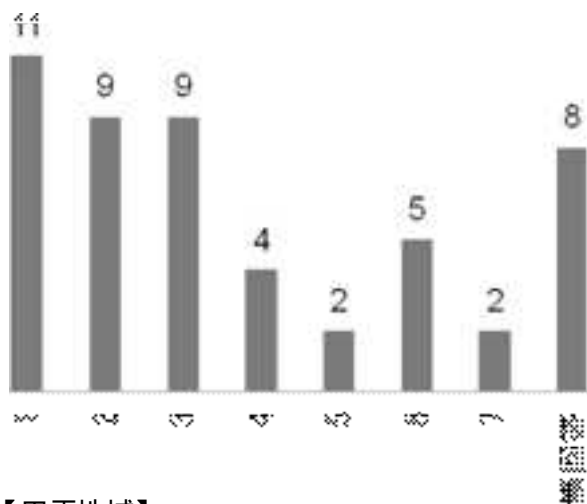
その他の地域以外の4つの地域では、1の広告・看板に関するルールを挙げる回答が最も多く、その他の地域では3の公共の建築物や道路、橋などに関するルールを挙げる回答が最も多い。

凡例
1. 広告・看板などの大きさやデザイン、色彩、設置などに関するルール
2. 建築物の高さや形態、色彩などに関するルール
3. 公共の建築物や道路、橋などのデザイン、色彩に関するルール
4. 農村環境・田園景観の保全に関するルール
5. 森林・里山の保全に関するルール
6. 河川・海岸の保全に関するルール
7. その他（ ）

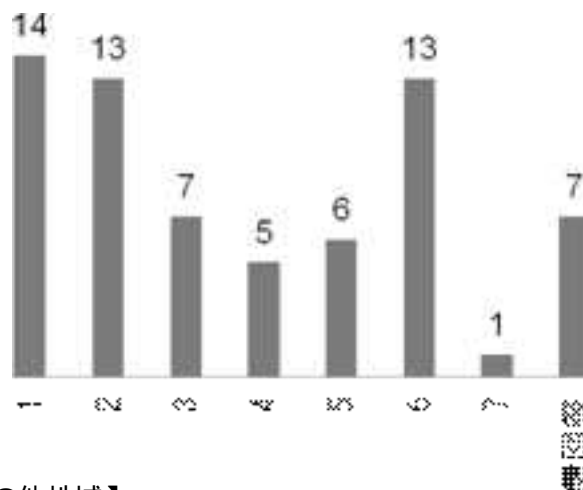
【平戸地域】



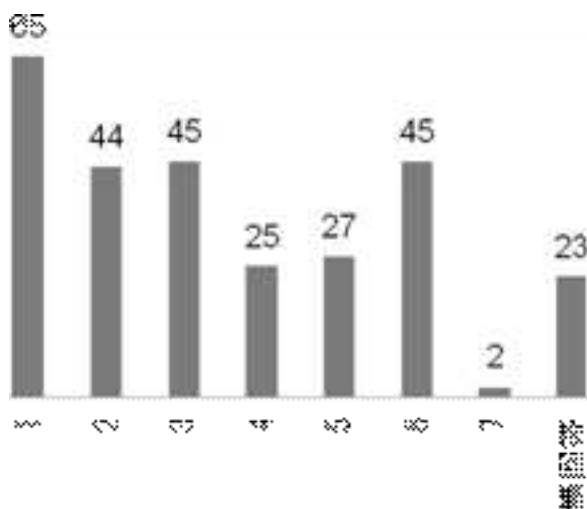
【中野地域】



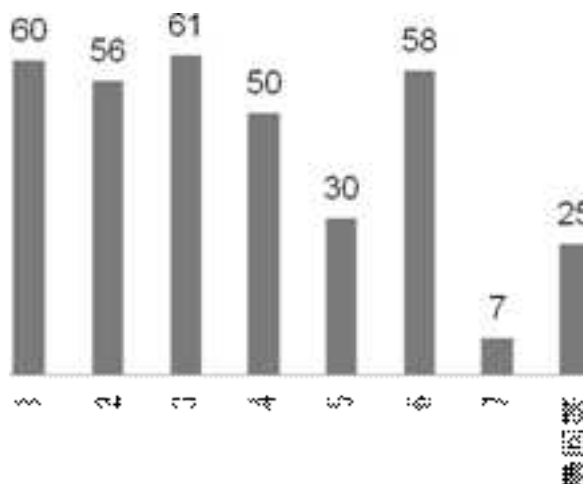
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

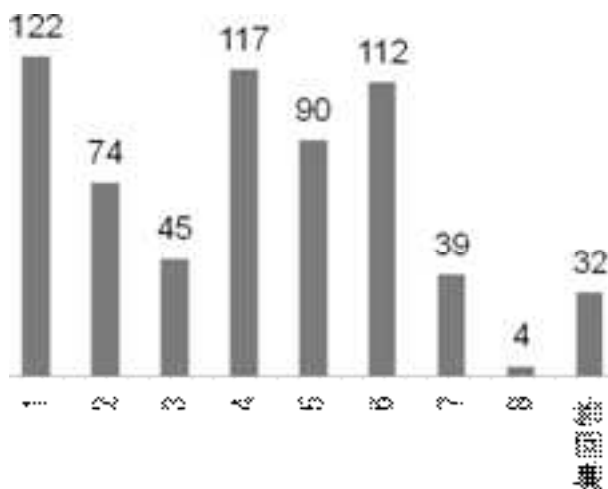


問 15 今後の防災まちづくりについて、重要だと思うことについて（2つまで回答）

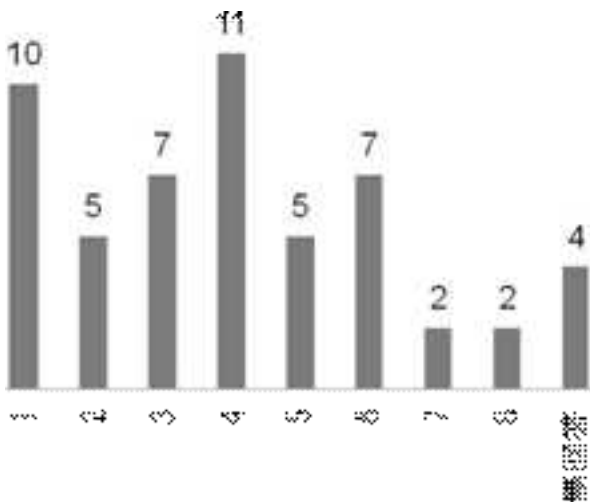
いずれの地域でも1の狭い道路の改善を挙げる回答は多い。1の回答とともに多い回答は、平戸地域、中野地域、津吉地域、田平地域では4の避難場所や避難経路の確保、その他の地域では6の市民の防災意識の啓発である。

凡例	
1.	密集市街地の狭い道路の改善
2.	建物の不燃化、耐震化の促進
3.	砂防ダムや急傾斜の整備、河川や海岸の護岸整備
4.	避難場所や避難経路の確保
5.	防災無線や防災スピーカーなどの防災設備の充実
6.	防災マップの配布や危険箇所の周知などによる市民の防災意識の啓発
7.	自主防災組織の体制づくりや地域における避難訓練
8.	その他()

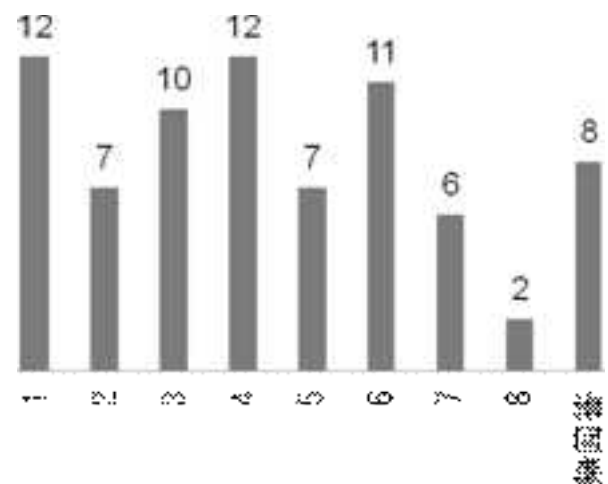
【平戸地域】



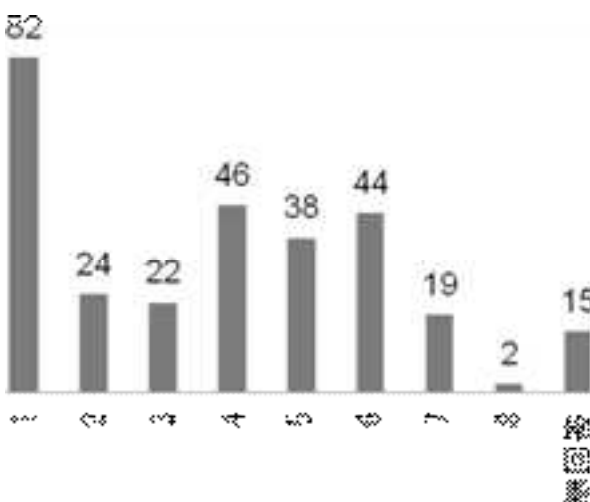
【中野地域】



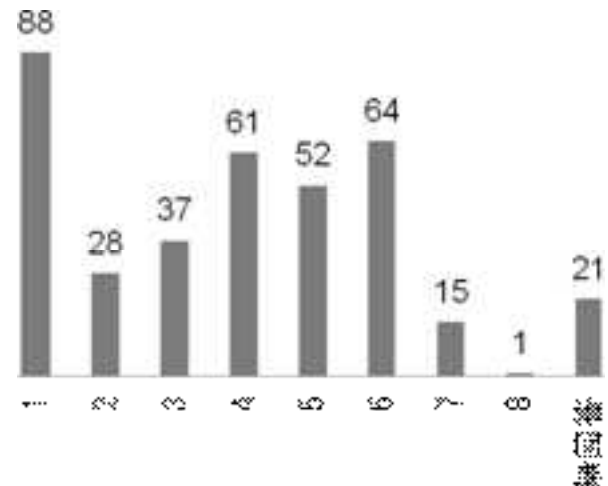
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】



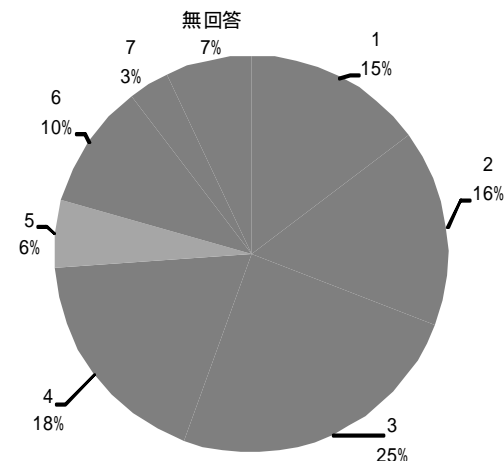
問 16 今後、平戸市のまちづくりに参加するとしたら、どのような形で参加したいか

いずれの地域でも 3 の身近な地区のまちづくり活動を挙げる声が多く、その他の地域では約半数を占めている。平戸地域と田平地域では次いで 4 のインターネットやアンケート等によって意見を述べたいとする声が多く、平戸地域は 18%、田平地域は 22%である。

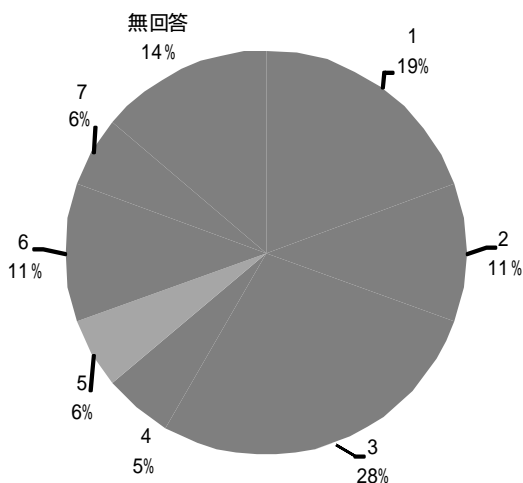
いずれの地域でも 5 の説明会や学習会への参加は 4~9%と少ない割合になっている。

凡例	
1.	市全体のまちづくりに参加したい
2.	具体的なテーマのまちづくりに参加したい
3.	身近な地区のまちづくり活動に参加したい
4.	行政が行うまちづくりにインターネットやアンケート等によって意見を述べたい
5.	行政が行うまちづくりの説明会や学習会に参加したい
6.	まちづくりに参加したいとは思わない
7.	その他 ()

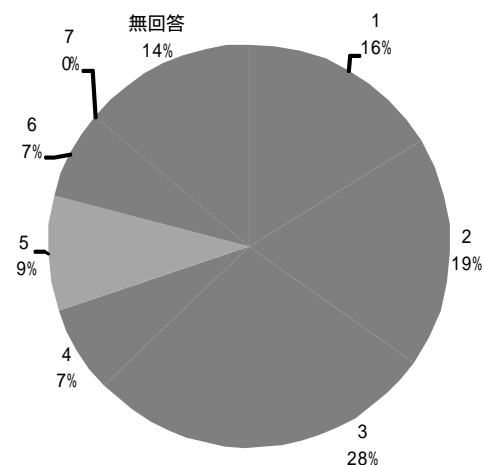
【平戸地域】



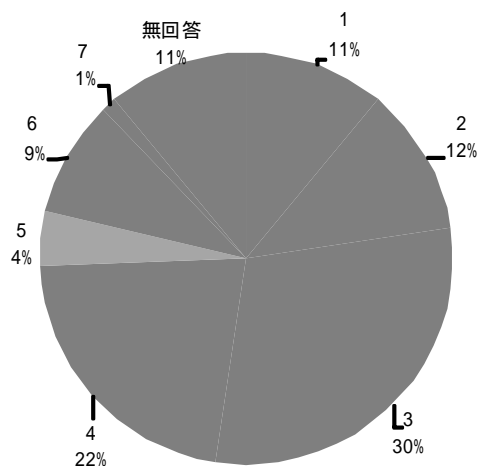
【中野地域】



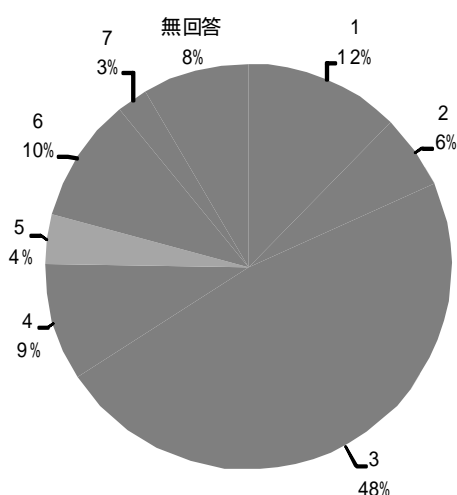
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

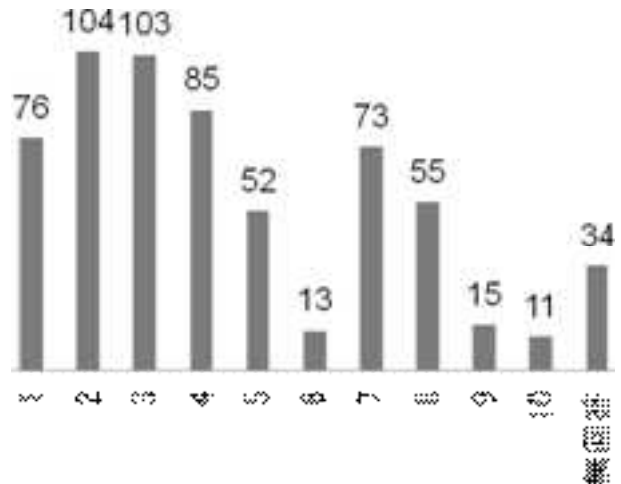


問 17 今後、平戸市のまちづくりに参加するとしたら、どのようなテーマのまちづくりに参加したいか
(2つまで回答)

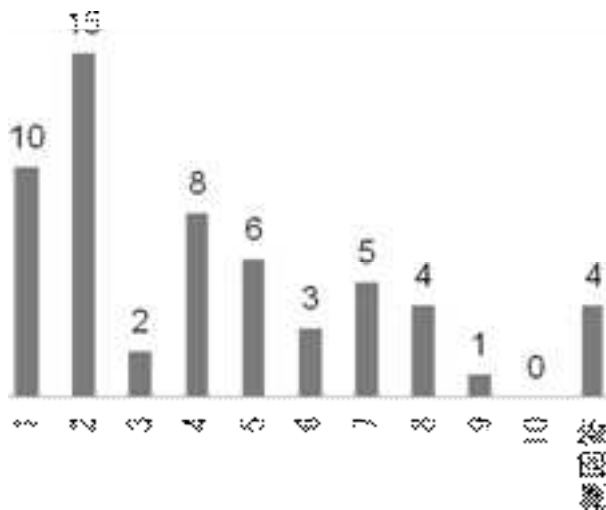
その他の地域以外の4つの地域では、2の高齢者が安心して暮らせるまちづくりを挙げる声をもっとも多い。その他の地域では、4の食や農産物、特産品によるまちおこしが最も多い。

凡例	
1.	清掃や美化活動
2.	高齢者が安心して暮らせるまちづくり
3.	観光活性化のまちづくり
4.	食や農産物、特産品によるまちおこし
5.	自然環境の保全活動
6.	自治防災のまちづくり
7.	お祭りや伝統芸能の保存活動
8.	健康・スポーツ振興のまちづくり
9.	都市住民との地域交流
10.	その他()

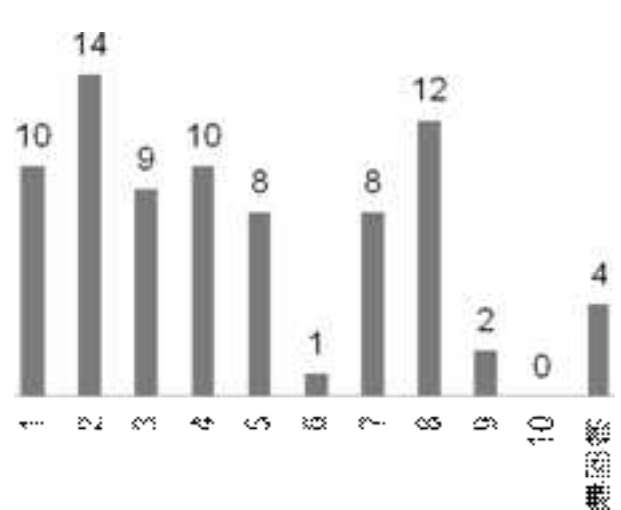
【平戸地域】



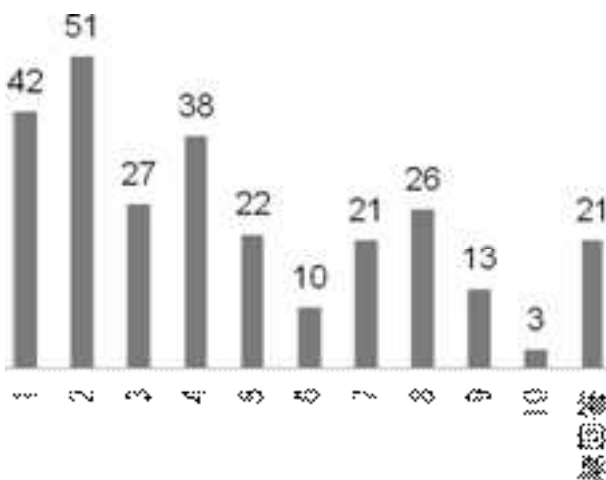
【中野地域】



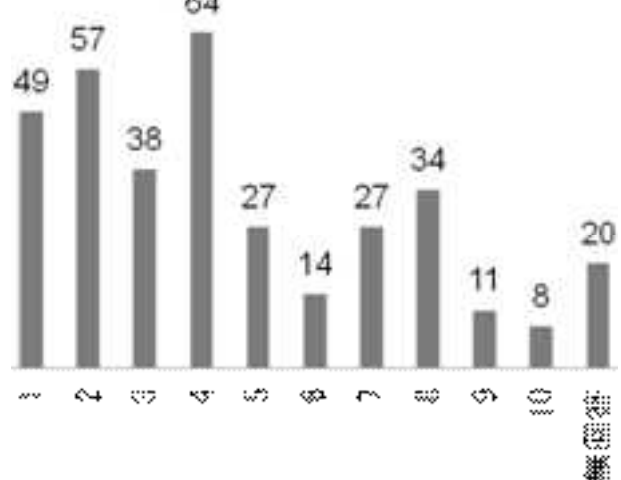
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】

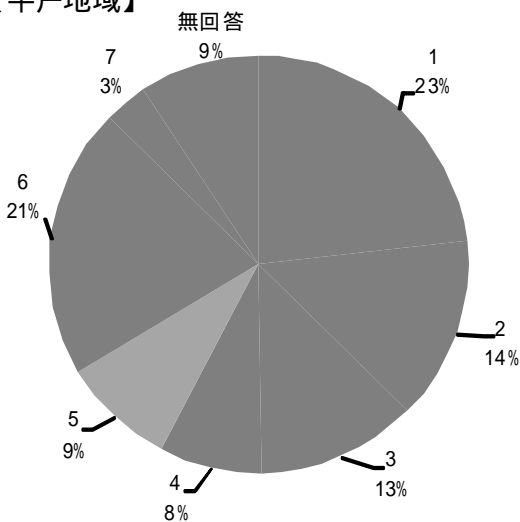


問 18 今後、市民参加によるまちづくりを行うために、平戸市はどのようにすべきと考えるか

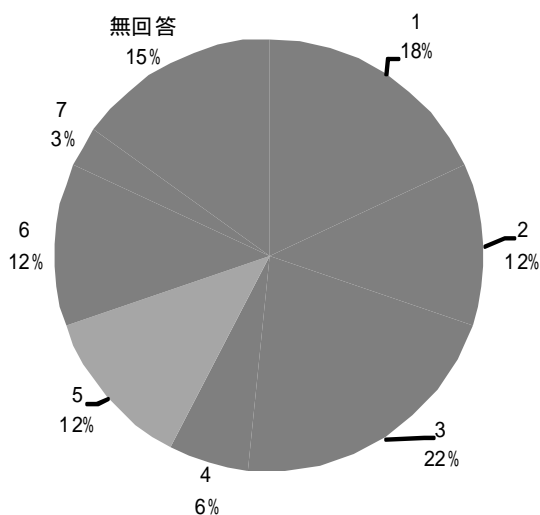
中野地域以外の4つの地域では、1の専門家やアドバイザーの派遣を挙げる声が最も多く、中野地域では3のまちづくりボランティアへの支援を挙げる声が最も多い。

凡例	
1.	まちづくりの専門家やアドバイザーの派遣
2.	まちづくりについての勉強会の開催
3.	まちづくりボランティアへの支援
4.	まちづくり活動の支援窓口の開設
5.	まちづくり活動のコンテストの実施
6.	市の広報紙やホームページによる情報提供
7.	その他 ()

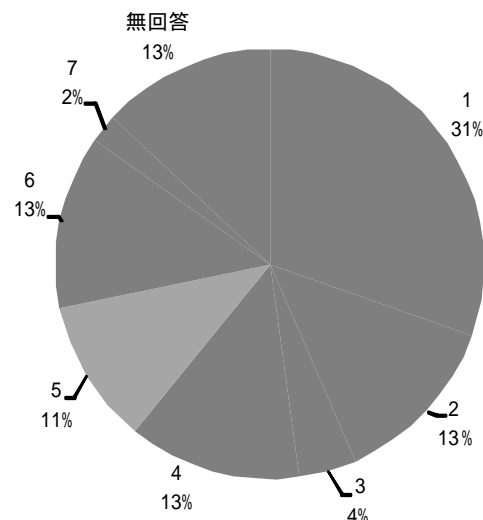
【平戸地域】



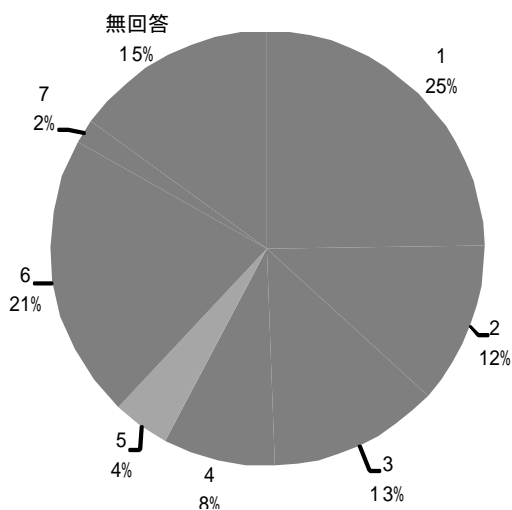
【中野地域】



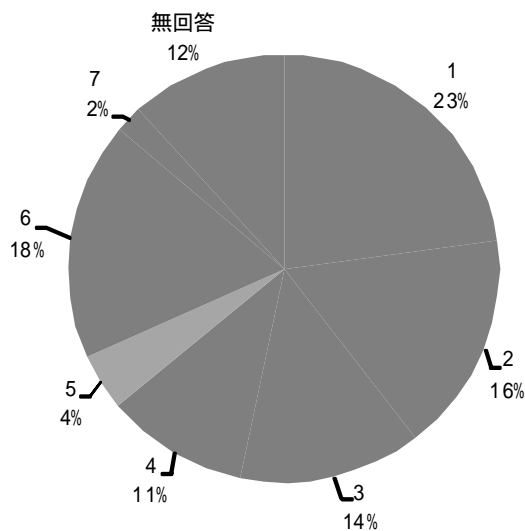
【津吉地域】



【田平地域】



【その他地域】



4 . 自由記述

<住環境について>

- ・ インターネットの書き込みでも見られるように、平戸を訪れた観光客の大半が接客が悪いと書かれているようだ。平戸城下町として、みるみる魅力ある町に変化していくなか、お客様に関わる人材にもっと接客のマナー、おもてなしの心を教育する。平戸を観光都市と考えるのなら、もっとリピーターを望める町づくりのためにボランティア、市民参加、意識向上、情報提供、環境整備、行政と市民が一体となって美しい平戸を作り上げていけたらよいと思う。
- ・ 住んでいる方に良い環境は観光で来られた方にも良い印象が持てると思う。地区、地域の小さな単位で、統一感のある町づくりをすると良いと思う。
- ・ すべての面で市北部ばかりが進んでいるような気がします。南部地区の活性化にも力を入れるべきである。高齢化が進み、生活が大変である。
- ・ 商業施設の活力が少ない。(佐々や佐世保に買い物に行く人が多いのでは？) 平戸の商業が活性しないと人は市外に流出すると思う。
- ・ 住民不在の壊れかけた家を撤去することを市の予算で行って欲しい。(安全と景観の両面から)
- ・ 空き家等を有効利用し観光客や長期滞在ができる宿泊施設等に利用出来れば良いと思う。

<道路・交通について>

- ・ 商店街の歩行者の安全確保や、歩いても楽しめる観光道路の整備が必要。
- ・ 路上駐車が多いので、無料駐車場を商店街に整備してほしい。また歩行者天国にしてほしい。バスの便が悪いので、もっと便数を増やしてほしい。
- ・ 休みの日等、平戸市内で食事しようとしても駐車場がないため、市外に出ざるをえなくなるため、観光に力を入れるのであれば、駐車場は必須だと思う。
- ・ 道幅などの問題もあり難しいところだが、行政、市民が一緒になって意識を変えない限り、迷惑駐車は減らない。「少しぐらいいいじゃないか」という考え方が、当たり前になっている。このことは、日々の生活にも観光の面からも早急に取り組むべき。
- ・ 歩道が狭く歩くのにあぶない。海上ホテル周辺は運転する時に歩道が分からない。
- ・ バスの本数が少ない。運転免許がない人は仕事にも行けない。特に遅い時間になると全く交通手段がなく大変不便である。
- ・ 商店街の慢性的な路上駐車が多さが非常に気になる。観光客にも運転する方にも危険である。
- ・ 高速道路などへのアクセス道路を考えてほしい。商店街の歩道が狭いのに、車が歩道に駐車していて、安心して歩けない。
- ・ 車が無いと生活が不便である。商店街の路上駐車を改善し(お店の人も停めている)、空きスペースを有効活用しては。
- ・ 車がないと買い物にもいけない。バスの本数を増やしてほしい。
- ・ イベント時の商店の駐車場を確保してほしい。臨時駐車場が近くにないと不便である。

<下水道について>

- ・ 城下旧町地区だけでも早く、下水道の整備に取り組んでほしい。
- ・ 平戸市の下水道は他市と比べ普及率が低いので、人口が密集している所などお願いしたい。

- ・ 生活排水等で海など自然環境を汚さないように各家庭の浄化槽の設置を推進すべき。
- ・ 下水道については費用がかかり過ぎる。合併浄化槽等の普及促進を図るべき。

<公園・みどり・景観・その他>

- ・ ローカル TV 局を開設し、市民・観光客、ともに楽しめる情報を配信し、同時にメール・FAX 等による意見コーナーを設け、月一回の各期間担当責任者による質疑応答を行う等して、現行の広報だけでなく（見ない人も多いので）、TV による視覚的な市の情報発信による市民参加を考えてみては？
- ・ 団地・アパートの周辺には公園（みどり含む）が少ないと思う。1 人でもふらっと出て住民とのコミュニケーションがとれるような憩える広場があればいいと思う。
- ・ 市街地で空き地があったら、そこを小さい子供達でも遊べる様なスペース作りをして欲しい。
- ・ 公園が少ない。働くところが無い。安心できる小児科、産婦人科がない。子育てしやすい町づくりも大切。今の平戸は子育てしにくい。
- ・ 公園を増やし遊具等も増やしてよいと思う。子供達の遊ぶ場所が地域全体的に少ないと思う。遠方から来た方のために休憩場所を作っても良いと思う。街灯が少ない。娯楽スペースがない。福祉施設やバリアフリーの促進。

5. まとめ

(1) 居住意向について

“ 今後も現在の地域に住みつづけたいか ” という設問に対し、77%の人がこのまま住みつづけたいと答え、転居したい人(10%)を大きく上回っており居住意向は高いと言える。

住み続けたい理由としては、「先祖代々住み続けているから」(31%)、「今の仕事があるから」(21%)が上位に挙がっており、住み続けなければならない状況にある人が多いと言えるが、自然や人のつながりを理由に挙げる声も多く、地域に魅力を感じている市民も多い。

転居したい理由としては、「交通が不便だから」(27%)、「仕事が無いから」(23%)となっており、交通や就業についての課題に取り組むことで地域の魅力を高める必要がある。

津吉地域については住みつづけたいと答えた割合は若干低く 65%であった。

(2) 地域の暮らしやすさ

地域の生活環境について、「公共交通」、「児童施設」、「公園」を不満とする人がいずれも半数近くおり、満足と答えた人は1割程度と少なかった。

「消防」、「ごみ」、「自然環境」は満足・普通としている人が8割を超えており、不満は少なかった。特に「自然環境」については半数以上が満足と答えており、自然の豊かさに満足を感じている市民が多いと言える。

地域別に見ると、以下についての不満が他地域より高く、地域差が生じている。

中野地域：道路の整備状況、通勤通学

津吉地域：公共交通、病院、高齢者向け福祉施設、児童施設、公園などの子どもの遊び場

田平地域：道路の安全対策、災害対策

その他地域：日常の買い物をする商業施設、病院

総合的な「暮らしやすさ」としては、津吉地域は不満が最も多く(37%)、最も少ないのは中野地域(15%)であった。津吉地域以外の4つの地域では約半数が「ふつう」と回答している。

(3) まちのあり方

住宅地について

「防災性・安全性に優れた、道路幅にゆとりのある住宅地」が最も多い回答となっており、次いで「お店や働く場所が近くにある住宅地」となっている。

商業環境について

全体としては「それぞれの地域で身近に買い物や交流ができるように、商店の活性化等を行う」が半数以上を占めているが、地域別に見ると、平戸地域では、「城下旧町地区の商店街の活性化」と回答した割合が他の地域に比べて多い。一方、他の地域では「それぞれの地域の商店の活性化」と回答した割合がいずれも過半数を超えており、中野地域、田平地域については、「沿道の商業の活性化」も30%近くになっている。

工業・農地・山林について

工業についての設問では、「雇用機会増大のための企業誘致の推進や工業団地の活性化を図る」が約半数を占めている。

農地・山林についての設問では、最も多い回答は「大切な資源としての農地や山林を積極的に保全し、現状を維持する」(38%)で、次いで「地域活性化のための開発は必要であり、農地や山林の減少はある程度やむをえない」(24%)となっている。

本市では工業といえば主に水産加工業であり、海に囲まれた利点を活かした漁業の振興、また、農業の振興が重要であるが、自然環境を保全かつ活用しながら、土地利用や地域の活性化を検討する必要がある。

中心市街地に必要な施設について

「駐車場」との回答が最も多く、次いで「商業施設」、「観光施設」となっている。平戸市の産業の大きな柱として観光業があり、中心市街地がその拠点でもあるため、観光と市民の利便性に配慮した施設整備を行う必要がある。

観光まちづくりについて

「平戸が誇る自然・歴史・食などを楽しみながらまちあるきができる歩行空間づくり」が4割を占めており、次いで「より多くの来訪者に泊ってもらえる体験型・滞在型の観光地づくり」(25%)となっている。観光客の交通手段としては主に車であるが、中心市街地については既存の街なみを活かして、歩いて観光を楽しみながら、歩行者の安全性に配慮した歩行空間の整備を検討する必要がある。

道路整備について

「市街地・集落内における狭い道路の改善」が約4割を占めており、次いで「歩道の確保や段差の解消などバリアフリーの道路整備」(24%)となっている。

平戸地域では“バリアフリーの道路整備”を重要とする回答が最も多く、中野地域では“幹線道路の整備”を挙げる回答が最も多く、それ以外の地域では“狭い道路の改善”が最も多い。

平戸棧橋バスターミナル周辺の駐車場整備について

「イベント等に活用できるスペースとして兼用できる駐車場を整備する」(29%)が最も多く、次いで「自家用車からバスや船に乗り換える(パークアイランド)ための駐車場を整備する」(23%)となっている。

公園・緑地の整備について

「身近に利用できる、子どものための遊具が整備された小さな公園、広場の整備」、「海岸や河川、森の中の豊かな自然、史跡などの地域特性を活かした公園の整備」が多く、次いで「休日に家族で過ごせる大きな公園の整備」となっている。

平戸地域、中野地域、津吉地域では“子どもための遊具が整備された小さな公園、広場の整備”を重要とする回答が最も多い。田平地域、その他の地域では“地域特性を活かした公園の整備”を挙げる声が多い。

いずれの地域も“住民参加による公園づくりの計画や維持・管理”は少ない結果となっている。

土地利用や建物の用途、大きさ、高さなどの建築制限について

「建物の不燃化や耐震性の向上など、まちの安全・安心のため最低限の制限を行うべきである」(35%)、「豊かな自然環境や良好な居住環境を守るため、土地利用や建築について積極的に規制すべきである」(21%)と続いている。

(4) まちなみ・景観・防災

まちなみ・景観について重要なものとして、「平戸固有の歴史文化を活かした景観づくり」が最も多く、「賑わいのある商業地の景観づくり」と続いている。

いずれの地域でも「平戸固有の歴史文化を活かした景観づくり」を挙げる回答が最も多い。次いで多いのは、平戸地域では“商業地の景観づくり”、津吉地域、田平地域では“市民と行政による協働の体制づくり”、その他の地域では“海沿いの景観づくり”を挙げる回答であった。

まちなみ・景観づくりのルールを設ける場合、重要なものとして、「広告・看板などの大きさやデザイン、色彩、設置などに関するルール」、「建築物の高さや形態、色彩などに関するルール」と続いており、防災まちづくりについては、「密集市街地の狭い道路の改善」、「避難場所や避難道路の確保」と続いている。

(5) 市民参加のまちづくりについて

「身近な地区のまちづくり活動に参加したい」が最も多く(35%)、そのテーマとしては、「高齢者が安心して暮らせるまちづくり」、「食や農産物、特産品によるまちおこし」となっている。

本市がすべきこととしては、「まちづくりの専門家やアドバイザーの派遣」、「市の広報紙やホームページによる情報提供」、「まちづくりについての勉強会の開催」の順で挙がっており、中野地域以外の4つの地域では、“専門家やアドバイザーの派遣”を挙げる声が多く、中野地域では“まちづくりボランティアへの支援”を挙げる声が多い。